

令和6年度 事業報告書



社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

I 総括	4
II 重点事業	4
III 事業実施項目	6
1. 地域福祉事業拠点区分	6
(1) 法人運営事業	6
①理事会の開催	6
②評議員会の開催	7
③評議員選任・解任委員会の開催	7
④監事監査の実施	7
⑤正副会長・監事会議の開催	8
⑥役職員研修会	8
⑦支部長会議の開催	8
⑧賛助・特別会員の加入促進	8
⑨地域福祉を推進するための中核的拠点整備	9
⑩組織マネジメントの強化	10
⑪社協職員としての意識の共有	11
⑫地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施	11
⑬行政との「パートナーシップ」の醸成	11
⑭その他	12
(2) 地域福祉推進事業	19
①東松島市地域福祉推進計画の推進	19
②地域支え合い活動基盤整備事業	19
③地域見守り事業の推進（住民支え合いマップ・シルバーメイト事業）	20
④災害時に助け合う地域づくり	21
⑤地域の相談拠点づくり事業（ゆったりサロン）	21
⑥ふれあいサロン活動推進事業	21
⑦福祉のまちづくり支援事業の実施	24
⑧自治協議会（福祉部会）や市民センターとの連携の推進	25
⑨ノーマライゼーション普及事業の実施	25
⑩特別支援学級への学用品等支給事業	25
⑪子ども・若者の居場所づくり支援事業	25
⑫心のケア促進事業	26
⑬民生委員・児童委員の活動環境の整備と担い手の育成の支援	26
⑭福祉関係団体の連携・協働の推進	27
⑮社福法人・社協連携による「地域における公益的な取組」の推進	28
⑯情報発信力の強化	28
⑰災害時福祉支援体制の整備	29
⑱地域福祉推進大会の開催	30
⑲防災・地域交流推進のためのテント配分事業	31

②⑩合併 20 周年の東松島市社協のあゆみの継承	31
②⑪ヤングケアラーの支援	31
②⑫レクリエーション活動普及促進事業	31
②⑬福祉教育の推進	32
②⑭総合的学習支援事業	32
②⑮火災見舞金支給事業の実施	33
②⑯閉じこもりがちな高齢者との交流	33
(3)生活支援体制整備事業（東松島市からの受託）	33
①生活支援体制整備事業	33
(4)地域介護予防事業（東松島市からの受託）	37
①介護予防事業対象者の把握	37
②介護予防活動の普及啓発	39
③住民主体の介護予防活動の育成・支援	39
④一般介護予防評価事業への協力	41
(5)共同募金事業(共同募金配分金による事業)	41
①東松島市共同募金委員会の運営	41
②共同募金一般配分事業の実施	41
③災害義援金の募金活動	42
④歳末たすけあい配分事業の実施	42
(6)ボランティアセンター事業	42
①地域活動・ボランティア活動の担い手の育成	42
②ボランティア団体活動の支援の充実	43
③ボランティアセンターの機能強化	43
④日常の困りごとを解決する生活支援の充実(ひがまつ安心サポート事業)	46
⑤ボランティア活動への参加の機会の充実	47
⑥災害ボランティア登録の促進	47
(7)老人福祉センター運営事業	48
①東松島市老人福祉センターの指定管理	48
②老人福祉センター交流事業(ゆらり)	49
③老人福祉センター教室の開催(交流事業)	49
④囲碁将棋・麻雀のつどい	50
⑤フリーマーケット	50
⑥趣味の作品展示会	50
2. 総合相談事業拠点区分	51
(1)生活困窮者自立促進支援事業（東松島市からの受託）	51
①自立相談支援事業	51
②家計改善支援事業	59
③就労準備支援事業	59
④被保護者就労支援事業	62
⑤生活困窮者支援等のための地域づくり事業	64
⑥自転車シェア支援の実施	70
⑦生活困窮者に対する食糧支援の実施	70
⑧「参加支援」推進のための連携・協働する場の整備	72
⑨金銭教育プログラムの実施	72

⑩生活用品等支援事業(緊急を要する援護者への物品給付)の実施	73
⑪その他	73
(2) 多機関協働事業（東松島市からの受託）	76
①多機関協働事業	76
②包括的な支援体制づくりのための連携・協働する場の整備	86
③福祉なんでも相談窓口事業	87
④部門間横断の相談支援体制づくり	90
⑤孤独・孤立対策に関連する広報・啓発活動	95
⑥行政との「パートナーシップ」の醸成	95
(3) 生活福祉資金貸付事業（宮城県社会福祉協議会からの受託）	97
①生活福祉資金貸付事業の実施	97
②生活復興支援資金貸付事業の実施	97
③コロナ特例貸付借受人へのフォローアップ支援	97
(4) 生活安定資金貸付事業	98
①生活安定資金貸付事業の実施	98
②一時援護資金貸付事業の実施	98
(5) 日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）（宮城県社会福祉協議会からの受託）	99
①日常生活自立支援事業(まもり一ぶ)の実施	99
3. 在宅介護事業拠点区分	100
(1) 訪問介護事業	100
①訪問介護事業(介護保険サービス)の実施	100
②訪問介護事業(障害福祉サービス)の実施	100
③訪問介護事業(産前産後ヘルパー事業)の実施	100
(2) 居宅介護支援事業	101
①居宅介護支援事業の実施	101
4. 被災者支援事業拠点区分	102
(1) 被災者サポートセンター運営事業（東松島市からの受託）	102
①寄り添い型被災者生活支援の実施	102
②心のケア促進事業（再掲）	104
5. 地域包括支援センター事業拠点区分	105
(1) 地域包括支援センター事業（東松島市からの受託）	105
①包括的支援事業	105
(2) 介護予防支援事業	108
①介護予防ケアマネジメント	108
②指定介護予防支援	109
(3) 在宅医療・介護連携推進事業（東松島市からの受託）	109
①在宅医療・介護連携推進事業	109
(4) その他	116
①中部・西部地域包括支援センターとの連携	116
②その他	117

I 総括

令和 6 年度は、複雑化・複合化する地域生活課題へ対応するため、「地域共生社会」の実現に向けた取り組み、特に令和 8 年度からの本格実施を予定する重層的支援体制整備事業の準備と、その活動拠点となる東松島市地域福祉交流プラザ（以下、「プラザ」）の整備・活用を重点的に推進しました。

地域づくり部門と相談支援部門を地域福祉課へ統合する組織再編を行い、部門間の連携強化を図りました。併せて、6 月には主たる事務所をプラザへ移転し、地域福祉活動全般の中核的な拠点としての機能を明確化しました。

地域づくり分野において、生活支援体制整備事業や地域支え合い活動基盤整備事業を通じて、地域資源や住民ニーズの把握、住民主体の活動支援に努めました。相談支援分野では、複雑化・複合化する課題に対応し、特に生活困窮者支援において増加傾向にある稼働年齢層への支援や、制度の狭間にある人々への伴走的支援に取り組みました。また、多機関との連携強化にも注力しました。さらに、「池の内ベース」や「ふらっと」、「クールシェア」といった多様な居場所づくりを進め、世代や属性を超えた交流と孤独・孤立予防の場を提供しました。

災害対応としては、令和 6 年 1 月の能登半島地震や令和 6 年 7 月の山形県豪雨災害の被災地へ職員を派遣し、支援活動を行うとともに、平時からの備えも強化しました。

法人運営面では、中期経営計画策定に向けた財務分析や課題整理を進めるとともに、「社会福祉協議会 基本要項 2025」策定の動きに対応し、社協職員としての意識醸成にも取り組みました。

II 重点事業

1 地域共生社会の実現に向けた地域福祉推進基盤の強化

地域共生社会の実現に向けた地域福祉推進基盤の強化として、東松島市地域福祉交流プラザの整備・活用を重点的に推進し、重層的支援体制整備事業および地域福祉活動全般の中心拠点としての機能を明確化しました。身近な圏域での地域福祉活動を推進するため、自治会圏域の地縁組織を単位とした話し合いの場づくりと住民主体の福祉活動に取り組み、新たに 2 つの地域（大溜、三角公園）で地域支え合い会議が開設され、その総数は 51 か所にまで広がりました。一方で、地域支え合い会議と見守り事業を一体的に行う地域支え合い活動基盤整備事業を実施した社協支部は、前年度は 5 か所ありましたが、今年度は 3 か所にとどまり、継続した活動と新たな体制づくりに課題を残しました。

また、東日本大震災の第 2 期復興・創生期間終了と令和 8 年度からの重層的支援体制整備事業の本格実施を見据え、組織横断の推進体制により「被災者サポートセンター事業終結に向けた被災者支援事業から包括的な支援体制への移行プロセス」を策定し、災害公営住宅を対象とした世帯アセスメントや地域アセスメントに着手しました。さらに、行政、社会福祉協議会、地域の福祉関係者、地域住民などが「重層的支援体制整備事業」について共通理解を図ることを目的とした「地域共生社会推進セミナー」を開催しました。

多様な特性を持つ参加支援の取組として、令和 5 年 7 月から始まった「池の内ベース」や令和 6 年 7 月から始まった「ふらっと」、「クールシェア」といった居場所づくりを推進

したことで、既存の制度やサービスに繋がりにくい方々も含め、世代や属性を超えた住民が集い、孤独・孤立の予防や多様な交流が生まれる場として機能しました。

2 災害に負けない地域づくりの推進

多発する自然災害への対応として、災害に負けない地域づくりの推進にも取り組みました。令和6年度には、山形県豪雨や能登半島地震の被災地へ職員を派遣し、山形県酒田市や石川県志賀町への災害ボランティアセンター支援や東松島市の対口支援先である能登町への生活支援実態調査などを実施しました。また、石巻圏域社協合同で石川県志賀町へ災害ボランティアバスを派遣するとともに、能登半島地震災害義援金の募金活動にも取り組みました。

平時からの備えとしては、災害ボランティア講座の開催や災害ボランティア登録制を推進し、市の総合防災訓練へ参加することで、地域福祉交流プラザが持つ災害ボランティアセンターとしての拠点機能を確認しました。

3 社協の総合力向上に向けた組織強化

社協の総合力向上に向けて、組織体制の強化を図りました。地域づくり部門と相談支援部門を地域福祉課へ統合し、地域福祉交流プラザへ事務所を移転することにより、事業推進体制と地域福祉活動の拠点機能を強化しました。

法人運営の基盤強化としては、中期経営計画策定に向けた準備作業を進め、財務状況の分析と課題整理に基づき、財政改善基本方針（暫定版）を取りまとめました。ただし、中期経営計画全体の策定については次年度へ持ち越すこととなりました。また、事業推進における PDCA サイクルの確立に向け、個別事業の進行管理のための ICT ツールを構築し、各事業の実施状況の見える化は実現できましたが、一方で、これらの状況を組織的にモニタリングし、経営判断に繋げるための経営会議の定例化については、本年度中の実現には至らず、次年度以降の課題となりました。

全国社会福祉協議会が進める「社会福祉協議会 基本要項 2025」策定の動きに対応し、全国社会福祉協議会主催の「基本要項フォーラム」への参加や職員研修等を通じて、社協職員としての意識醸成にも努めました。

Ⅲ 事業実施項目

1. 地域福祉事業拠点区分

(1) 法人運営事業

① 理事会の開催

名称	時 期	議 題	出席者
第1回 臨時	5月15日	議案第1号 定款の一部変更について 議案第2号 東松島市東部地域包括支援センター設置規程等の一部を改正する規程について 【決議の省略】	
第1回 通常	6月6日	議案第3号 令和5年度事業報告及び計算書類等の承認について (監 査 報 告) 議案第4号 理事選任候補者の推薦について 議案第5号 評議員選任・解任委員会の招集及び評議員選任候補者の推薦について 議案第6号 令和6年度定時評議員会の招集について 【全議案原案可決】 報告事項 ・ 監事の監査結果の報告 ・ 監督官庁が実施した検査又は調査について	理事 10人 監事 3人
第2回 通常	11月22日	議案第7号 令和6年度資金収支第1次補正予算について 議案第8号 令和6年度第2回臨時評議員会の招集について 【全議案原案可決】 報告事項 ・ 会長の職務執行状況報告 ・ 監事の監査結果の報告	理事 11人 監事 2人
第3回 通常	令和7年 3月18日	議案第9号 令和6年度資金収支第2次補正予算について 議案第10号 令和6年度事業計画及び資金収支予算について 議案第11号 地域福祉振興基金の取り崩しについて 議案第12号 (債) 令和6年度東松島市生活支援体制整備事業業務委託契約の締結について 議案第13号 (債) 令和6年度東松島市地域介護予防事業運営業務委託契約の締結について 議案第14号 (債) 令和6年度東松島市多機関協働事業業務委託契約の締結について 議案第15号 (債) 令和6年度被災者サポートセンター運営業務委託契約の締結について 議案第16号 役員等賠償責任保険契約の締結について 議案第17号 育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規程について 議案第18号 生活安定資金運営規程の一部を改正する規程	理事 9人 監事 3人

		について 議案第19号 令和6年度第2回臨時評議員会の招集について 【全議案原案可決】 報告事項 ・会長の職務執行状況報告 ・監事の監査結果の報告	
--	--	---	--

②評議員会の開催

名称	時 期	議 題	出席者
第1回 臨時	5月15日	議案第1号 定款の一部変更について 【決議の省略】	
定時	6月21日	議案第2号 令和5年度事業報告及び計算書類等の承認 について (監 査 報 告) 議案第3号 理事の選任について 【全議案原案可決】	評議員 12人 監事 3人
第2回 臨時	12月3日	議案第4号 令和6年度資金収支第1次補正予算について 【全議案原案可決】	評議員 14人 監事 2人
第3回 臨時	令和7年 3月27日	議案第5号 令和6年度資金収支第2次補正予算について 議案第6号 令和7年度事業計画及び資金収支予算について 【全議案原案可決】	評議員 11人 監事 3人

③評議員選任・解任委員会の開催

- ・評議員の欠員により、中立的立場である外部委員の参加により評議員の選任を行う

	時期	内 容	出席者
第1回	6月11日	議案第1号 評議員の選任について 【原案可決】	委員5人、 事務局3人

④監事監査の実施

- ・決算並びに理事の業務執行状況及び財産状況等の監査を実施した。

監査の種類	時期	内 容	出席者
定期監査 決算監査	5月24日	・第4・四半期監査(1月1日～3月31日) ・令和5年度決算	会長、監事3人、 事務局4人
定期監査	7月31日	・第1・四半期監査(4月1日～6月30日)	会長、監事3人、 事務局4人
定期監査	10月31日	・第2・四半期監査(7月1日～9月30日)	会長、監事3人、 事務局4人

定期監査	令和 7 年 1 月 30 日	・ 第 3 ・ 四半期監査(10 月 1 日～12 月 31 日)	会長、監事 3 人、 事務局 4 人
------	--------------------	-----------------------------------	-----------------------

⑤正副会長・監事会議の開催

・ 本会の重要事項について協議した。

名 称	実施時期	内 容	出 席 者
第 1 回正副 会長・監事 会議	10 月 31 日	・ 職員の業務災害の経過について ・ 地域福祉推進計画の進捗状況について ・ 生活安定資金長期滞納者不能欠損処分 について	会長、副会長 監事 3 人 事務局 4 人

⑥役職員研修会

実施時期	場 所	内 容	参加者
12 月 5 日 ～12 月 6 日	山形県東根 市「のゝか 本郷館」	(テーマ) 地域共生社会の実現に向けて、被災者支 援の経費を包括的な支援体制づくりへと いかにつないでいくか	評議員、理事 監事、職員 計 16 人

⑦支部長会議の開催

日時：6 月 8 日 10 時～

場所：東松島市地域福祉交流プラザ

内容：

- (1) 令和 6 年度社会福祉協議会事業計画及び収支予算について
- (2) 福祉のまちづくり支援事業について
- (3) 自治会テント募集について
- (4) 令和 6 年度 東松島市地域福祉推進大会における被表彰者の推薦について
- (5) 赤い羽根共同募金について
- (6) 社協活動の取り組みについて
 - ・ 東松島市地域福祉交流プラザ
 - ・ 地域支え合い会議
 - ・ 住民参加型在宅福祉サービス（ひがまつ・安心サポート事業）
 - ・ 能登半島地震 災害ボランティアバス派遣
 - ・ 居場所づくり

⑧賛助・特別会員の加入促進

・ 4 月の自治会長会議に出席し、一般会費の納入について依頼した。また特別会員については、7 月にダイレクトメール等により企業・団体に加入促進を図った。

会費の収納状況の推移

(円)

種類	会費	令和 6 年度		令和 5 年度		増減	
		加入数	収納額	加入数	収納額	加入数	収納額
一般会員	1, 200	11, 360	13, 631, 200	11, 218	13, 461, 200	142	170, 000
賛助会員	3, 000	27	80, 000	38	113, 000	△11	△33, 000
特別会員	3, 000	221	661, 000	251	751, 000	△30	△90, 000

⑨地域福祉を推進するための中核的拠点整備

ア 拠点整備の経過

- ・令和 5 年 12 月 22 日から行われた旧矢本中央幼稚園の内部改修工事が令和 6 年 4 月 12 日に完成し、4 月 16 日の完成検査合格により建物の引き渡しを受け、工事完成後、看板製作、電話・LAN工事、各種備品整備等を行った。
- ・令和 6 年 5 月 27 日、事務所移転。

拠点	配置部署
東松島市地域福祉交流プラザ	経営管理課経営管理係 地域福祉課地域づくり係 ボランティア・市民活動センター 社協生活復興支援センター 地域福祉課相談支援係 東松島市くらし安心サポートセンター 東松島市東部地域包括支援センター
東松島市老人福祉センター	経営管理課経営管理係 指定訪問介護事業所 指定居宅介護支援事業所

(拠点整備費用の内訳)

	金額 (円)
建物改修工事 (電気工事含む)	24, 431, 000
電話・ネットワーク関連工事	3, 963, 575
看板工事	1, 707, 000
音響設備	2, 288, 000
事務用器具備品	4, 495, 064
自転車置場	429, 000
屋外喫煙所	237, 085
駐車場砕石敷き工事	330, 000
ポーチフェンス	682, 000
移転関連費用	1, 431, 900
総計	39, 994, 624

イ 開所式の開催

- ・東松島市地域福祉交流プラザの設置者である東松島市と運営者である本会合同で開所式を開催した。

開催日 令和6年6月1日

出席者 来賓等83名

オープンセレモニー 大曲浜獅子舞



⑩組織マネジメントの強化

ア 諸規程の制定・改廃

種別	施行日	規程名
定款	5月22日	定款の変更
規程	4月1日	事務局組織規程等の一部を改正する規程
規程	4月1日	指定訪問介護事業所（指定訪問介護相当サービス事業所）運営規程等の一部を改正する規程
規程	5月1日	指定訪問介護事業所（指定訪問介護相当サービス事業所）運営規程等の一部を改正する規程
規程	6月1日	東松島市東部地域包括支援センター設置規程等の一部を改正する規程
規程	6月1日	指定訪問介護事業所（指定訪問介護相当サービス事業所）運営規程等の一部を改正する規程
規程	9月10日	自動車管理規程の一部を改正する規程

イ 不正着服事件にかかる弁済金（長期貸付金）の償還状況

- ・債権回収業務を弁護士に委託し、公正証書で定めた返済計画どおりの返済が行われた。

令和6年4月から令和7年3月まで・・・1,800,000円

（内訳）

150,000円×12月＝1,800,000円

（返済状況）

令和7年3月末現在

項目	金額
長期貸付金の貸付総額	23,085,570円
前年度末の返済残額	3,830,570円
年度中の返済額	1,800,000円
年度末の返済残額	2,030,570円

ウ 経営会議の開催

- ・経営会議 令和7年2月25日
- ・経営会議の開催に代えて、日常的な情報共有のために毎週開催している事務事業推進会

議の場を活用し、随時、重要施策等の協議や方針の決定を行った。

エ 事業の進行管理の仕組みの構築（PDCA手法の確立）

- ・事業計画に基づき実施される各事業の進捗状況を的確に把握し、管理するため、キントーン上に「事業計画管理アプリ」を構築した。本アプリの導入により、個別事業の実施状況の見える化が実現できるようになった。
- ・一方で、これらの状況を組織的にモニタリングし、経営判断に繋げるための経営会議の定例化については、本年度中の実現には至らず、次年度以降の課題となった。

オ 中期経営計画の策定

- ・中期経営計画策定の準備作業として新会計基準移行後の平成 27 年度から令和 5 年度までの詳細な財務データの分析と財務上の課題の洗い出しを行い、財政改善基本方針（暫定版）を取りまとめた。

⑪社協職員としての意識の共有

- ・全国社会福祉協議会による「社会福祉協議会 基本要項 2025」の改定動向を組織内で共有し、職員理解の促進を図った。

ア 「基本要項フォーラム」への参加

6 月 3 日（全社協・灘尾ホール） 1 名

6 月 24 日（仙台市・フォレスト仙台） 11 名

イ 「基本要項」の理解のための職員研修会

開催日 12 月 2 日

場 所 東松島市地域福祉交流プラザ 多目的ホール

参加者 17 人

研修内容

第 1 部 社会福祉協議会基本要項オンラインフォーラム 基調説明の視聴

第 2 部 グループワーク

「社協の使命、住民主体の理念、組織特性、活動原則、機能について」
をテーマに 3 つのグループに分かれて討議

⑫地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施

職員等資格取得経費助成制度の利用希望者なし

⑬行政との「パートナーシップ」の醸成

- ・社協経営への参画の状況
理事 1 名（東松島市総務部長）
評議員 1 名（東松島市保健福祉部長）
- ・重層的支援体制事業の本格実施を見据え、市福祉課職員との合同先進地視察を行い、同事業に対する共通認識の醸成に努めた。

3月25日 湯沢市・湯沢市社会福祉協議会
3月26日 能代市・能代市社会福祉協議会

⑭その他

ア 顕彰関係（敬称略）

（ア）令和6年度全国社会福祉大会（11月26日開催）においての受賞者

○全国社会福祉協議会会長表彰

- ・社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労表彰 木村敏子
- ・永年勤続 千葉貴弘

（イ）令和6年度宮城県社会福祉大会（11月12日開催）においての受賞者

○宮城県知事表彰

- ・共同募金奉仕者 西塚敬吾、今野勝彦、片岡健治

○宮城県共同募金会表彰

- ・表彰－奉仕功労者

小野秋夫、三浦千次、齋藤信一、渡邊克己、櫻井けい子、遠藤英雄、菊地正明、
穴山盛幸、土井光夫

- ・感謝－奉仕功労者

瀬戸晃、鈴木則男、佐々木正俊、佐々木俊昭、橘川彰、吉田賢次、須郷文雄、
佐々木安雄、熊谷守弘、伊藤勇、千葉伸也、星進哉、最上和昭、土井公一、
小野悦夫

○宮城県民生委員児童委員協議会会長表彰

- ・永年勤続民生委員・児童委員

黒田みえ子

- ・民生委員・児童委員活動支援者

奥田孝信、菊池正、大山裕也、佐藤登志恵、吉木由美男、黒須壽幸

イ 寄附金品等の受納状況

- ・一般寄附金 10件 122,044円
- ・寄附物品 12件

内容：①電子ピアノ②ひな人形③使い捨てスリッパ④新品衣類・下着⑤タオル・雑巾
⑥紙おむつ⑦クリスマスツリー作りキット など

ウ 情報通信環境の整備

- ・職員間のつながりを活性化する職場内SNSとしても活用できる情報共有ツール「kintone（キントーン）」を継続利用し、組織を横断した情報の共有に努めた。
- ・kintone（キントーン）の機能を活用して業務用アプリを作成し、業務効率の向上と業務の見える化を図った。

運用中のアプリ数 28個（うち令和6年度作成分 11個）

- ・RPAツール（マイクロソフト Power Automate）の導入により、報告書作成等の定型業務の自動化を進め、事務作業の省力化を推進した。

対象業務数 6業務

- ・文字起こしソフト（Notta）の試験的導入により、議事録作成作業の省力化効果の検証

を行った。

- ・ AI ツールの試験的導入により、事務作業の省力化効果の検証を行った。（広報誌「社協だより ふれあいねっと」（紙媒体）の記事のテキストデータ化、文章校正等）

エ 福祉機器貸与事業

- ・ 居宅において生活している障がい者又は高齢者等の日常生活を支援するため、福祉機器の貸与を行った。
- ・ 通院や外出、ケガ等により一時的に必要な方へにも対応する。

貸与実績…車いす 21 人

※その他、小学校での福祉教育(キャップハンディ体験教室)での車いすの使用

オ 主な社会福祉等関連組織への参画(会長)

(ア) 東松島市関係

(1) 東松島市民生委員推薦会

- ①推薦会 令和 6 年 4 月 15 日（月） 午後 1 時 30 分～市役所 101 会議室
・ 民生委員・児童委員候補者 2 人（小野下、中下・浅井）の選任を行った。
- ②推薦会 令和 6 年 7 月 16 日（金） 午前 10 時～市役所第 2 委員会室
・ 民生委員・児童委員候補者 1 人（横沼東）の選任を行った。

(2) 東松島市地域公共交通活性化協議会

- ・ 令和 6 年度第 1 回会議 令和 6 年 7 月 11 日（木） 午後 2 時～市役所 202 会議室
（報告事項）
 - ・ らくらく号の運行状況及び免許返納者割引制度の利用状況について
- （協議事項）
 - ・ 令和 5 年度東松島市地域公共交通活性化協議会事業報告について
 - ・ 令和 5 年度東松島市地域公共交通活性化協議会決算及び会計監査報告について

(3) 一般社団法人 東松島みらいとし機構

- ・ 令和 6 年度定時社員総会 令和 6 年 6 月 27 日（水）午前 11 時～H O P E 事務所
（決議事項）
 - ・ 令和 5 年度事業報告及び決算報告の承認に関する件
 - ・ 令和 6 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認に関する件
 - ・ 役員の報酬に関する件
 - ・ 職員就業規則変更に関する件

(4) 東松島市地域包括ケア推進会議

- ・ 第 1 回会議 令和 6 年 6 月 28 日（金） 午後 7 時～市役所 202 会議室
 - ・ 委員の委嘱 任期は、令和 6 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日まで
 - ・ 正副会長の選任 会長石垣英彦氏 副会長土井孝博氏を選任。

（協議事項）

- ・ 東松島市地域包括ケアシステム構築状況の共有
- ・ 認知症ケア連携会議報告及び事業方針決定
- ・ 地域支え合い推進委員会報告及び事業方針決定
- ・ 在宅医療・介護連携協議会報告及び事業方針決定
- ・ ひがまつ B L U E ネット目標指標の決定

（その他）

- ・ 高齢者福祉計画・第 9 期介護保険事業計画の報告

(5) 令和6年度東松島市「心の復興」事業補助金選定委員会

・第1回会議 令和6年5月21日（火） 午後1時～市役所202会議室

（協議事項）

- ・審査の評価基準について
- ・プレゼンテーション審査
 - ①あおい地区会②一般社団法人美馬森 J a p a n③みなんうちクラブ
 - ④貴凜庁株式会社⑤NPO法人サクラハウス⑥鹿嶋株式会社
 - ⑦青い鯉のぼり実行委員会

・第2回会議 令和6年8月9日（金） 午前9時～市役所202会議室

（協議事項）

- ・プレゼンテーション審査
- ・交付団体選定に向けた意見交換

(6) 東松島市市史編纂有識者委員会

・第1回会議 令和6年8月5日（月） 午後4時～市役所301会議室

- ・委員の委嘱 任期は、令和6年8月5日～令和8年8月4日まで
- ・正副会長の選任 委員長 橋本孝一氏 副委員長 阿部英一を選任。

（協議事項）

- ・市史編纂に関する基本方針及び主なスケジュール
- ・有識者委員会の所掌事項及び会議の開催予定について
- ・市史概要版（市制施行20周年記念誌）について
- ・市史（本編）の全体構想（案）等について

・第2回会議 令和6年10月23日（月） 午後1時30分～市役所301会議室

（報告事項）

- ・第1回会議の会議録の確認について
- ・令和6年度における委員会会議開催予定について

（議事事項）

- ・市史概要版（市制施行20周年記念誌）の作成及び配布計画について
- ・市史本編のデザイン、装丁等（案）について
- ・市史編さんに係る執筆内容の監修及び校正のあらましについて
- ・市史本編等の掲載に関する情報交換について

・第3回会議 令和7年1月21日（月） 午後1時30分～市役所301会議室

（報告事項）

- (1) 令和6年度第2回市史編さん委員会の会議録の確認について
- (2) 令和7年度における委員会の会議開催予定について
- (3) (債) 令和6年度東松島市史印刷製本等教務委託の仕様について

（議事）

- (1) 市史概要版（市制施行20周年記念誌）の最終確認について
- (2) 市史本編等の掲載に関する情報交換について

・第4回会議 令和7年3月18日（火） 午後1時30分～市役所301会議室

（報告事項）

- (1) 令和6年度第3回市史編さん委員会の会議録の確認について
- (2) 「東松島市市政施行20周年記念誌」（市史概要版）の刊行について
- (3) (債) 令和6年度東松島市史印刷製法等業務委託の受託業者について
- (4) 「東松島市史」（本編）の題字の公募(案)について

(議事)

- (1) 市史本編の章構成(案)上での執筆原稿内容の監修等の進捗状況について
- (2) 市史本編等の掲載に関する情報交換について

(イ) 宮城県社会福祉協議会関係

(1) 評議員選任・解任委員会／委員（敬称略）

※任期満了につき再任された（令和6年6月27日から令和9年度に関する定時評議員会の終結のときまで）

(委員名)

- (再) 阿部英一（全社協地域福祉推進委員会副委員長／学識）
- (新) 千葉章（宮城県赤十字社宮城県支部事務局長／学識）
- (新) 相澤喜美（名取市社協会長／社協の役員）
- (再) 山口浩徳（宮城県社協監事／監事）
- (再) 櫻井幸久（事務局総務部長）
- ・ 第13回委員会 令和6年4月18日（木）午後1時30分～自治会館第204会議室
千田邦雄（栗原市社協会長／事務局員）を選任した。
- ・ 第14回委員会 令和6年10月28日（月）午後1時30分～仙台合庁8階 西側会議室
村上俊一（気仙沼社協会長）及び工藤史（宮城県保育協議会会長）の2人を選任した。

(2) 「社会福祉協議会基本要項2025」の普及・啓発

- ・ 令和6年度宮城県市町村社協事務局長会議における「基本要項第二次案」についての講演
（令和7年1月28日（火）午後1時～/みやぎハートフルセンター）
- ・ 黒川地域社協役職員研修における「基本要項第二次案」についての講演
（令和7年2月19日（水）午後1時30分～/富谷市武道館）

(ウ) 全国社会福祉協議会関係

(1) 地域福祉推進委員会／副委員長

①総会

- ・ 令和6年度 第1回総会 令和6年5月22日（水） 午後1時30分～全社協会議室
（議案審議）
 - ・ 令和5年度地域福祉推進委員会事業報告（案）について
 - ・ 令和5年度地域福祉推進委員会決算について
- （報告事項）
 - ・ 令和6年度地域福祉推進委員会事業計画について
 - ・ 令和6年度地域福祉推進委員会予算について
 - ・ 社会福祉協議会 基本要項フォーラムについて
- ・ 令和6年度第2回総会 令和7年3月6日（木）午後1時30分～/オンライン
（報告事項）
 - (1) 令和6年度事業の進捗状況・決算見込みについて
- （議案審議）
 - (1) 令和7年度地域福祉推進委員会事業計画(案)について
 - (2) 令和7年度地域福祉推進委員会予算(案)について
 - (3) 社会福祉協議会基本要項2025 最終案について

②正副委員長会議

- ・第1回正副委員長会議 令和6年6月26日（水） 午後2時30分～全社協会議室（協議事項）
 - ・令和6年度 地域福祉推進委員会の進め方、課題等について
- ・第2回正副委員長会議 令和6年10月4日（金） 午後2時30分～全社協会議室
 - ・10月8日開催予定の第2回常任委員会協議題及び資料の確認
- ・第2回正副委員長会議 令和7年2月6日（木） 午後3時～/全社協会議室（協議事項）
 - (1) 令和6年度事業進捗状況、決算見込みについて
 - (2) 令和7年度事業計画(案)、予算(案)について
 - (3) 社会福祉協議会基本要項2025第三次案について（報告事項）
 - (1) 指定都市社協委員の推薦方法に係る意見交換について

③常任委員会

- ・第1回常任委員会 令和6年7月10日（水）午前11時～ 全社協第3.4会議室（協議事項）
 - ・令和6年度地域福祉推進委員会事業の進め方、検討課題等について
 - ・地域福祉推進委員会のあり方について
 - ・社会福祉協議会 基本要項2025第一次案について
- ・第2回常任委員会 令和6年10月8日（火）午後2時30分～ 全社協3.4会議室（報告事項）
 - ・福祉救援活動資金援助制度への拠金について（協議事項）
 - ・令和6年度地域福祉推進委員会事業の進捗状況等について
 - ・地域福祉推進委員会のあり方について
- ・第3回常任委員会 令和6年12月9日（月） 午後1時30分～ 全社協第3.4会議室（協議事項）
 - (1) 社会福祉協議会 基本要項2025第二次案について
 - (2) 令和7年度地域福祉推進委員会重点項目について
- ・第4回常任委員会 令和7年2月12日（水） 午後1時30分～/オンライン（協議事項）
 - (1) 令和6年度地域福祉推進委員会事業進捗状況、決算見込みについて
 - (2) 令和7年度地域福祉推進委員会事業計画、予算について
 - (3) 社会福祉協議会 基本要項2025最終案について

(2)政策委員会／幹事

①政策委員会

- ・令和6年度 政策委員会総会 令和6年6月24日（月） 午後1時～全社協会議室（議題）
 - ・幹事の選任について 大阪府森垣学氏（新任）
 - ・副委員長の指名 同上
 - ・令和5年度事業・活動報告（案）について
 - ・令和6年度事業・活動計画（案）及び収支予算（案）について

(報告)

- ・ 2025（令和7）年度税制、社会福祉制度・予算等に関する要望について

②幹事会

- ・ 令和6年度2回幹事会 令和6年6月24日（月） 午後3時30分～全社協会議室
 - (1) 社会保障・福祉施策の動向と政策課題への対応について
 - ① 社会保障・福祉施策の動向と課題
 - ② 令和6年度能登半島地震への対応
 - ③ 各構成組織における福祉施策、福祉諸制度の課題への対応状況等
 - (2) 「全社協 福祉ビジョン2020」中間年の改定に向けた検討会の設置について
- ・ 令和6年度第3回幹事会 令和6年8月23日（金）午後1時30分～全社協会議室
 - (1) 社会保障・福祉施策の動向と政策課題への対応について
 - ① 社会保障・福祉施策の動向と課題
 - ② 各構成組織における福祉施策、福祉諸制度の課題への対応状況等について
 - (2) 令和7年度制度・予算・税制等要望の実現に向けた概算要求を踏まえた今後の取組みについて
 - (3) 災害福祉支援活動の強化に向けて
 - (4) その他
- ・ 令和6年度 第4回幹事会 令和6年10月8日（火）午後1時30分～全社協会議室
 - (1) 社会保障・福祉施策の動向と課題
 - ① 社会保障・福祉施策の動向と課題
 - ② 各構成組織における福祉施策、福祉諸制度の課題への対応状況等について
 - (2) 概算要求を踏まえた今後の制度・予算・税制等要望に向けて
 - (3) 福祉人材の確保に向けた種別横断的取組みの検討
 - (4) その他
- ・ 令和6年度5回幹事会 令和6年12月25日（水） 午後1時30分～/全社協会議室
(報告・協議)
 - (1) 社会保障・福祉施策の動向と政策課題
 - ① 社会保障・福祉施策の動向と課題
 - ② 災害支援関連について
 - (2) 令和6年度補正予算および令和7年度予算案について
 - (3) 全社協福祉ビジョン2020改定検討委員会での検討状況について
 - (4) その他
 - ① 人材確保に向けた取組について
 - ② 次回幹事会の日程について
- ・ 令和6年度 第6回幹事会 令和7年2月27日（木）午後3時～/全社協会議室
(報告・協議)
 - (1) 社会保障・福祉施策の動向と政策課題
 - (2) 災害救助法等の改正にかかる動向と対応について
 - (3) 令和8年度社会福祉制度・予算等に関する要望について
 - (4) 令和7年度政策委員会事業計画(骨子案)について
 - (5) 全社協・福祉ビジョン2025素案について

(3)「全社協・福祉ビジョン2020」の検証準備委員会

- ・令和6年度 第5回会議 令和6年4月25日（金） 午後3時45分～全社協会議室
（施設関係種別協議会へのヒアリング）

- (1)全国保育協議会へのヒアリング・・・副会長 伊藤唯道氏
- (2)全国保育士会へのヒアリング・・・副会長 北野久美氏
- (3)全国民生委員児童委員協議会へのヒアリング・・・副会長 長田一郎氏

(4)「全社協・福祉ビジョン改定検討委員会」

- ・令和6年度 第1回会議 令和6年8月23日（金） 午後3時45分～ 全社協会議室
（委員の選任）

委員長 平田直之（全国社会福祉法人経営者協議会副会長）、

委員 森垣学（大阪府社協常務理事）、阿部英一（東松島市社協会長）、横川哲（全国乳児福祉協議会副会長）、谷村誠（全国社会福祉法人経営者協議会副会長）、

阿部一彦（全国障害者団体連絡協議会会長）古都賢一（全社協副会長）

学識経験者委員 駒村康平（慶応義塾大学教授）、原田正樹（日本福祉大学学長）、
山縣文治（関西大学教授）

（協議等）

- (1)全社協・福祉ビジョン策定後の福祉を取り巻く情勢の変化を踏まえたビジョン改定の視点
- (2)意見交換

- ・令和6年度 第2回会議 令和6年10月21日（月） 午前10時～全社協会議室
（協議等）

- (1)「ビジョン」改定に向けた基本方針について
- (2)福祉ビジョンを取り巻く動向、環境の変化について

- ・令和6年度 第3回会議 令和6年11月15日（金） 午前10時～全社協会議室
（協議等）

- (1)改訂版の方向性について
- (2)実践に向けた取り組みの柱について

- ・令和6年度 第4回会議 令和6年12月25日（水） 午後3時45分～全社協会議室
（協議等）

- (1)改訂版骨子案について
 - ①情勢および課題認識について
 - ②取り組みの柱について

- ・令和6年度第5回会議 令和7年2月27日（水） 午後1時～ 全社協会議室
（協議等）

- (1)全社協福祉ビジョン2025案について
- (2)今後の進め方について

(エ) 宮城県共同募金会関係

(1)宮城県共同募金会評議員会

①評議員会

- ・第237回評議員会 令和6年12月17日（火） 午後1時30分～
みやぎハートフルセンター

(決議事項)

- (1) 令和 6 年度補正予算について
- (2) 配分委員会委員の選任について

(報告事項)

- (1) 役員及び評議員定数の改正について
- (2) 理事・監事・評議員選出規程の一部改正予定について
- (3) 令和 6 年度第 2 回幹事会について

(2) 地域福祉推進事業

① 東松島市地域福祉推進計画の推進

- ・ 令和 6 年度第 1 回東松島市地域福祉推進委員会の開催
日時：10 月 16 日（水） 午前 10 時～午前 11 時 30 分
場所：東松島市地域福祉交流プラザ 多目的ホール
内容：(1) 委員長及び副委員長の選任について
(2) 令和 5 年度までの地域福祉推進委員会の状況及び計画の進行管理の
在り方について
(3) 第 3 期地域福祉推進計画の進捗状況について
特記事項
 - ・ 欠員補充のため新たに就任する 3 名の委員（本田栄子氏、亀山由美氏、土井孝博氏）に渥美市長（代理出席：八木副市長）、阿部社協会長から委嘱状を交付した。
 - ・ また、欠員となっていた委員長及び副委員長を委員の互選により選任し、委員長に土井孝博氏、副委員長に佐々木松子氏が就任した。
- ・ 令和 6 年度第 2 回東松島市地域福祉推進委員会の開催
日時：令和 7 年 3 月 12 日（水） 午前 10 時～午前 11 時 30 分
場所：東松島市地域福祉交流プラザ 多目的ホール
内容：(1) 第 3 期地域福祉推進計画の進捗状況について
(2) 第 3 期地域福祉推進計画推進に係る次年度取組方針・取組目標について

② 地域支え合い活動基盤整備事業

ア 地域支え合い活動助成事業

支え合い協力員を配置して見守り活動及び地域支え合い会議を行う社協支部に対して助成金を交付し、地域住民相互の支え合い活動を支援した。

- ・ 事業実施支部（（ ）内の数値は協力員数）

助成先	支え合い協力員数	助成金
五味倉支部	5 人	40,250 円
赤井駅前支部	7 人	86,000 円
川下支部	9 人	25,000 円

イ 地域支え合い会議の開催及び参加

身近な圏域での地域福祉活動を推進するため、自治会や行政区圏域の地縁組織を単位とした話し合いの場づくりと住民主体の福祉活動の推進に取り組んだ。また、自治会等での地域生活課題を共有する会議に参加した。自治会長、民生委員、社協C S W、相談支援包括化推進員、各地区の地域包括支援センター職員などが参加した。

・地域支え合い会議開設数（51カ所（うち令和6年度2カ所新設））

- ① 赤井地区 7地区(上区、中区、下区、南西(よりそいの会)、赤井駅前、南新町、柳区)
- ② 大曲地区 8地区(大曲、五味倉、横沼、上納、筒場、貝殻塚一、貝殻塚二、貝田)
- ③ 矢本東地区 10地区(関の内西、関の内三、作田浦(楽楽会)、谷地、下小松、あおい地区(見守り部会)、下町四、下浦、下町二区・五区、大溜)
- ④ 矢本西地区 3地区(河戸、二反走、三角公園)
- ⑤ 大塩地区 4地区(塩入支え合い会議、塩入シニアの会、小分木・大島、小松台)
- ⑥ 小野地区 8地区(小野上、新道町内会、川下、往還、平岡、根古、上下堤、高松)
- ⑦ 野蒜地区 8地区(亀岡、東名、野蒜ケ丘一丁目、野蒜ケ丘二丁目、大塚、中下、野蒜ケ丘三、浅井)
- ⑧ 宮戸地区 3地区(里浜、月浜・大浜、室浜)

ウ 地域支え合いフォーラム 2024 の開催

少子高齢化が進み地域社会の担い手が減少する中、地域に生きる一人ひとりが尊重され、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るよう、個人や一団体では難しくとも、多様な主体が連携・協働することで実現できる支え合いの地域づくりについて啓発することを目的として開催した。

日 時 12月8日(日) 午後1時30分～午後4時

場 所 矢本東市民センター 多目的ホール他

参加者 約100人

内 容

- ・基調講演「いろいろな人達との協力による支え合いの地域づくり」

講師 東北文化学園大学教授 野崎瑞樹氏

- ・ポスターセッション 8団体参加

(活動発表団体)

作田浦楽楽会、NPO法人いろどり・みんなのみち、五味倉地区支え合い委員会、地域おこし協力隊(上野智央氏)、てあわせのはら東松島、認知症支援コーディネーター(チームオレンジ)、社会福祉法人連絡会(福祉なんでも相談)

③地域見守り事業の推進(住民支え合いマップ・シルバーメイト事業)

- ・地域住民主体の日常的な見守りを推進するため、「シルバーメイト地域見守り支援事業」の助成金交付を通じ、地域支え合い活動の促進を図った。

助成先	助成金	交付決定日	シルバー数	メイト数
根古自治会	70,000円	5月15日	15人	4人
あおい地区会	110,000円	9月17日	188人	10人
合計	180,000円		203人	14人

※「シルバー」：見守り対象高齢者 「メイト」：地域住民による見守りボランティア

④災害時に助け合う地域づくり

- ・地域支え合い会議を通じ、災害時に支援が必要な方の把握に努めた。

⑤地域の相談拠点づくり事業(ゆったりサロン)

- ・一般市民の生きがいがいづくりにつながる交流イベントを通じて、地域内での孤立予防や心のケア（心の復興）を推進しながら、ゆったり寛いで楽しく過ごせる場を提供すると共に、ランチをしながら「福祉の相談窓口」の紹介を行い、広く市民に周知と理解を深めることを目的に実施した。交流イベントでは、「音無美紀子の歌声喫茶」の協力を得た。

開催日	開催場所	参加者数
11月20日	野蒜市民センター	87人
11月21日	大塩市民センター	91人



⑥ふれあいサロン

- ・地域の身近な場所で住民が自主的・主体的に活動を行う「ふれあいサロン」活動団体の把握と活動団体の事業運営に対して助成金を交付し、小地域での福祉活動の活性化を図った。

登録団体：109団体

東松島市財源分「通いの場事業費」助成金の交付：56団体 4,505,000円

社協財源分「小地域福祉活動事業費」助成金の交付：11団体 246,000円

■ふれあいサロン登録団体及び「ふれあいサロン活動助成金」交付先

番号	地区	団体名	助成金(円)	
			市	社協
1	野蒜	かたくり会	48,000	-
2	矢本西	三角公園自治会いきいき三燦会	96,000	-
3	小野	川下ふれあいサロン	-	-
4	大塩	裏沢いきいきほっとサロン	-	-
5	矢本西	爺・婆まけん隊	72,000	-
6	大曲	ヘルシーカフェあがらいん茶屋	96,000	-
7	宮戸	ほっこり常楽会	-	-
8	赤井	105ピンピン体操の会	70,500	-
9	赤井	南三区なごみ会	96,000	-
10	矢本東	はばたけ百歳体操	70,500	-
11	矢本東	あおい元気サークル	120,000	-
12	矢本東	なごみ百歳体操	120,000	-
13	矢本西	笑母倶楽部	-	-
14	矢本東	下小松地区自治会	45,000	-

15	矢本東	下町べっぴん百歳体操	120,000	-
16	赤井	柳西区はまなす会	-	-
17	小野	ひまわりの会	-	-
18	野蒜	スマイル元気会	96,000	-
19	赤井	にこにこサロン	-	-
20	矢本東	やよい会	-	-
21	矢本西	にっこり百歳体操サークル	120,000	-
22	大曲	百歳体操よつばの会	120,000	-
23	小野	笑顔の会	-	-
24	矢本東	あいサロン	72,000	-
25	野蒜	チーム楽楽楽	72,000	-
26	大塩	なんだ坂こんな坂サークル	112,500	-
27	野蒜	いきいき会	96,000	-
28	矢本東	カトレア会	48,000	-
29	赤井	和幸会百歳体操の会	96,000	-
30	野蒜	東名地区あぞみの会	72,000	-
31	小野	遊楽楽会	70,500	-
32	小野	しゃんしゃんとクラブ	-	-
33	小野	はつらつシニア百歳体操	96,000	-
34	矢本西	前里自治会	-	-
35	矢本東	作田浦自治会	76,000	-
36	野蒜	中下いきいきちょっくら会	46,000	-
37	小野	川下百歳体操	48,000	-
38	矢本東	いきいき桜の会	-	-
39	矢本東	上若百の会	96,000	-
40	赤井	川前サルビア会	-	-
41	赤井	さくらんぼ会	72,000	-
42	小野	肘曲にこにこサロン	-	11,000
43	矢本西	悠悠クラブ	48,000	-
44	小野	西福田地区こまち	96,000	-
45	小野	下福田おそうじ隊	-	-
46	赤井	1.5 会	-	-
47	小野	新道町内会自治会	92,000	-
48	野蒜	浅井百歳体操会	48,000	-
49	大塩	あったかサロン・シオイリ	120,000	-
50	矢本東	下町一ふわふわ会	48,000	-
51	矢本東	下町四地区にっこり会	-	12,000
52	矢本西	ホットサロンたんぽぽの会	-	9,000
53	野蒜	シャンシャン会	-	-
54	大塩	大塩スマイル	72,000	-
55	宮戸	里浜げんきクラブ	72,000	-
56	矢本東	大溜なのはなクラブ	96,000	-
57	大曲	大曲地区ピンポンクラブ	-	45,000

58	大塩	大島地区健康体操	40,000	-
59	矢本東	谷地区自治会(お茶サロン谷地)	96,000	-
60	赤井	なないろの会	-	-
61	大曲	五味倉地区自治会	-	-
62	矢本西	ひよこクラブ	96,000	-
63	小野	川下グランドゴルフ愛好会	-	-
64	宮戸	ピンコロ体操	41,000	-
65	赤井	「いきいきクラブ」	120,000	-
66	赤井	下区ボランティアコスモス会	-	-
67	矢本東	あじさい会ふれあいサロン	-	-
68	大曲	横沼桜木の会	100,000	-
69	赤井	南新町月曜サロン	-	12,500
70	小野	健康マージャン愛好会	-	-
71	矢本東	下町一自治会お茶っこ会	-	-
72	野蒜	NPO法人のんびりすみちゃんの家	-	-
73	大曲	さくらホットサロン	-	23,000
74	赤井	川前集会所運営協議会	-	-
75	大塩	もみじ会	-	-
76	宮戸	お茶のみ友の会	-	-
77	赤井	柳北自治会生き生きライフクラブ	-	-
78	大塩	表百歳体操	72,000	-
79	赤井	お達者クラブ	-	-
80	矢本東	ひまわり会	72,000	-
81	大曲	レクダンス「ケ・セラ・セラ」	-	-
82	大曲	横沼ピンポン愛好会	-	-
83	矢本西	沢田いきいき 101 歳	96,000	-
84	矢本西	上小松いきいき会	96,000	-
85	赤井	すみれ会	72,000	-
86	小野	上下堤みんなでいきいき楽しむ会	96,000	-
87	矢本西	立華会	45,000	-
88	小野	根古ふれあいサロン	24,000	-
89	矢本東	楽楽会	-	-
90	野蒜	野蒜グランドゴルフ愛好会	-	48,000
91	野蒜	チーム室浜	-	-
92	矢本西	鹿妻若葉の会	120,000	-
93	矢本西	河戸自治会さわやかサロン	-	-
94	矢本東	四葉会	-	11,000
95	小野	往還上ゆったりクラブ	72,000	-
96	赤井	お茶っこ飲み会	-	-
97	小野	上寿会	96,000	-
98	矢本西	ほっとサークル	-	-
99	小野	高松いきいき体操	48,000	-
100	矢本東	下町二区五区自治会お茶っこ会	-	-

101	赤井	赤井楽園 P G 愛好会	-	-
102	矢本西	元気会	-	-
103	矢本西	フレッシュ百歳体操	48,000	-
104	野蒜	のびるカラオケ愛好会	-	26,250
105	小野	J A いしのまき小野支部	-	-
106	大曲	五味倉楽笑会	-	-
107	小野	パドルテニス愛好会	-	22,000
108	大曲	年金東松島市パークゴルフ愛好会	-	-
109	赤井	令和パークゴルフ愛好会	-	26,250
			56 団体 4,505,000	11 団体 246,000

⑦福祉のまちづくり支援事業の実施

- ・令和 6 年度福祉のまちづくり支援事業実施要綱により、社協・支部が実施する地域福祉の向上を目的にした事業・活動に対する助成を実施し、「福祉のまちづくり」の推進を図った(助成金の上限:会費納入の 20%)。

(助成事業実績)

事業区分	件数	主な事業	主な内容
高齢者福祉事業	51 件	敬老会、記念品配布、老人クラブ助成	感染防止や猛暑の為、敬老会開催を中止した地域もあったが、半数以上の地域で敬老会を開催した(27 件)
地域交流事業	16 件	地区まつり、運動会、ラジオ体操、芋煮会、イルミネーション点灯式開催など	長年継続開催している夏祭り、夏休み中の子供と老人クラブと一緒に参加するラジオ体操、親睦会の開催(見守りを兼ねる)
児童福祉事業	5 件	子供会育成支援、新入学児童祝い	
環境保全事業	3 件	地区内清掃活動、集会所清掃、植栽活動	清掃活動や植栽作業を住民共同で実施
次年度へ繰越	1 件	事業が開催できなかったため、令和 7 年度へ繰越	その他、残額を次年度繰越とする地域あり
合計	76 件	助成金額合計 2,519,840 円(会費納入総額の 20.0%)	

※申請支部数…60 支部

⑧自治協議会(福祉部会)や市民センターとの連携の推進

- ・地域自治組織等が、地域福祉事業を円滑に進められるよう助成を行い、地域福祉事業の推進にあたった。

助成先	実施事業	助成額	交付決定日
矢本東 まちづくり協議会	・お茶のみ交流 ・ウォーキングで地域を探検 ・健康体操	70,000 円	7 月 10 日
矢本西 コミュニティ協議会	・健康体操・健康推進講座 ・子育てふれあいサロン ・ささえあい研修	70,000 円	
赤井地区自治協議会	・地域見守り事業 ・夏休みこども楽集塾 ・子ども漬物TRY塾 ・ココロのバリアフリーCooking	70,000 円	
大塩自治協議会	・健康まつり	30,000 円	
野蒜 まちづくり協議会	・伝統芸能継承事業 ・心のコンサート ・寺子屋サロン ・ほっとすっぺす	70,000 円	
合計		310,000 円	

⑨ノーマライゼーション普及事業の実施

- ・特別支援学級支援団体の活動状況の把握に努めたが、交流会開催までには至らなかった。

⑩特別支援学級への学用品等支給事業

- ・児童生徒の学習支援の一環として、市内特別支援学級設置校と支援団体(あかしや会・しいのみ会・いちょうの会)が主催する行事に協賛し、学用品等の贈呈を行った。

(今年度もコロナ感染予防の観点から校区や学校ごとの開催となった)

事業名	時期	支給内容
各学校とあかしや会・しいの実会・いちょうの会主催 「合同クリスマス学習会」	12 月 17 日～ 12 月 20 日	図書カード (80 人)
各学校とあかしや会・しいの実会・いちょうの会主催 「卒業・進級を祝う会」	令和 7 年 2 月 19 日～ 2 月 27 日	文具セット (進級 57 人) (卒業 21 人)

⑪子ども・若者の居場所づくり支援事業

- ・十分な作業時間の確保ができなかったため、未実施

⑫心のケア促進事業

被災者の孤立感の解消や地域内でのつながりづくり、生きがいをづくりを目的に実施した。

ア 令和6年度「心の復興コンサート」ランチ交流会

実施日：令和7年2月22日（土）

会 場：矢本西市民センター

参加者：来場者 95 人（災害公営住宅 295 世帯を対象）

コンサート演奏者：「みやぎびっきの会」



イ 金子美枝のフラワーアレンジメント教室

講師：フラワー装飾技能士1級 華創師 金子 美枝 氏（横浜市在住）

時期		開催場所	参加者数
7 月	13 日	赤井市民センター 多目的ホール	17
	13 日	地域福祉交流プラザ 多目的ホール	17
	14 日	小野市民センター 講堂	22
11 月	9 日	矢本西市民センター 1.2 会議室	14
	9 日	地域福祉交流プラザ 多目的ホール	13
	10 日	野蒜市民センター 多目的ホール	23
令和7年3月	8 日	大曲市民センター 会議室1・2・3	12
	8 日	地域福祉交流プラザ 多目的ホール	16
	9 日	野蒜市民センター 多目的ホール	20
合計			154



⑬民生委員・児童委員の活動環境の整備と担い手の育成の支援

・民生委員児童委員協議会の事務支援を通じ、市や社協事業と連携した地域共生社会の実

現に向けての取り組みを行った。

ア 東松島市民生委員児童委員協議会事務事業の支援

構 成	定数 84 人 / 現員数 民生委員 75 人、主任児童委員 3 人
会議の状況	定期総会：4 月 10 日 定例会毎月開催(毎月 10 日前後) 正副会長会議 (1 回) 役員会 (16 回)、児童専門部会 (4 回)、監査会 (1 回)
支援内容	①会議資料作成 ②報告文書等の作成と発送 ③会議運営支援 ④会計事務支援

⑭福祉関係団体の連携・協働の推進

- ・それぞれの福祉団体が目的達成に向けて、自立した活動ができるよう事務支援を行った。

ア 東松島市老人クラブ連合会

構 成	22 単位クラブ、会員数 574 人
会議の状況	総会：年 1 回、理事会：年 2 回、正副会長会議：年 1 回、 監査会：年 1 回
支援内容	①補助金の申請手続き(申請～実績報告)②会計処理③会の運営支援 ※シニアスポーツ大会、2 市 2 町交流会、パークゴルフ大会、移動研修会、ゆらり、

イ 東松島市遺族会

構 成	会員数 162 人
会議の状況	代議員会(総会)：年 1 回 (7 月に代議員会開催) 正・副会長会議：年 2 回、理事会：年 2 回、監査会：年 1 回
支援内容	①会費の一時預かり ②会議等の運営③護国神社参拝準備補助 ・令和 6 年度第 1 回正・副会長会議 4 月 19 日老人福祉センターにて開催 ・令和 6 年度第 1 回理事会 7 月 3 日交流プラザにて開催 ・令和 6 年度代議員総会 7 月 31 日交流プラザにて開催 ・宮城県戦没者慰霊祭 9 月 5 日常盤台霊園にて開催 役員 3 名参加 ・令和 6 年度第 2 回理事会 9 月 9 日交流プラザにて開催

ウ 東松島市身体障害者福祉協会

構 成	会員数 39 人
会議の状況	総会：年 1 回、役員会：年 4 回、三役会議：年 1 回
支援内容	①補助金の申請手続き (申請～実績報告) ②会計補助③会議等の運営 ④各種行事の運営⑤会員研修事業の運営 ・令和 6 年度第 1 回役員会 4 月 3 日老人福祉センターにて開催 ・令和 6 年度総会 4 月 26 日老人福祉センターにて開催 ・令和 6 年度第 2 回役員会 5 月 16 日 市内体育館見学 ・令和 6 年度移動研修会 7 月 11 日唐桑ビジターセンター 15 名参加 ・令和 6 年度第 3 回役員会 7 月 24 日交流プラザにて開催

	・令和6年度室内ミニスポーツ大会・研修会 10月2日老人福祉センターにて開催 24名参加 ・令和6年度2市1町障がい者福祉協会スポーツ交流会 奥松島運動公園体育館にて開催 東松島市身障協会主催 ・令和6年度役員移動研修会 11月14日 仙台大観音、障害者就労継続B型事業所ポッケの森 8名参加 ・第4回役員会 12月11日交流プラザにて確認 ・令和6年度新年会・芋煮会 2月5日関ノ内地区センター 18人参加 ・令和6年度第5回役員会 3月14日交流プラザにて開催
--	---

エ 東松島市共同募金委員会

構成	委員数9人
会議の状況	運営委員会：年1回、配分委員会：年1回
支援内容	①事業運営全般 ②会計処理 ③募金活動(赤い羽根、歳末たすけあい、災害義援金) ④助成金の申請・配分

オ 社協・福祉関係団体長懇談会の開催

- ・各団体間との調整不足により未実施。

(福祉関係団体) 東松島市民生委員児童委員協議会・東松島市老人クラブ連合会
東松島市身体障害者福祉協会・東松島市遺族会

⑮社福法人・社協連携による「地域における公益的な取組」の推進

※多機関協働事業「③福祉なんでも相談窓口事業」に掲載

⑯情報発信力の強化

ア 広報誌「社協だより ふれあいねっと」の定期発行(全戸配布)

- ・地域福祉活動を啓発・促進させるため、12回(毎月)発行した。
- ・発行部数 15,600部/月

号数	発行日	号数	発行日
第124号	令和6年4月1日	第130号	10月1日
第125号	5月1日	第131号	11月1日
第126号	6月1日	第132号	12月1日
第127号	7月1日	第133号	令和7年1月1日
第128号	8月1日	第134号	2月1日
第129号	9月1日	第135号	3月1日

イ 東松島市社会福祉協議会ホームページ

- ・ホームページを活用し、各種研修会の参加募集やイベント情報等の発信を行った。
(<http://www.hmfukushi.jp/>)

⑰災害時福祉支援体制の整備

ア 東松島市総合防災訓練への参加（6月16日）

（ア）災害ボランティアセンター設置・運営訓練

- ・地域福祉交流プラザを開所してから初めての訓練であったので、災害ボランティアセンターの中核拠点となる同プラザのボランティアの導線（受付から送り出しまで）を確認した。
- ・宮城県社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンター登録システム（キントーン）のデモを行い、職員理解の促進を図った。

（イ）福祉避難所設置訓練・運営訓練

- ・老人福祉センターにおいて、福祉避難所役割や感染対策、スフィア基準について職員間で確認した後、簡易ベッド、避難所用テントの設置、避難者の受入訓練を行った。

（ウ）その他

- ・職員参集訓練、職員安否情報送信訓練（マイクロソフトフォーム）、市災害対策本部参加訓練等を行った。

イ 震災経験の風化防止

- ・東日本大震災に際し他の社協や団体から受けた支援の事例をキントーンに掲載し、職員が閲覧できる状態にした。

ウ 被災地への職員派遣（北海道・東北ブロック職員派遣）

（ア）令和6年1月1日能登半島地震

派遣期間 4月17日～4月23日（7日間）

派遣先 志賀町災害ボランティアセンター（志賀町社協）

派遣職員 渡辺英人（社会福祉士／CSW）

活動内容 市内のニーズ調査（被害状況の把握、困りごとの聞き取りなど）、ボランティア派遣調整業務など

（イ）令和6年7月25日山形県豪雨

派遣期間 9月18日～9月22日（5日間）

派遣先 酒田市災害ボランティアセンター（酒田市社協）

派遣職員 武者裕介（社会福祉士）

活動内容 市内のニーズ調査（被害状況の把握、困りごとの聞き取りなど）、ボランティア派遣調整業務など

エ 被災者支援ボランティアバスの派遣

- ・石巻圏域2市1町社協（石巻市・東松島市・女川町）合同企画で実施

支援期間 6月28日～6月30日（3日間）※ボランティア活動日は29日のみ

支援先 石川県志賀町

派遣人数 23名（内、東松島市6人）

活動内容 個人宅敷地内のガレキ撤去及び集積所への運搬など

オ 能登町の被災状況と被災者に対する生活支援の実態と課題の調査について

- ・令和6年1月1日発生の能登半島地震で被災し、宮城県の対口支援先としての能登町の実態調査

調査期間 11月12日～14日

⑱地域福祉推進大会の開催

ア 実施内容

東松島市地域福祉推進大会と題して、表彰式と記念公演の2部構成で開催した。表彰式は多年にわたり社会福祉事業活動の発展に献身的な努力を続け、その功績顕著な者及び社会福祉活動に協力援助した団体及び個人へ表彰を行った。記念公演は、東松島市内の市民センター等で心の復興支援として長年にわたり活動をしていただいた「安田智彦ジャズコンサート」を開催した。

日時 10月30日 午後1時30分～

場所 東松島市コミュニティセンター

内容 第1部 東松島市社会福祉功労者表彰式「表彰状及び感謝状の贈呈」

第2部 記念公演「安田智彦ジャズコンサート」

イ 令和6年度 東松島市地域福祉推進大会受賞者(敬称略)

(ア) 民生委員児童委員及び社会福祉活動の奉仕者でその功績顕著な者

《東松島市社会福祉協議会支部推薦(22人)》

大槻きみ子(大溜)、千葉ゆり子(南一)、菅原洋子(南六)、阿部良子(大島)、高山文子(平岡)、益けい子(上河戸若葉)、秋場晴美(上河戸若葉)、阿部みき子(下町四地区)、信夫明美(下町四地区)、萱場キネ子(大溜)、茄子川亮(関の内西)、木村節子(関の内三)、鹿野淳子(河戸)、庄子真奈美(河戸)、石井恵美子(横沼)、及川加津子(横沼)、阿部久美(大曲)、土井久美子(大曲)、津田初子(大曲)、横山美和子(南新町)、永沼良子(柳西)、菅井克宣(大塚)

《ボランティア団体・百歳体操推薦(42人)》

村上笑美子(民謡はまなす会)、佐藤容子(東松島民話の会「おさるのかごや」)、新木和美(東松島市レクリエーション協会)、阿部明(矢本民謡桃香会)、日野百合(宮城いきいきこでまり会)、工藤宏美(東松島市点訳サークル)、伊藤美代子(矢本・鼓和の会)、千葉真志子(ミッフィークラブ)、阿部きみ子(赤十字奉仕団東松島市さくら会)、櫻井けい子(「東松島市いきいき百歳体操」サポータークラブ虹)、遠藤浩子(下町べっぴん百歳体操)、阿部勝子(南三区なごみ会)、成澤とも子(浅井百歳体操会)、立川光子(あいサロン)、櫻井キイ子(里浜げんきクラブ)、櫻井健児(はつらつシニア百歳体操)、鈴木みつえ(百歳体操よつばの会)、相澤美智子(105ピンピン体操の会)、佐藤正己(川前サルビア会)、鹿野晃(いきいき三燦会)、小俣久美子(はばたけ百歳体操)、鈴木正美(にっこり百歳体操サークル)、新沼あい子(和幸会百歳体操の会)、千葉百合子(スマイル元気会)、後藤有貴子(東名地区あざみの会)、門馬満須美(ほっこり常楽会)、松本康子(鹿妻若葉の会)、奥田登美子(いきいき会)、小澤久(悠悠クラブ)、成澤正子(西福田地区こまち)、佐々木久(なごみ百歳体操)、鈴木やひ子(カトレア会)、木村勝枝(裏沢いきいきほっとサロン)、斉藤絹子(さくらんぼ会)、佐々木正男(シャンシャン会)、亀卦川功之(ひよこクラブ)、先崎常男(南新町自治会いきいきクラブ)、小野たか子(月浜ピンコロ体操)、安達智子(生き活きライフクラブ)、菊池和夫(横沼櫻木の会)、涌澤俊子(表百歳体操)、三浦典子(大溜なのはなクラブ)

(イ) 社会福祉施設、社会福祉団体等の役職員でその功績顕著な者

《社会福祉施設・事業所の役職員(14人)》

土井啓一、千葉純、齋藤文孝、浅野悦郎、佐々木豊、平地富夫(社協支部長)、櫻田千里、鹿又由美子、三浦幸枝、高橋功(社協職員)、石田愛(グループホーム日和)、相澤聡志(特別養護老人ホーム不老園)西條美江、津田沙由里(デイサービス和花)

《福祉団体の役員(1人)》

鈴木栄(東松島市老人クラブ連合会)

(ウ) 社会福祉事業に対し、金品の寄贈または労力の奉仕者でその功績顕著な者

《特別会員(4社)》

株式会社あさの保険サービス、株式会社エスディ佐藤電気、社会福祉法人ことぶき会
医療法人郁風会ヤモト歯科医院

《労力の奉仕者(2人)》

古山和夫(グループホーム日和)、加藤理恵(まもりーぶ支援員)

以上、表彰状受賞(個人・団体)…79人 感謝状受賞(個人・団体)…6人

⑩防災・地域交流推進のためのテント配分事業

- ・誰もが地域社会の一員として参加できる様々な福祉活動の展開を推進し、自治会が行う安心安全な福祉のまちづくりへの理解と参加を図るため、共同募金配分金を活用し、テントの現物支給を行った。

※配分希望支部なし

⑪合併20周年の東松島市社協のあゆみの継承

- ・合併20周年記録誌の作成に向け、記録誌の構成案の検討と合併以降の主要な出来事や事業のリストアップ作業を行った。
- ・広報誌「社協だより ふれあいねっと」(紙媒体)のデジタル化と、AI活用による記事のテキストデータ化を進めた。

⑫ヤングケアラーの支援

- ・十分な作業時間の確保ができなかったため、未実施

⑬レクリエーション活動普及促進事業

- ・レクリエーション用具の使用方法的研修会を実施した。矢本、鳴瀬地区で各2回、6種目を体験していただいた。延べ179人が参加した。

開催日	場所	参加人数	研修内容
6月13日	奥松島運動公園体育館	30人	実技体験(モルック風カラーボウリング、スマイルシャッフルボード、歌パズル)
6月29日	大曲地区体育館	68人	
9月18日	大曲地区体育館	53人	実技体験(ターゲットバードゴ)

9月26日	奥松島運動公園体育館	28人	ルフ、障害物リレー、パン食い競争)
-------	------------	-----	-------------------

③福祉教育の推進

- ・社会福祉援助技術実習生の受入れや小学校での福祉に関する講話などを実施した。

ア 実習生の受入れ

受入れ期間	学校	人数	内容
7月1日～8月2日	東北福祉大学	1人	ソーシャルワーク実習Ⅱ（24日間）

イ 小学校での福祉に関する講話

開催日	場所	学年	内容
6月13日	矢本東小	3学年	キャップハンディ体験
9月27日			視覚障害に関する講話（点字学習）
12月6日			聴覚障害に関する講話（手話学習）
7月11日	赤井南小	3学年	キャップハンディ体験
9月11日			視覚障害に関する講話（点字学習）
12月2日	赤井小	4学年	キャップハンディ体験
2月4日	大曲小	3学年	視覚障害に関する講話（点字学習）
2月21日	大塩小	3学年	キャップハンディ体験
2月26日	鳴瀬桜華小	3学年	視覚障害に関する講話（点字学習）



④総合的学習支援事業

- ・家庭や学校外での地域資源を活用した体験学習を通じ、自分たちの暮らしの中にある地域との結びつきを感じてもらう活動に助成した(助成上限額1校40,000円)。

助成先	助成額	事業概要
矢本東小学校	40,000円	4年生 レッツゴーやもとうまいもの探検隊 5年生 みんなの町 東松島
大曲小学校	40,000円	3年生 東松島うまいもの探検隊 4年生 東松島名人になろう

大塩小学校	40,000 円	3 年生 大豆の達人 5 年生 宇宙おいしい米づくり
矢本西小学校	40,000 円	3 年生 すてきいっぱい東松島市 4 年生 みんなにやさしい東松島市
赤井小学校	40,000 円	3 年生 発見!私たちの町 4 年生 つくろう!私たちの町
赤井南小学校	40,000 円	4・5 年生 南小伝統の太鼓を学ぼう 5 年生 米作りをマスターしよう
鳴瀬桜華小学校	40,000 円	4 年生 シナイモツゴを育てよう 5 年生 東松島の食 大発見!
宮野森小学校	40,000 円	6 年生 震災と復興の森について伝えよう 3・4 年生 ふるさとの森や海に親しもう
矢本第一中学校	40,000 円	2 年生 職場体験学習
矢本第二中学校	40,000 円	2 年生 職場体験学習
鳴瀬未来中学校	40,000 円	2 年生 職場体験学習
合計	440,000 円	

㊤火災見舞金支給事業の実施

- ・住宅火災に見舞われた世帯に対し、本会規程による見舞金を支給した。
火事見舞 全焼 1 件（道地地区 1 棟 3 世帯）
- ・当センター連携先の市内企業から生活家電の無償提供を頂いた。

㊤閉じこもりがちな高齢者との交流

- ・十分な作業時間の確保ができなかったため、未実施

(3)生活支援体制整備事業（東松島市からの受託）

①生活支援体制整備事業

ア 生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置

- ・地域支え合い体制の構築のため、第 1 層に 1 人、第 2 層に 3 人（内、1 人は第 1 層と兼務）の生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の把握やお茶会等集いの場の立上げ、地域での見守り活動等の支援を行った。

イ 生活支援コーディネーターの活動状況

（ア）市全域での活動件数

活動内容	件数
総合調整・活動支援（多機関との調整や第 1 層及び第 2 層間の調整、団体等への活動支援）	57
研修会の開催（フォーラムや支え合いに関する研修会）	29
ネットワークの構築（関係機関との情報交換会や他機関との連携を図ったもの）	80
広域的な業務（他市町村との連携や情報交換会）	65
定例会議（市役所との生活支援体制整備事業定例会議）	3

会議等への出席(地域ケア会議や他の地域包括ケアに関連する会議への出席)	81
協議体の運営(第1層協議体(地域支え合い推進委員会)運営及び運営に係る調整)	19
アセスメント・分析(市内の地域資源に関する収集した情報のアセスメント及び分析)	6
その他(研修会への参加等)	13
計	353

(イ) 地域活動圏域の活動件数

(単位 件)

地域活動圏域 活動種別	赤井	大曲	矢本東	矢本西	大塩	小野	野蒜	宮戸	合計
地域資源の把握	54	44	87	59	46	78	102	49	519
生活支援ニーズの把握	40	35	71	55	39	18	44	19	321
支援対象者の把握	39	34	68	55	44	17	39	14	310
ネットワーク構築	107	66	53	35	72	71	96	41	541
マッチング	8	6	20	25	3	10	8	4	84
サービス創出	4	5	3	4	13	1	0	0	30
関係機関調整	33	15	54	45	22	23	15	8	215
連携・連動	58	39	78	54	41	32	20	5	327
会議出席	10	15	12	10	8	13	26	10	104
協議体運営	12	18	10	6	10	14	20	7	97
アセスメント・分析	4	5	7	10	5	10	12	5	58
相談対応	6	5	33	34	8	4	13	8	111
その他(研修会への参加等)	2	2	2	2	5	6	4	3	26
計	377	289	498	394	316	297	399	173	2,743

(ウ) 生活支援体制整備事業に係る市担当課との連携(定例会議の開催)

回数	開催日	内容
第1回	4月23日	- 令和5年度までの体制整備事業の実施状況について - 令和6年度の生活支援体制整備事業計画について - 今年度の生活支援体制整備事業の進め方について
第2回	令和7年 1月15日	- 生活支援体制整備事業の進捗状況について (第1層部会及び地域ごとの活動状況の確認) - 今後の生活支援体制整備事業の取り組みについて

・その他、部会の開催時及び協議体開催時など随時市の担当職員と連絡調整を行った。

ウ 第1層協議体の運営及び連携

- ・東松島市生活支援体制整備事業実施要綱に基づき、東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)の運営。今年度介護予防ボランティアポイント検討部会と生活支援・介護予防サービス検討部会の2部会の運営を実施した。

(ア) 東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)の開催

- ・地域支え合い推進委員会(第1層)

開催日	内容	出席者
令和7年 3月13日	・東松島市生活支援体制整備事業取り組み状況について ・令和7年度生活支援体制整備事業の方向性について	委員11人 事務局7人

・介護予防ボランティアポイント検討部会

開催日	内容	出席者
5月3日	第9回 介護予防ボランティアポイント検討部会 ・介護予防ボランティアポイントの対象及び事業内容について	部会員5人 事務局4人
9月5日	第10回 介護予防ボランティアポイント検討部会 ・ボランティアポイント事業の流れについて ・今後の進め方について	部会員5人 事務局4人
9月27日	第11回 介護予防ボランティアポイント検討部会 ・介護予防ボランティアポイント事業の実施要綱について ・今後の進め方について	部会員5人 事務局3人
10月31日	第12回 介護予防ボランティアポイント検討部会 ・介護予防ボランティアポイント事業の実施要綱について ・今後の進め方について	部会員5人 事務局2人
12月19日	第13回 介護予防ボランティアポイント検討部会 ・ボランティアポイント手帳様式（案）について ・今後の進め方について	部会員5人 事務局4人
令和7年 2月6日	第14回 介護予防ボランティアポイント検討部会 ・今年度部会の協議状況のまとめについて ・今後の進め方について	部会員5人 事務局4人

・生活支援-介護予防サービス検討部会

開催日	内容	出席者
6月7日	第7回 生活支援・介護予防サービス検討部会 ・住民主体の移動支援研修の振り返り ・先進地視察研修について（視察場所の選定）	部会員5人 事務局4人
7月17日	第8回 生活支援・介護予防サービス検討部会 ・先進地視察研修 NPO 法人 ふれあい天童の住民主体の生活支援について	部会員3人 事務局4人
9月26日	第9回 生活支援・介護予防サービス検討部会 ・先進地視察の振り返りについて ・住民主体の生活支援（総合事業）の全国の状況について （厚生労働省地域づくり加速化事業アドバイザー現地支援）	部会員5人 事務局5人 支援者14人
11月5日	第10回 生活支援・介護予防サービス検討部会 ・東松島市における総合事業の立ち上げについて （厚生労働省地域づくり加速化事業アドバイザー現地支援）	部会員5人 地域住民3人 事務局5人 支援者12人

令和7年 1月29日	第11回 生活支援・介護予防サービス検討部会 ・東松島市における総合事業の立ち上げについて (厚生労働省地域づくり加速化事業アドバイザー現地支援)	部会員5人 地域住民1人 事務局5人 支援者14人
---------------	---	------------------------------------

(イ) 啓発事業の実施

- ・市内で生活支援体制整備事業を進めるにあたり、自治会圏域での地域支え合い会議(第3層)の開催を推進するため、地域支え合い会議に関するチラシを作成し、社協支部長会議や第2層協議体などで啓発した。

(ウ) その他

- ・社協だより「ふれあいねっと」にて地域のサロン紹介や、協議体の活動紹介を行い体制整備事業の啓発に努めた。

エ 第2層協議体の運営・連携

- ・市内地域活動圏域(8自治協エリア)において、協議体運営に向けた支援に取り組んだ。

【赤井地域】

- ・赤井地域第2層協議体(協議体名称:おせっかい)会議を年5回開催し、赤井地域における地域課題について情報交換を実施した。

【大曲地域】

- ・アットホーム大曲安心づくり事業部(大曲地域第2層協議体)事業部会議を年12回開催した。
- ・大曲地域で実施した高齢者の生活支援に向けたアンケート分析を実施。また毎月の開催で、自治会ごとの地域活動の状況について情報交換を実施した。

【野蒜地域】

- ・野蒜地区民生委員の情報交換を通じて、野蒜地域における地域課題について情報交換を実施した。

【大塩地域】

- ・大塩地域第2層協議体を2回開催。大塩地域における地域支え合い会議の推進や移動の課題について協議した。

【矢本東地域】

- ・矢本東地区民生委員情報交換において、地域課題に関する情報交換を実施した。また、矢本東地区まちづくり協議会保健福祉部会において矢本東地区での取り組みについて情報交換を実施した。

【矢本西地域】

- ・矢本西地区民生委員の情報交換を通じて、矢本西地域における地域課題について情報交換を実施した。

【小野地域】

- ・小野地区民生委員の情報交換を通じて、小野地域における地域課題について情報交換を実施した。

【宮戸地域】

- ・宮戸地区民生委員の情報交換を通じて、宮戸地域における地域課題について情報交換を実施した。

【全地域共通】

- ・サロン活動への訪問を通じて、地域支え合い活動の把握とキーパーソンとの関係づくりを実施した。
- ・地域生活課題の把握のため、自治会圏域(第3層)における地域支え合い会議を推進し、今年度は新規で2地域で会議を開催、51地域において地域支え合い会議を開催した。

オ 生活支援体制整備事業推進協力金の交付(6地域 合計1,460,000円)

地 域	交付額
赤井地域	300,000 円
大曲地域	240,000 円
矢本東地域	300,000 円
大塩地域	210,000 円
野蒜地域	210,000 円
宮戸地域	200,000 円
合計	1,460,000 円

(4)地域介護予防事業（東松島市からの受託）

①介護予防事業対象者の把握

ア いきいき百歳体操実施サークルの登録状況及び活動状況

- ・登録団体 69 団体
- ・7月9日に行われたヘルスケアフォーラムにおいて東北医科薬科大学医学部管理学教室教授伊藤弘人氏より地域経済循環構造の改善がみられたとのことで表彰される。
- ・7月26日第73回東北公衆衛生学会が東北大学医学部で開催され、「東日本大震災を経験した東松島市の百歳体操サークル活動の新型コロナ禍による活動中止後の回復」をテーマに講演を行った。
- ・啓発チラシの作成・配布や他の好事例を紹介するなど、住民同士の「つながり」を絶やさないよう支援を継続した。
- ・コロナ禍を経験した団体の代表者からは、「活動を休むのは簡単だが、高齢者の行き場がなくなり体力が落ちる」「ここに来るのが楽しみ」「みんなの顔を見ると安心する」等の声が聞かれた。
- ・活動の幅を広げてもらうために、レクリエーション用具の使用方法的研修会を実施した。矢本、鳴瀬地区で各2回、6種目を体験してもらった。延べ179人が参加した。

イ いきいき百歳体操登録団体一覧

	地区	サークル名	開催日	開催場所
1	下 町	下町べっぴん百歳体操	火・金	下町地区センター
2	川 下	川下地区百歳体操	木	川下地区センター
3	南新町	ニコニコサロン	木	南区新町地区センター
4	小野下	新道町内会自治会	火	小野下地区センター
5	あおい2	あおい元気サークル	火	あおい二丁目地区センター
6	下小松	下小松地区健康体操	火	下小松地区センター
7	南三区	なごみ会	木	川前集会所

8	浅 井	浅井百歳体操会	火	浅井地区センター
9	大 溜	あいサロン	水	大溜地区センター
10	小野上	遊楽楽会	木	小野上地区センター
11	上 納	ヘルシーカフェあがらいん茶屋	金	上納地区センター
12	里 浜	里浜げんきクラブ	月	里浜地区センター
13	柳 区	なないろの会	木	柳の目西住宅集会所
14	平 岡	はつらつシニア	火	平岡地区センター
15	往還下	しゃんしゃんとクラブ	火	小野駅前東集会所
16	亀 岡	チーム楽・楽・楽	木	亀岡地区センター
17	小松南	爺・婆まけん隊	月	小松南住宅集会所
18	貝 田	よつばの会	火	大曲地区センター
19	作田浦	作田浦自治会	月	矢本東市民センター
20	南 五	105 ピンピン体操の会	木	南区西地区センター
21	中 下	いきいきちょっくら会	木	中下地区センター
22	赤井駅前	川前サルビア会	金	川前集会所
23	三角公園	いきいき三燦会	水	上町西地区センター
24	柳 西	柳西区はまなす会	月	川前集会所
25	室 浜	チーム室浜	火	室浜地区センター
26	関の内	はばたけ百歳体操	金	関の内地区センター
27	二反走	にっこり百歳体操	金	二反走地区センター
28	南 区	南区和幸会百歳体操の会	月	南区西地区センター
29	野蒜ヶ丘 3	スマイル元気会	水	野蒜ヶ丘西部集会所
30	前 里	前里百歳体操	月	前里地区センター
31	東 名	東名地区あざみの会	木	東名地区ふれあいセンター
32	大浜台	ほっこり常楽会	金	大浜地区センター
33	大 塚	かたくり会	火	大塚地区センター
34	鹿 妻	鹿妻若葉の会	金	鹿妻地区センター
35	小松台	なんだ坂こんな坂サークル	木	小松台地区センター
36	野蒜ヶ丘 2	いきいき会	月	野蒜ヶ丘中央集会所
37	四反走	悠悠クラブ	火	四反走地区センター
38	西福田	西福田地区こまち	金	西福田下地区センター
39	あおい 3	なごみ百歳体操	金	あおい三丁目地区センター
40	上町東	カトレア会	金	上町東地区センター
41	裏 沢	裏沢いきいきほっとサロン	水	裏沢地区センター
42	中 区	さくらんぼ会	金	中区地区センター
43	塩 入	あったかサロン・シオイリ	水	塩入地区センター
44	野蒜ヶ丘 1	シャンシャン会	月	野蒜市民センター
45	上河戸若葉	上若百の会	月	上河戸地区センター
46	上河戸一	ひよこクラブ	火	河戸地区センター
47	大塩中	大塩スマイル	火	大塩市民センター
48	下町一	下町一ふあふあ会	金	南浦地区センター
49	大 島	大島地区健康体操	火	大島地区センター
50	南新町	いきいきクラブ	水・金	南区新町地区センター

51	谷地	お茶サロン谷地	水	谷地地区センター
52	月 浜	ピンコロ体操	火	月浜地区センター
53	柳 北	生き活きライフクラブ	水	柳北区地区センター
54	横 沼	横沼桜木の会	月	横沼地区センター
55	下 区	すみれ会	金	下区地区センター
56	表	表百歳体操	月	表地区センター
57	東大溜	なのはなクラブ	火	大溜地区センター
58	上町東	ひまわり会	火	上町東地区センター
59	沢 田	沢田いきいき 101 歳	火	沢田地区センター
60	立 沼	立華会	火	立沼地区センター
61	上下堤	みんなでいきいき楽しむ会	金	上下堤地区センター
62	上小松	上小松いきいき会	金	上小松地区センター
63	根 古	根古ふれあいサロン	木	根古地区センター
64	往還上	往還上ゆったりクラブ	水	小野駅前南集会所
65	往 還	上寿会	水	往還地区センター
66	高 松	高松いきいき体操	月	高松地区センター
67	道 地	フレッシュ百歳体操	水	道地地区センター
68	五味倉	楽笑会	月	五味倉地区センター
69	小 野	J A いしのまき小野支部	木	小野地区センター

②介護予防活動の普及啓発

ア 第7回 東松島市「いきいき百歳体操」交流大会実施

・開催日：11月18日(月)13:30～

場 所：東松島市コミュニティセンター

参加者：300人

・88歳以上のご長寿参加者に「奨励賞」の授与 受賞者74人

・記念講演

講師：東北文化学園大学医療福祉学部 鈴木 誠教授

演題：「予防」のための運動のすすめ～健康生活へのヒントとは？～

③住民主体の介護予防活動の育成・支援

ア いきいき百歳体操代表者会議の開催

(ア) 第1回いきいき百歳体操代表者会議

開催日：7月10日(水)13:30～

場 所：東松島市コミュニティセンター

参加者：103人

〈報告事項〉

- ・ふれあいサロン活動助成金申請団体の状況について
- ・百歳体操活動中における公民館総合補償制度について
- ・「こころと体に得するお話」について
- ・イート・イーナの健康 my ポイントについて

- ・東松島市認知症地域支援コーディネーターについて

〈協議事項〉

- ・「東松島市いきいき百歳体操交流大会」の開催について

〈健康セミナー〉

- ・健やかに生きるために～データから読み解く体力アップのひと工夫～

東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻鈴木誠教授

(イ) 第2回いきいき百歳体操代表者会議

開催日：令和7年2月12日(水)13:30～

場 所：東松島市コミュニティーセンター

参加者：103人

〈報告事項〉

- ・「ふれあいサロン活動」助成金の実績報告書について
- ・「ふれあいサロン活動」助成金の交付申請書の提出について
- ・「こころと体に得するお話」講師派遣について
- ・公民館総合補償制度について
- ・物品貸与のチェックについて
- ・レクリエーション活動職員派遣、用具の貸し出しについて

〈健康セミナー〉

- ・フレイル対策～食事と口腔ケア
- ・正しい知識で認知症を知ろう

イ 地域交流サロン運営支援

- ・サロンスタッフやレクリエーション協会スタッフの派遣(レクリエーション等活動支援)を54団体へ205回行った。
- ・地域交流サロンの運営支援(内訳)

時期	回数	参加者数	時期	回数	参加者数
4月	回	人	10月	22回	302人
5月	1回	24人	11月	22回	283人
6月	23回	344人	12月	21回	300人
7月	21回	262人	1月	14回	166人
8月	17回	218人	2月	21回	297人
9月	24回	330人	3月	19回	290人
合計				205回	2,816人

ウ ふれあいサロン活動助成金の交付(再掲)

- ・地域の身近な場所で住民が自主的・主体的に活動を行う「ふれあいサロン」活動団体の把握と活動団体の事業運営に対して助成金を交付し、小地域での福祉活動の活性化を図った。
- ・登録団体：109団体
- ・東松島市財源分「通いの場事業費」助成金の交付：56団体4,505,000円
- ・社協財源分「小地域福祉活動事業費」助成金の交付：11団体246,000円

④一般介護予防評価事業への協力

- ・第4回医療と地域創生大賞受賞について

7月9日に開催された、東北医科薬科大学医学部主催の2024年ヘルスケアフォーラムにおいて、本市の「いきいき百歳体操」の取り組みが地域医療の観点から他の模範となる活動と認められ、「第4回医療と地域創生大賞」の受賞者として表彰された。主催者側からは、コロナ禍でも会員同士や地域社会とのつながりを切らない取組は称賛に値すると高評価の声をいただいた。調査・研究の基礎となる参加者の体力測定結果データ等を提供した。

(5) 共同募金事業(共同募金配分金による事業)

①東松島市共同募金委員会の運営

- ・委員会の事務局を担うとともに、共同募金運動の啓発と地域の福祉活動を推進するための民間資金の確保に努めた。

ア 赤い羽根共同募金実績…総額 4,594,029 円(前年総額 4,205,405 円・前年比 109.2%)

戸別募金	法人募金	学校募金	職域募金	個人募金	その他の募金
4,387,860 円	0 円	92,561 円	68,625 円	0 円	44,983 円

②共同募金一般配分事業の実施

- ・共同募金の配分金を活用し、募金運動の啓発と地域において福祉活動を展開している民間福祉団体等への財政支援を行った。

ア 市町村募金按分処理に係る配分事業

障害児・者福祉活動	・活動支援団体への助成金配分 30,000 円×7 団体 (身体障害者福祉協会、視覚障害者福祉協会、ぎんの星、共生園、てあわせ表現東松島、アドベンチャークラブ、放課後デイサービス・やまびこ村)
児童・青少年福祉活動	・市内小中学校児童への啓発運動 赤い羽根ポスターコンクール 児童生徒 26 人応募 ・支援団体に対する助成金の配分 30,000 円×1 団体(大塩みんなの家)
福祉育成・援助活動	・総合的学習支援助成事業 40,000 円×11 校 (小学校 8 校、中学校 3 校)
ボランティア活動育成事業	・ボランティア登録団体助成事業 28 団体
災害ボランティア支援	・能登半島地震現地調査(能登町)

③災害義援金の募金活動

ア 募金実績

募金の目的	募金の送付先	送金額
令和6年能登半島地震災害義援金	中央共同募金会	2,265,645 円
令和6年能登半島豪雨災害義援金	中央共同募金会	101,568 円
大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金	中央共同募金会	5,809 円

④歳末たすけあい配分事業の実施

- ・関係機関や関係団体の協力のもと募金活動を展開し、新たな年を迎える時期に支援を必要とする対象者(団体)に対し、見舞金として支給した。

ア 歳末たすけあい募金実績…総額 305,000 円

個別募金	法人募金	学校募金	職域募金	イベント募金	個人募金	募金箱
45,585 円	0 円	27,902 円	13,527 円	125,000 円	30,000 円	62,986 円

※街頭募金活動はせず、募金箱や会議等での呼びかけを行った。

イ 歳末たすけあい募金配分委員会の開催

- ・開催日時 12月20日(金)、地域福祉交流プラザ 多目的ホール
- ・出席者 配分委員会委員4人
- ・配分先の決定 下記のとおりに決定した。

配分先	配分額	
生活に課題のある世帯	21 世帯 41 人	歳末見舞金 ・独居世帯 10,000 円 ・2人以上世帯 15,000 円
特別支援学級支援団体	3 団体	あかしや会、しいのみ会、いちょうの会 各 10,000 円

(6) ボランティアセンター事業

①地域活動・ボランティア活動の担い手の育成

ア ボランティア講座の開催

- ・近年多発する自然災害に対する災害ボランティアセンターの役割及び被災地での災害ボランティア活動の心構えや基本的な知識、また、普段の地域福祉活動との関わりについて学ぶ災害ボランティア講座を開催した。

時期	場所	内容	講師	参加者
令和7年 3月1日	地域福祉交流 プラザ	災害ボランティア 講座	一般社団法人「BIGUP 石巻」 阿部由紀代表理事	16 人

②ボランティア団体活動の支援の充実

- ・ボランティア登録団体の活性化と活動しやすい環境づくりを推進するため、共同募金配分金を活用し、ボランティア活動に要する事業費として28団体に合計550,000円を助成した(助成上限額1団体20,000円)
- ・高齢者支援団体 6団体
- ・芸能ボランティア団体 9団体
- ・学習団体 6団体
- ・子ども支援及び障害者支援団体 6団体
- ・その他 1団体

③ボランティアセンターの機能強化

ア ボランティアセンター登録状況

- ・個人ボランティア 34人(前年度比7人増)
- ・ボランティア団体

団体の種類	団体数	会員数
高齢者支援団体	8	127
高齢者支援(芸能団体)	14	115
学習支援団体	7	58
子ども・障害者支援団体	4	54
スポーツ支援団体	1	13
その他	10	58
合計	44	425人

イ 登録団体一覧

	団体名(会員数)	ボランティア活動内容	助成実績
1	やよい会(14)	地区の高齢者と花見、紅葉りんご狩り、調理・サロン	20,000円
2	赤十字奉仕団東松島市さくら会(36)	施設ボラ・サロン・メンタルヘルスケア・高齢者とお花見、温泉旅行、矢本西小へ花壇の手入れ、機能訓練OB会、黄色いレシート	20,000円
3	ジョークボランティア(11)	高齢者とお茶のみ会・敬老会・お達者クラブ	20,000円
4	下区ボランティアコスモス会(12)	高齢者との花見、菊見会、脳活性化教室・敬老会	20,000円
5	ボランティア「優遊」(14)	施設訪問(うた、おはなし、手遊び)	20,000円
6	笑母クラブ(5)	地域の高齢者支援・サロン調理ボラ	20,000円
7	みんなんちクラブ(7)	地域(主に牛網地区)でのサロン活動や健康講座・体操の開催	
8	塩入シニアの会(28) 【新規】	地区の環境向上、住みやすい地域づくりに資する活動	20,000円

9	月観会(5)	戸外事業(遠足)・社会行事(クリスマス)・会食・芸能・ゲーム・給食・交流レク	
10	フラダンス愛好会 アワプヒ(休止)	フラダンス・施設訪問	
11	矢本民謡桃香会(10)	サロン民謡、三味線、尺八、太鼓、鉦、おはやし・舞台・祭り・施設訪問・敬老会	20,000 円
12	宮城いきいき こでまり会(6)	サロン舞踊・施設訪問・いきいき学園卒業生	20,000 円
13	矢本鼓和の会(8)	サロン和太鼓・施設訪問	
14	萩乃若扇壽会(休止)	サロン舞踊・ボランティアチャリティーショー	
15	スペインの風(2)	アコースティックギター、カホーンの伴奏で歌	20,000 円
16	フラサークル リコレファ(9)	フラダンス	
17	桂会(7)	高齢者支援・芸能ボランティア	
18	民謡はまなす会(16)	生の地方伴奏に合わせ民謡を披露	20,000 円
19	石巻アマチュアマジック協会(15)	マジック演技の披露(福祉施設、幼稚園、保育所、小学校、地域サロン等)	
20	プチ・シャンテ(6)	シャンソンを披露することを通じた地域交流及び生きがいがづくり	20,000 円
21	三味線将大会(11)	三味線を伴奏とした民謡の披露高齢者施設の慰問や、地域イベント等での出演	20,000 円
22	アロハフラサークル(20)	市内の老人介護施設に出向きフラダンスによるアトラクション活動	20,000 円
23	G・うさぎ(10)	声の広報「市報ひがしまつしま」CD作成・配布・読み聞かせ・朗読会・出前朗読・朗読グループ交流会	20,000 円
24	点訳サークル(10)	点訳・市報の点訳・学校総合学習協力	20,000 円
25	ドリーム(2)	絵本の読み聞かせ・大塩図書館(クンペル)	
26	手話サークル(3)	手話学習・小学校総合学習協力・地域支援・聴覚障害者の行事支援	10,000 円
27	東松島民話の会「おさるのかごや」(6)	昔ばなしなどの民話のかたり	20,000 円
28	友遊倶楽部(15)	健康維持・増進を目的とした講習会や地域でのコミュニケーションの場づくり	20,000 円
29	子ども支援さくら(12)	鳴瀬桜華小学校1～3年生を対象に放課後子ども教室を開催するもの	20,000 円

30	ミッフィークラブ(20)	保育ボランティア(乳幼児健診・子育て支援センター・蔵しっくパーク)	20,000 円
31	保育ボランティア サンサンサン(4)	保育ボランティア、人形劇、おはなし会	20,000 円
32	東松島市福寿草福祉会(6)	精神の病気や障がいを持つ方とその家族の福祉の向上を図る	20,000 円
33	東松島高校 ボランティア部(休止)	高校生による市内でのボランティア活動	
34	東松島青年有志会インパルス(休止)	若者の地域活動参加のきっかけづくり、地域イベントのお手伝い	
35	東松島市レクリエーション協会(13)	レクリエーション支援活動	
36	てあわせ表現・東松島(17)	障害者支援てあわせ表現ワークショップ等を通じた、障害の有無に関わらない交流・自己表現の機会の創出居場所づくり	20,000 円
37	こっこクラブ(11)	子育て支援、子育て親同士の親睦、地域貢献ボランティア	20,000 円
38	NPO法人 いろどり・みんなのまち(10)	高齢者施設での着物着付け、着物を用いた子どもたちへの和装教育、外国人への着物を用いた観光ツアー・体験等	
39	アクション・スクエア(7)	お茶会の開催等を通じた地域支援(小野地区中心)	
40	東松島国際チーム(休止)	市内及び近郊在住の外国人支援日本語教室や交流会の開催など	
41	大鷹会(13)	食堂運営による世代間交流、地域コミュニティ連携促進、孤食の解決、食育などを図る	20,000 円
42	ライクミー(5)	1人で複数のケアを担っているダブルケアラーが社会から孤立しない為の場を提供	20,000 円
43	鹿妻さくら猫の会(19)	野良猫対策に取り組み地域住民の環境整備、精神衛生の向上に貢献する	20,000 円
44	株式会社 ダイナム矢本店	災害ボランティア	

ウ ボランティア登録団体長会議の開催

時期	場所	内容	参加数
今年 7 年 3 月 21 日	地域福祉交流プラザ	・ 保険と助成金に関する事務連絡 ・ 団体同士の情報交換会	22 団体

エ ボランティア保険取扱状況

保険の種類	申込数	人数	事故数
ボランティア活動保険	69	668	1
ボランティア行事保険	53	3,233	0
いきいきふれあいサロン保険	0	0	0

④日常の困りごとを解決する生活支援の充実(ひがまつ安心サポート事業)

- ・高齢者等の日常生活上のちょっとした困りごとに対応するため、支援を必要とする市民(利用会員)とその支援を行う市民(協力会員)による住民参加型在宅福祉サービスを実施した。

ア 会員登録者数(3月末日現在)

会員種別	登録人数	性別		在住地区別人数							
		男	女	矢本東	矢本西	大塩	赤井	大曲	小野	野蒜	宮戸
利用会員	223人 (前年度比+23)	66	157	75	30	13	42	23	26	12	2
協力会員	45人 (前年度比-2)	20	25	10	3	2	14	7	6	2	1

イ 活動実績の内容

サービス内容	活動数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
②衣類等の洗濯		1											1
③住居等の掃除・整理整頓	9	7	10	16	10	4	6	13	23	12	10	16	136
④電球、電池交換									1				1
⑤庭の草取り	3	6	6				10	4	5				34
⑦買い物代行	5	5	4	5	4	4	6	4	4	4	5	4	54
⑧通院や外出時の付添									1				1
⑩ゴミの分別・ゴミ出し	40	45	42	52	41	43	47	51	53	41	47	52	554
⑪灯油入れ										3	4	3	10
⑫コメの精米	1		2	1		1	1	1	1	1		2	11
⑭住宅用火災警報器の取替								1					1
合計	58	64	64	74	55	52	70	74	88	61	66	77	803

※利用(活動)時間 645時間20分 / 利用(活動)金額 396,900円

※利用がなかったサービス内容:

①食事の支度 ⑥布団干し ⑨話し相手 ⑬電化製品の簡単な操作

ウ 依頼の多かった主なサービス内容

サービス内容	数	主なサービス内容
③住居の掃除	128	お盆や年末の掃除依頼が多く、自分ではできない高所の窓掃除や換気扇、エアコンの掃除などの依頼があった。
⑤庭の草取り	96	春から秋にかけて依頼が多く、熱中症対策をしながら二人体制で活動した。 ※猛暑での作業を避けるため、7月中旬から8月の活動は中止とした。
⑦買い物代行	62	食料品や日用品の買い物。
⑩ゴミ出し	508	年間を通じての定期的な依頼で、月に2～3回の可燃ごみ出しが多く、資源ごみやプラごみも月1～2回程度の依頼が増えた。
⑫コメの精米	11	自身では運搬ができない方からの月に1回程度の依頼があった。

エ 協力会員情報交換会の開催

時期	場所	内容	参加人数
6月25日	地域福祉交流プラザ	・会員登録状況や、これまでの利用・活動実績の説明 ・活動にあたっての注意点の確認 ・情報交換(活動時の状況等について)	15

オ その他

夏場の「庭の草取り」について、協力会員の心身の安全（熱中症予防）を図るため、7月中旬より8月末まで作業を中止することをふれあいネットに掲載した。

⑤ボランティア活動への参加の機会の充実

ア 被災者支援ボランティアバスの派遣（再掲）

- ・石巻圏域2市1町社協（石巻市・東松島市・女川町）合同企画で実施
支援期間 6月28日～6月30日（3日間）※ボランティア活動日は29日のみ
支援先 石川県志賀町
派遣人数 23名（内、東松島市6人）
活動内容 個人宅敷地内のガレキ撤去及び集積所への運搬など

イ 宮城いきいき学園石巻校 地域貢献活動研修会への講師派遣

開催日：令和11月27日 午後1時～
場 所：矢本東市民センター
参加者：約30名
内 容：石巻圏域の社会福祉協議会ボランティア・市民活動支援センターの取組みについて、石巻市、東松島市、女川町の各担当職員が講話を行った。

⑥災害ボランティア登録の促進

- ・3月1日に開催した災害ボランティア講座の際に参加者（16名）に登録を呼びかけ、1名がボランティア登録をした。

(7) 老人福祉センター運営事業

① 東松島市老人福祉センターの指定管理

ア 部屋別利用状況

区分	利用者 延べ人数	主な利用団体等
集会室	1,007	・福祉団体役員会、会議等 ・ボランティア団体会議等 ・老人一般事業各種教室開催 ・各種研修会等 ・機能回復訓練(第2・4火曜日) ・健康体操
生活相談室	29	・くらし安心相談来所者 ・篠笛教室
和室	564	・囲碁将棋のつどい(毎木曜日) ・ボランティア団体会議 ・健康相談
小会議室	187	・ハローワーク巡回相談 ・各団体会議等
ロビー	144	・点訳サークル印刷
	274	・介護事業所への来所者
利用者計	2,205	

イ 機能回復訓練事業

・登録参加者数9人・登録介助ボランティア5人・毎月第2・4火曜日開催

時期	内容(第2週)	人数	内容(第4週)	人数
4月	お休み		脳ストレッチ体操・折り紙で作るこいのぼり	5
5月	寄せ植え・漢字読み方クイズ・塗り絵	4	新聞棒を使った体操・ストレッチ・折り紙で作るかたつむり	5
6月	脳ストレッチ・ステンドシール・二十四節気クイズ	5	口腔体操・折り紙で作る星・二十四節気クイズ	6
7月	口腔体操・(舌の筋力UPトレーニング)・お手玉ジャンケン・都市名読み方クイズ	8	ボール体操・ビンゴゲーム・塗り絵・都市名読み方クイズ	9
8月	お休み		上肢下肢ストレッチ体操・たいこ相撲・数え方クイズお休み	3
9月	上肢下肢ストレッチ体操・貼り絵・クイズ	8	手指ストレッチ・貼り絵・クイズ	7
10月	手指ストレッチ・上肢下肢ストレッチ体操・貼り絵・漢字読み方クイズ	4	思い出カルタ・手指ストレッチ・下肢ストレッチ体操・漢字読み方クイズ・文字入れ替えクイズ	4
11月	口腔体操・点字用紙で作るポチ袋・漢字読み方クイズ	4	口腔体操・毛糸で作るクリスマスツリー・読み方クイズ	4
12月	クリスマス会・ペットボトルキャップを使った言葉クイズ・ビ	3	休み	

	ンゴゲーム			
1 月	ストレッチ体操・ひらめきスリ ーヒントクイズ・塗り絵	4	新聞棒を使ったストレッチ体 操・フェルトのコースター作 り・ことわざクイズ	4
2 月	お休み		ストレッチ体操・折り紙で作る ひな人形・漢字読み方クイズ	7
3 月	ストレッチ体操・カルタ・塗り 絵	7	上肢下肢ストレッチ体操・ペッ トボトルライト・故郷の歌の歌 詞穴埋めクイズ	7
参加人数のべ				108

ウ 高齢者のための健康相談及び健康体操の開催

【開催の状況】健康相談：毎週月曜日、健康体操：月 1 回開催

時期	回数	人数	時期	回数	人数
4 月	2	4	10 月	3	16
5 月	3	6	11 月	3	15
6 月	4	22	12 月	4	16
7 月	4	17	令和 7 年 1 月	3	14
8 月	3	13	2 月	3	18
9 月	3	15	3 月	5	20

合計 40 回 のべ 176 人

②老人福祉センター交流事業(ゆらり)

- ・昨年度同様、対象者を限定し感染対策を講じて住民の交流事業を実施した。

日 時 令和 7 年 3 月 8 日 午前 10 時～午後 1 時

参加者 47 人

(老人クラブ会員(大曲地区)、災害公営住宅住民(あおい地区等))

内容 映画鑑賞・レクリエーション・昼食会

- ・ボランティアとして、就労支援を受けている方から協力をもらった。

③老人福祉センター教室の開催(交流事業)

ア 老人一般活動事業

- ・高齢者の教養を向上させるため、各種教室を開催

体に優しい ストレッチヨガ 教室	講師	ヨガインストラクター 熱海和美 氏
	日時	令和 6 年 8 月 29 日、9 月 12 日 13 時 30 分～
	参加人数	11 人
お仏壇用プリザ ーブドフラワー アレンジメント 講座	講師	フラワーズトーク 草刈加奈子 氏
	日時	令和 6 年 9 月 25 日 10 時 00 分～
	参加人数	8 人

熊手作り教室	講師	フローラルセミナーSmile 高橋公美 氏
	日時	令和 6 年 12 月 13 日 10 時 00 分～
	参加人数	13 人

④囲碁将棋・麻雀のつどい

- ・ 囲碁将棋のつどい
毎週木曜日開催
- ・ 麻雀のつどい
十分な作業時間の確保ができなかったため、未実施

⑤フリーマーケット

- ・ 十分な作業時間の確保ができなかったため、未実施

⑥趣味の作品展示会

- ・ 十分な作業時間の確保ができなかったため、未実施

2. 総合相談事業拠点区分

(1)生活困窮者自立促進支援事業（東松島市からの受託）

①自立相談支援事業

ア 総括

令和 6 年度の新規相談受付件数は 190 件で、前年度（186 件）から 4 件増加した。支援プランに基づき支援を実施したケースは 127 件（内訳：支援決定・確認数 62 件、評価実施数（再プラン含む）65 件）だった。一方、令和 6 年度中に関わった支援対象者は実人数で 376 人に上り、プランを作成せずに継続的な支援を行ったケースが多い状況だった。日々の相談対応（面談、電話、訪問）および関係機関との連絡調整（電話、会議、同行支援など）の総対応件数は 5,368 件に達した。

世代や属性に関わらず、多重債務、税金の滞納、相続手続き未了、金銭管理の問題、未就労といった多様な課題を抱えるケースが、くらし安心サポートセンターに多く寄せられた。課題整理や手続き支援、あるいは関係性の構築に時間を要するケースも多く、他の支援機関が既に関与している場合でも、当センターでの伴走支援を必要とするケースも多かった。多機関協働事業とも連携し、適切な支援機関や地域へつなぐことを意識して支援した。

住居に関する相談では、緊急もしくは早期に住まいを必要とする方に対し、市の建築住宅課や石巻の居住支援法人、家具家電の回収・清掃業者などと連携を図り、必要な生活環境を整え自立した生活を送れるよう支援した。また、離職等により収入が減少しながらも就労意欲のある相談者に対しては、住居確保給付金の活用支援を 7 件行い、全てのケースで給付に繋げることができた。

社会的孤立に対する支援としては、居場所づくり事業として令和 5 年度から開始した「池の内ベース」および令和 6 年度に開設した地域福祉交流プラザの交流室を活用した「ふらっと」が軌道に乗り、様々な年代の住民が集まる場の確保と、住民同士が定期的に交流できる機会を提供した。これらの居場所は、日常生活自立や社会生活自立を目指す就労準備支援事業の活動の場としても機能した。さらに、フードバンクの活用による食料支援、保健師や民生委員、ライフライン業者等との連携による見守りや精神的ケア、イベントやボランティア活動への参加を促し、課題解決が困難な相談者に寄り添い、自立に向けて共に考えていく伴走支援を実施した。

イ 相談支援概況（件数）

		R4 年度	R5 年度	R6 年度
新規相談受付件数（本人未特定を含む）		196	186	190
新規相談受付数(本人同意なしを含む)		189	181	186
新規相談申込数(本人同意ありのみ)		152	144	152
支援決定・確認数(再プランを含む)		91	91	62
プラン期間中の一般就労を目標にしている		50	35	33
法に基づく 事業等利用	住居確保給付金	1	5	7
	一時生活支援事業	0	0	0
	家計改善支援事業	25	34	27
	就労準備事業	8	4	7
	認定就労訓練事業	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	42	36	37
その他	生活福祉資金・生活安定資金による貸付	40	22	25
	生活保護受給者等就労自立促進事業	36	26	21
評価実施数(再プランを含む)		48	93	65
評価 結果	終結	23	59	48
	再プランして継続	20	26	13
	中断	5	8	4
見られた 変化	変化あり	42	87	57
	変化なし	6	6	8
①評価実施件数中就労支援対象プラン作成者分		24	49	26
うち	一般就労開始	6	18	8
	就労収入が増加	6	10	3
②評価実施件数中、就労支援非対象プラン作成者分		24	44	39
うち	一般就労開始	1	1	2
	就労収入が増加	0	3	3
③プラン作成者以外				
うち	一般就労開始	2	2	8
	就労収入が増加	0	1	1

ウ 新規相談受付に関する概況

(ア) 相談経路 ※複数選択

①来談者

相談経路	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
本人	153	81%	138	76%	143	77%
家族・知人	27	14%	16	9%	33	18%
関係者	29	15%	39	22%	30	16%
合計（実人数）	189	100%	181	100%	186	100%

②面談の場所・方法

相談経路	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
直接来所	124	66%	101	56%	103	55%
電話・メール	47	25%	57	31%	58	31%
自宅	17	9%	17	9%	22	12%
関係先	6	3%	9	5%	5	3%
合計（実人数）	189	100%	181	100%	186	100%

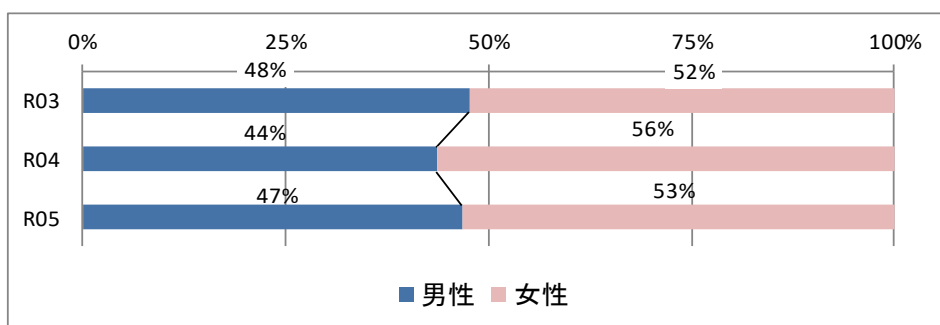
③相談のきっかけ

相談経路	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
自立相談支援機関がアウトリーチ	10	5%	9	5%	12	6%
紹介	74	39%	74	41%	74	40%
国、自治体、自立相談支援機関等の周知	66	35%	61	34%	45	24%
その他	43	23%	39	22%	98	53%
合計（実人数）	189	100%	181	100%	186	100%

- ・支援機関からの紹介を受けて支援に至っているケースについては、訪問や電話などでアウトリーチをし新規相談受付となっているケースも多い。
- ・相談した行政の各窓口でチラシを受け取ったり相談を促されて自ら来所されたケースもある。
- ・その他としては以前相談歴があるケース。新たな主訴に基づく相談やご本人の状況に変化があった場合などが当てはまる。令和6年度は前年度よりも割合が高いことから再相談ケースが多かったことがわかる。

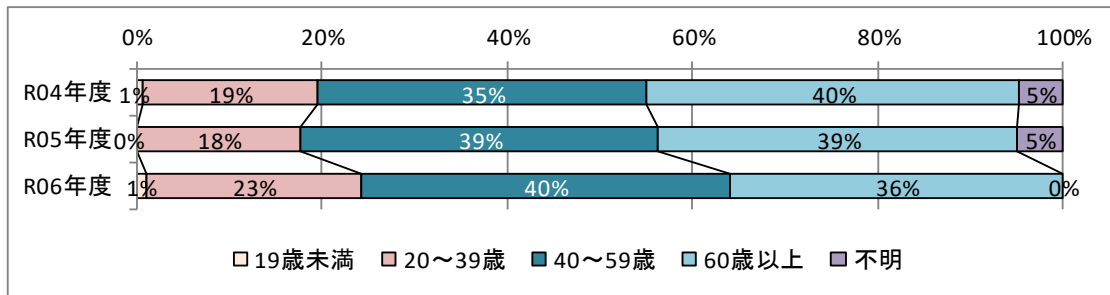
(イ) 性別

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
男性	90	48%	79	44%	87	47%
女性	99	52%	102	56%	99	53%
合計	189	100%	181	100%	186	100%

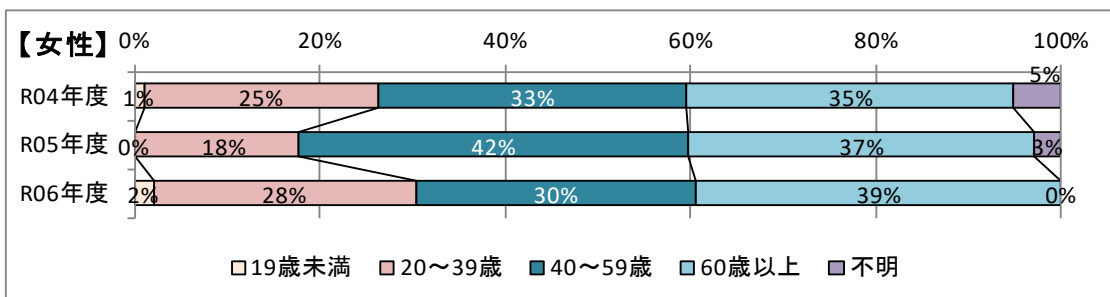
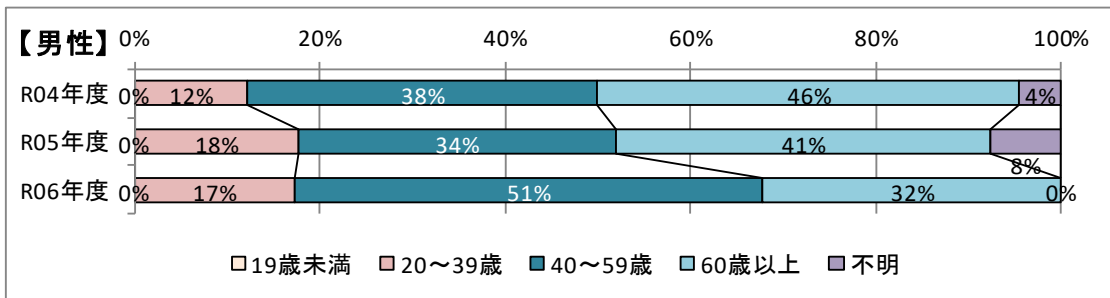


(ウ) 年齢

年齢	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
19歳未満	1	1%	0	0%	2	1%
20～39歳	36	19%	32	18%	43	23%
40～59歳	67	35%	70	39%	74	40%
60歳以上	76	40%	70	39%	67	36%
不明	9	5%	9	5%	0	0%
合計	189	100%	181	100%	186	100%

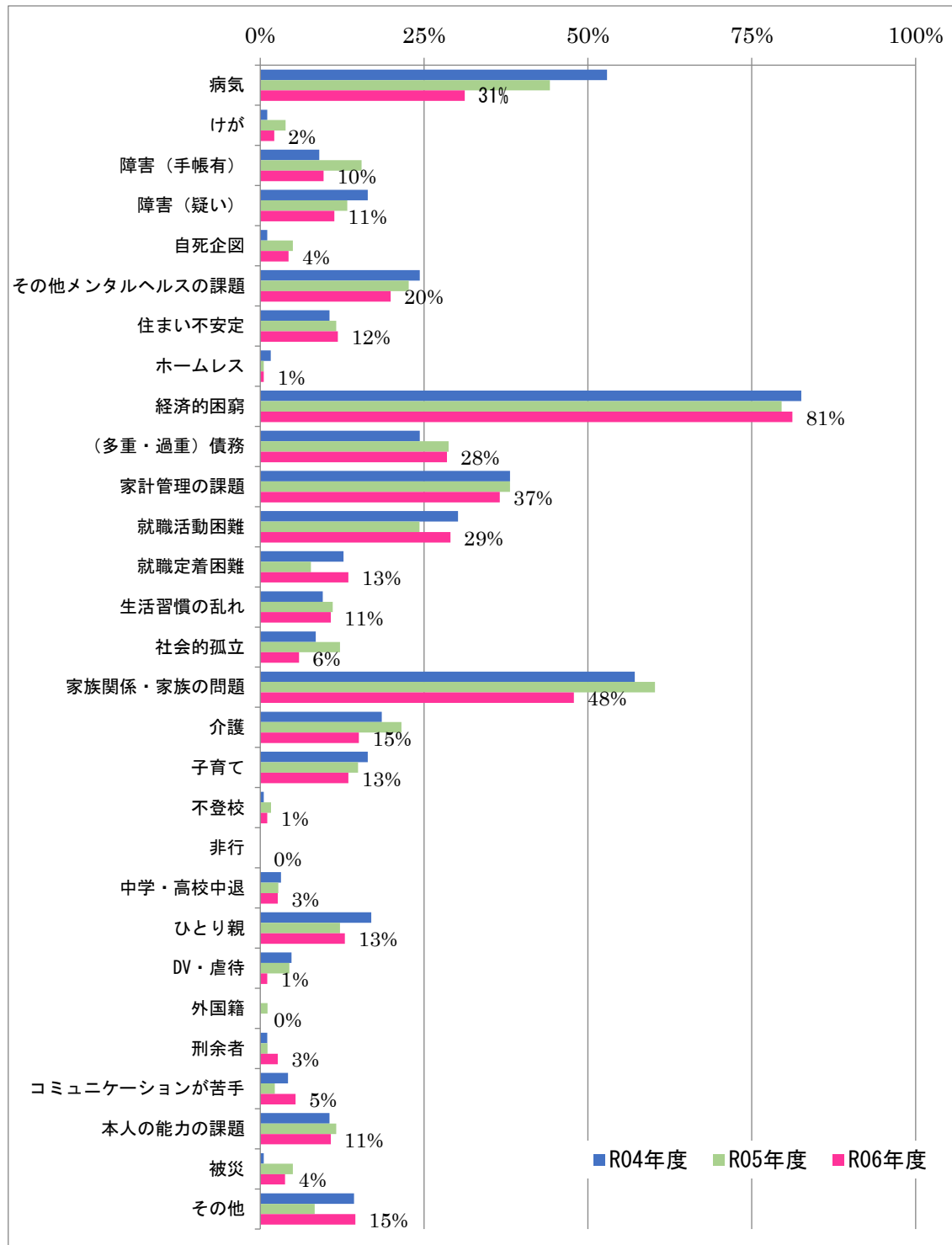


●男女別内訳



- ・稼働年齢の男性の割合が多い年だった。失業・減収、長期間未就労の割合も増えている。
- ・認知機能低下に伴う金銭管理の課題や食糧支援に関する高齢女性の相談は微増傾向に。
- ・女性の相談者の若年傾向がみられた年である。

(エ) 課題別 ※複数選択



- ・住居確保給付金の利用や相談があったケースやホームレスを「住まい不安定」としており微増である。
- ・経済的困窮や債務、家計管理の課題があるケースの背景には、家族関係・家族の問題、介護など世帯を含む複合的な課題がある。
- ・本人の能力に課題があるため、就活困難、就職定着困難、社会的に孤立しているなど、経済的自立へ向けては伴走支援を要する長期的かかわりが必要なケースが増えている。

エ プランの実施に係る関係機関・関係者

① 就労

関係機関・関係者	R4 年度	R5 年度	R6 年度
ハローワーク	44	38	35
職業訓練所	0	1	3
就労準備支援機関	2	1	2
地域若者サポートステーション	3	6	1
就労支援法人・団体(就労訓練事業を含む)	0	2	1
一般企業	6	31	34
各種協同組合(生協等)	0	0	0
農業者・農業団体	0	2	2
合計	55	81	78

② 医療

関係機関・関係者	R4 年度	R5 年度	R6 年度
医療機関	28	43	30
医療機関の内、無料低額診療実施機関	0	0	2
行政の保健担当部署	24	27	19
合計	52	70	51

③ 障害

関係機関・関係者	R4 年度	R5 年度	R6 年度
行政の障害担当部署	1	4	2
基幹相談支援センター	6	17	10
精神保健福祉センター	0	0	0
障害者就業・生活支援センター	0	5	3
障害者就労支援事業所	0	2	1
その他障害者支援機関・施設	2	4	2
合計	9	32	18

④ 高齢

関係機関・関係者	R4 年度	R5 年度	R6 年度
行政の高齢者担当部署	0	1	2
地域包括支援センター	22	30	15
居宅介護支援事業所・その他介護事業所	6	7	8
合計	28	38	25

⑤ 子ども

関係機関・関係者	R4 年度	R5 年度	R6 年度
行政の子ども家庭担当部署	3	5	4
教育委員会	1	1	1
保育所・幼稚園・子ども園	0	3	4
小・中・高(特別支援含む)学校	5	4	1

大学等(高等専門学校、専修学校、各種学校含む)	0	0	1
その他教育機関	0	0	0
家庭児童相談室(福祉事務所)	1	1	0
児童相談所・児童家庭支援センター	0	0	1
児童福祉施設	0	0	0
地域子育て支援センター	0	0	1
その他子育て支援機関	1	1	1
合計	11	15	14

⑥ 人権・女性

関係機関・関係者	R4 年度	R5 年度	R6 年度
行政の人権担当部署	0	0	0
男女共同参画センター	0	0	0
婦人相談所・配偶者暴力相談支援センター	0	0	0
合計	0	0	0

⑦ 保護

関係機関・関係者	R4 年度	R5 年度	R6 年度
福祉事務所(生活保護担当部署)	12	14	7
ホームレス支援機関	0	0	0
一時保護施設	0	0	0
警察	2	2	0
更生保護施設・自立準備ホーム	0	0	0
地域生活定着支援センター	0	0	0
合計	14	16	7

⑧ 生活・金銭・権利擁護

関係機関・関係者	R4 年度	R5 年度	R6 年度
行政の税担当部署	8	19	15
行政の保険・年金担当部署(年金事務所含む)	0	2	2
社会保険労務士	0	1	0
自立・家計改善支援機関	4	5	1
食糧支援関係団体(フードバンク等)	29	25	4
小口貸付(生活福祉資金除く)	19	9	14
社会福祉協議会(生活福祉資金)	12	5	1
社会福祉協議会(日常生活自立支援事業)	4	1	2
成年後見人制度の支援機関	0	0	0
法テラス・弁護士・司法書士	12	22	7
消費生活センター・消費生活相談窓口・多重債務者等相談窓口	0	0	0
合計	88	89	46

⑨ 住居

関係機関・関係者	R4 年度	R5 年度	R6 年度
行政の住宅施策担当部局(居住支援協議会)	3	9	6
居住支援法人	0	2	0
不動産・保証関係会社	7	13	7
合計	10	24	13

⑩ その他

関係機関・関係者	R4 年度	R5 年度	R6 年度
他地域の生活困窮者自立相談支援機関	0	1	0
民生委員・児童委員	19	23	24
外国人支援団体・相談窓口	0	0	0
ひきこもり支援機関	0	3	0
NPO・ボランティア団体	3	3	5
商店街・商工会等経済団体	0	0	0
町内会・自治会、福祉委員、近隣住民	0	4	3
ライフライン民間事業者(電気・ガス・水道)	2	7	4
保健所(動物・ペットの多頭飼育等)	0	0	0
社会福祉協議会(資金、日常生活自立支援以外)	5	23	31
その他行政の担当部署	0	3	0
家族・親族・その他キーパーソン	8	26	29
その他	6	11	9
合計	43	104	105

総計 (①～⑩)	310	469	357
----------	-----	-----	-----

- ・プラン対象になっているケースに関して「プラン実施に係る関係機関や関係者」が上記に記載されている。
- ・令和6年度はプラン実施に向けて家族や親族などとの関係性の再構築や話し合いの場を設けるなどの視点を入れたプランが多かった。
- ・母子家庭に限らず、世帯の中に子供がおり世帯課題があれば子供に関する支援機関との連携をはかっている。
- ・多額の未納税や税金分納相談の支援では税務課、債務整理や破産、相続にまつわる相談として弁護士と連携し対応している。
- ・プラン実施にあたっては民生委員による見守り支援を依頼するケースもある。
- ・社協内でのフードバンク事業の定着もあって、フードバンクいしのまきなどの食料支援団体をプランに入れる個別ケースは少なかった。

(オ) 相談対応の状況

対応方法	R4 年度	R5 年度	R6 年度
電話相談・連絡	1,303	2,219	2,200
訪問	277	472	410
同行支援	64	183	87
面談	726	892	828
所内会議	85	48	121
支援調整会議（プラン策定）	30	77	61
支援調整会議（評価実施）	12	77	62
他機関との会議	21	33	36
他機関との電話照会・協議	491	1,356	1,298
その他	227	326	265
合計	3,236	5,683	5,368

支援を行った対象者（実人数）	368	418	376
----------------	-----	-----	-----

②家計改善支援事業

高齢による認知機能の低下、障がいがありそうだが確定診断や手帳の取得はない稼働世代、収入が多かった時代同様のお金の使い方をしている離職者など、ご本人の能力の課題や嗜好の変更が困難、先を見通す力が弱いケースも少なくない。家計の管理に課題がある相談者に対して家計表の作成支援などにより家計の状況を「見える化」し、家計管理の意欲を引き出す取り組みを行った。収入の範囲で生活を送ることができるよう関係機関と連携し家計のやり繰りを支援しながら、まもり一歩利用につながるまでの伴走支援も行っている。本年も家計改善支援事業のプラン作成には至らなかったが自立相談支援のプランにて債務、滞納や分納の支援、関係機関へのつなぎを行っているケースもある。家計に明確な課題があるケースは今年度も多かったが、単身でなく同居家族が居る場合、それぞれの世帯員の収支が把握できず、それぞれの世帯員との関係性の構築に時間をかけながら支援に取り組んだ。プラン作成・同意に至るには時間を要すケースが目立った。

③就労準備支援事業

就労準備支援事業利用者は7名。うち、就労が決定した者は1名であった。「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」と連携し取り組み、地域の中の居場所（池の内ベース等）で色々な経験や様々な人と関わることを重ねる中で、日常生活に関する支援や社会自立に関する支援を行った。ご本人のチャレンジしたい意向も取り入れパソコン操作の体験ができる時間を定期的にとった相談者もいる。社会福祉法人はまなす会の就労継続支援B型「ひがまつステーション」が行っている椿茶の一次加工を内職として取り組んでみないかと提案を受け、就労準備支援事業の一環ととらえ12月から3名の参加者が自主的に取り組んだ。参加者にとって就労して対価を得る経験にもなった。また令和6年度は就労支援の取り組みを積極的に行う事が出来たこともあり、就労準備支援事業の利用者も就労セミナーや職場見学会などにも参加し、社会経験を重ねる時間が確保できた。フードドライブで食糧を提供してくださった住民の方々や、フードパントリーで支援を受けられた住民の方々からは、「支え合い」を実感したという声をいただいた。

【具体的活動内容】



フードパントリー準備



フードドライブでの活動



椿茶の一次加工



パソコン操作の体験

自立相談支援事業による就労支援および生活保護受給者等就労自立促進事業としては、ハローワーク石巻との連携強化を図り、地域福祉交流プラザにおいて巡回相談（ハローワークの専門ナビゲーターが来所し就労相談実施するもの）を週1回実施し、今期においては新規利用者28名を含む55名（実人数）の支援対象者が、延べ330回の面談を行った。

自ら石巻のハローワークへ出向くことができるなどの理由で巡回相談の利用を希望しないプランケースは16件あった。（就労支援プラン37件、生活保護受給者等就労自立促進事業：巡回相談利用プラン21件）。令和6年度中にプラン評価した65件のうち就労に課題があったケースは26件、そのうち8件（30.7%）が一般就労開始となった。プラン作成者以外で一般就労開始となったケースが8件である。プラン作成までのアセスメント中や関係構築に時間をかけている間に就労できたということである。

・就労自立に関する支援（兼被保護者就労支援事業）

令和6年度においては、就労支援に協力いただける企業の開拓を目指し、企業や関係機関への訪問を積極的に行い、生活困窮者自立支援事業について説明して就労支援への協力を求めた。商工観光課、東松島市商工会、農林水産課とも意見交換させていただけたことも収穫である。商工会では「協力事業者募集」に関するくらし安心サポートセンターのチ

ラシ（750部）の発送の協力をいただくことができ、その後、数社から雇用についての相談をいただけた。実際の雇用に至ってはいないが今後も継続してアプローチしていきたい。

農林水産課主催の令和6年度研修事業「農作物等鳥獣被害対策及び農業安全講習会」や「農業者意見交換会」に参加し、生活困窮者自立支援事業の説明や農福連携と職場見学・体験受け入れの協力について説明した。参加者からは地元の農家と繋がれそうだという情報もいただいた。地域との連携についても一歩ずつ進めていきたい。

【企業開拓】

日時	企業名	内容
4月4日	やもと赤井の里	見学会報告および仕事の切り分け相談
5月8日	東松島ファーム	見学会相談
5月8日	オイタミート	前年度同様の職場見学・体験について協力要請訪問
5月10日	イグナルファーム 大曲	前年度同様の職場見学・体験について協力要請訪問
7月8日	東松島ファーム	個別見学相談
7月10日	商工観光課	事業説明
7月10日	高橋徳治商店	職場見学会に向けて事業説明訪問 (ハローワークナビゲーター同行)
7月19日	マルヒ食品	職場見学会に向けて事業説明訪問
7月23日	やっぺす	ポスティングの相談
8月9日	フレスコキクチ 矢本店	個別見学相談
10月11日	オイタミート	見学会相談
10月23日	石川食品	見学会相談
12月14日	マルヒ食品	仕事の切出しや体験会の相談
令和7年 1月31日	宮城県東部地方振興事務所 農業振興部農業振興班	農福連携へ向けての相談のため訪問
2月18日	みやぎシゴトサポートセンター石巻	活動内容の聞き取りと事業説明訪問
3月12日	アオバヤグループ(株) ポスティング事業	業務内容の聞き取り

【就職応援セミナー】 延べ参加人数 25 名 （実人数 7 名）

日時	内 容	講師	参加人数	
			就労準備支援事業 未利用者	就労準備支援事業 利用者
6月19日	企業訪問のポイント①	ハローワーク	1名	0名
7月16日	企業訪問のポイント②	ハローワーク	3名	0名
8月20日	適性を知ろう	ハローワーク	3名	0名
9月17日	履歴書の書き方	ハローワーク	1名	1名
10月15日	ビジネススキル	ハローワーク	0名	1名
11月8日	第1回コミュニケーションセミナー	チャレンジド ジャパン	1名	2名
12月3日	メイクアップセミナー	東松島市社協	0名	0名

12月17日	第2回コミュニケーションセミナー	チャレンジド ジャパン	1名	2名
令和7年 1月21日	第3回コミュニケーションセミナー	チャレンジド ジャパン	0名	2名
2月18日	面接	ハローワーク	0名	3名
3月18日	面接	ハローワーク	0名	4名

【職場見学会】延べ参加人数 14名 （実人数 7名）

日時	内 容	参加人数	
		就労準備支援事業 未利用者	就労準備支援事業 利用者
6月25日	東松島ファーム（レタス栽培） 事業所都合で延期	0名	0名
7月31日	フレスコキクチ（スーパー）見学会	3名	0名
8月21日	高橋徳治商店見学会	3名	0名
9月30日	マルヒ食品株式会社見学会	0名	2名
12月11日	（株）カメヤ見学会	3名	3名

④被保護者就労支援事業

【企業開拓】（再掲）

日時	企業名	内容
4月4日	やもと赤井の里	見学会報告および仕事の切り分け相談
5月8日	東松島ファーム	見学会相談
5月8日	オイタミート	前年度同様の職場見学・体験について 協力要請訪問
5月10日	イグナルファーム 大曲	前年度同様の職場見学・体験について協力 要請訪問
7月8日	東松島ファーム	個別見学相談
7月10日	商工観光課	事業説明
7月10日	高橋徳治商店	職場見学会に向けて事業説明訪問 （ハローワークナビゲーター同行）
7月19日	マルヒ食品	職場見学会に向けて事業説明訪問
7月23日	やっぺす	ポスティングの相談
8月9日	フレスコキクチ 矢本店	個別見学相談
10月11日	オイタミート	見学会相談
10月23日	石川食品	見学会相談
12月14日	マルヒ食品	仕事の切出しや体験会の相談
令和7年 1月31日	宮城県東部地方振興事務所 農業振興部農業振興班	農福連携へ向けての相談のため 訪問
3月12日	アオバヤグループ(株) ポスティング事業	業務内容の聞き取り

【就職応援セミナー】 延べ人数 48 名（実人数 15 名）

日時	内 容	講師	参加人数
6 月 19 日	企業訪問のポイント①	ハローワーク	4 名
7 月 16 日	企業訪問のポイント②	ハローワーク	5 名
8 月 20 日	適性を知ろう	ハローワーク	7 名
9 月 17 日	履歴書の書き方	ハローワーク	4 名
10 月 15 日	ビジネススキル	ハローワーク	6 名
11 月 8 日	第 1 回コミュニケーションセミナー	チャレンジド ジャパン	2 名
12 月 3 日	メイクアップセミナー	東松島市社協	2 名
12 月 17 日	第 2 回コミュニケーションセミナー	チャレンジド ジャパン	3 名
令和 7 年 1 月 21 日	第 3 回コミュニケーションセミナー	チャレンジド ジャパン	4 名
2 月 18 日	面接	ハローワーク	6 名
3 月 18 日	面接	ハローワーク	5 名

【職場見学会】 延べ参加人数 10 名 （実人数 7 名）

日時	内 容	参加人数
6 月 25 日	東松島ファーム（レタス栽培）※事業所都合で延期	0 名
7 月 31 日	フレスコキクチ（スーパー）見学会	2 名
8 月 21 日	高橋徳治商店見学会	4 名
9 月 30 日	マルヒ 食品株式会社見学会	3 名
12 月 11 日	(株)カメヤ見学会	1 名



面接講座



コミュニケーションセミナー



高橋徳治商店



マルヒ食品



フレスコキクチ矢本店



株式会社カメヤ

⑤生活困窮者支援等のための地域づくり事業

令和５年度より取り組んできた本事業は、東松島市くらし安心サポートセンター（以下、くらし安心サポートセンター）の自立相談支援事業等と連動して取り組んできたが、多重・複合化した課題を抱えた相談者が多く、各種相談窓口の専門機関や多機関相談支援事業等と連携し本人の課題解決や自立の支援に努めてきた。顕在化する課題については、それぞれの機関で適切な支援につながるケースが多い中、世帯全体に課題がある、長期未就労者、ひきこもり状態にある方、地縁・社会的つながりのない方など、本人の生きづらさや孤独・孤立など、制度やサービスに直接つながりにくい課題については解決の糸口を探すことそのものが困難で、性別・年齢・障害の有無などの属性を問わない伴走的な支援が必要となっている。そこで東松島市第３期地域福祉推進計画により、東松島市社会福祉協議会では令和６年度事業計画として下記により事業推進に取り組んできた。

ア 事業の目的

孤独・孤立の問題を抱える生活困窮者等や家族のニーズを把握し、気軽に相談し合える、多様な居場所づくりを推進する。また、地域の多様な活動を把握し、福祉関係機関をはじめ、多様な主体、多分野が参画する連携・協働の場づくりを推進し、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしい地域コミュニティが醸成されることで地域共生社会を目指す。

イ 事業の概要

- ・課題を抱える者を早期発見するための地域住民のニーズ・生活課題の把握
- ・地域資源を活用した地域住民の活動支援・情報発信
- ・課題を複雑化させないための「居場所づくり」
- ・行政や地域住民、多分野協働により、地域づくりの担い手が繋がるプラットフォームの構築
- ・生活困窮者等への支援の展開（フードドライブ等）

ウ 成果

（ア）地域住民のニーズや生活課題の把握等

これまでくらし安心サポートセンターや地域包括支援センター等に寄せられた相談から、ニーズ・課題が顕在化してきたものもあるが、令和６年度は生活支援体制整備事業による第２層協議体及び地域支え合い会議（第３層）に出席するなどして、住民の声を直接聴

く場面として捉えて出席し、相談窓口へつながっていない(つながる以前の)ニーズ、狭間の課題を把握することに勤めた。特に地域支え合い会議は高齢者を中心とする生活課題(介護、医療、買い物困難、移動困難等)が主な話題となり、公助に期待する声が多かった。一方、稼働世代である同居家族のひきこもりや無業により世帯収入が少ないため生活が成り立たず、高齢者の医療受診控えやそのことにより重症化しつつある例や、家族や親族との関係希薄、地域とのつながりが無いことにより、課題が複合化していることも少なくないことが話し合いの中からうかがえた。

地域支え合い会議は生活支援体制整備事業で3名のCSWが中心となり協議体を運営しているが、その場では生活困窮や孤独・孤立の課題は気にかけても話題に上りづらい様子であった。機会を捉えくらし安心サポートセンターの相談支援の経過事例について情報提供することで地域の理解や見守りから課題が軽減され、解決の糸口が見つかった例を話したり、会議の性質や個人情報の取り扱い等を丁寧に伝えることで個人名をあげて現状を共有する場面も見られはじめ、会議終了後に個別の相談と地域支援につながることもあった。

若年層や稼働世代の相談件数は増加傾向。就労希望があっても長期間ひきこもり状態により社会的なつながりがなく、自己肯定ができず、課題解決までの伴走的支援が必要である。令和6年度は地域住民及び社会福祉法人間の連携により、内職の一部を切り出している。実際に食品(椿茶)の一次加工に携わり、工賃を得る体験ができている。

本事業担当職員は1名であり協議の場を持たないが、多機関、他職種と共に連携協働することのできることもある。次年度もより意識し課題を抱える方の早期発見や解決に向けた地域の取組を促進させたい。

【月別地域づくり担当 CSW 稼働実績】

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域支援	4	6	25	5	4	5	2	4	7	5	3	3	73
個別支援	2	1	3	5	17	12	7	3	9	12	8	9	88
研修	1	4	2	3	2	2	1	6				1	22
その他	12	6	3	6	4	3	7	3	4	1	5	3	57
合計	19	17	33	19	27	22	17	16	20	18	16	16	240

【支援区分・対応方法 クロス集計】

単位:件

	電話相談 連絡	訪問同行 支援	会議参加	面談	所内会議	他機関と の電話	他機関と の協議	その他	合計
地域支援	1	2	42	1	1		8	18	73
個別支援	9	41	5	9	4	5	3	12	88
研修			1					21	22
その他		2	3		15	1	7	29	57
合計	10	45	51	10	20	6	18	80	240

(イ) 地域資源を活用した地域住民の活動支援や情報発信

社協地域福祉課ボランティア担当や CSW らと共に活動する中で住民の活動状況の把握・関係構築を心掛けた。また、くらし安心サポートセンターへの個別の相談や制度サービスの狭間の課題については新たな社会資源の発掘や開発の実践、チラシや市報・社協だより等を活用し周知に努めた。

(1) 生活困窮者等への食の支援「フードドライブ・フードパントリー事業」

食の支援については、老人福祉センター及び東松島市地域福祉交流プラザの2か所に収集ボックスを常設設置している。また、広報誌・チラシやホームページ等を活用し広く市民に啓発するとともに、SDGs担当課と共にフードドライブとして市役所内に収集ボックスを設置し年2回実施した。市民はもとより企業・団体からの協力もあり年々協力者の広がりがある。

フードパントリー事業は、自立相談の中で必要とする方、また広報による事業の周知から希望があった希望者に対し食品等を提供し生活の一助として提供。新規相談へつなぎ、課題の早期発見・予防につながるようにしてきた。

(一社)フードバンクいしのまき、JA いしのまき鳴瀬女性部、フードバンク東北 AGAIN 等との連携協働、パッケージ作業は就労準備支援事業や居場所参加者などの協力もある。住民のニーズや生活課題に対し、市民の他各種社会資源との連携により支え合いの意識醸成に努めた。

【フードパントリー実施状況】

実施時期	提供件数	実施場所
7月12日(金)	31件	地域福祉交流プラザ
12月13日(金)	31件	
合計	62件	

(2) 地域における「地域食堂」について

市内6つの地域食堂が地域内で協力者を募り主体的に実施してきた。組織化した経緯やねらいは各団体に違いはあるが、孤食、貧困、子育て、高齢者の孤独・孤立等は共通して課題ととらえている。コロナ禍を経て今後の活動継続に関しては必要性を感じている。開催は年数回から月1回程度の開催となっており、利用料は1食100円～300円。参加費収入や助成金等を活用している。また、必要に応じ社協フードバンクから白米や調味料、寄せられた野菜の提供をするなどし、連携するとともに、地域食堂ネットワーク会議に参加し、団体間の情報共有や課題の把握等に努めた。

【地域食堂実施状況】

事業名	代表者名	開催頻度	参加費
ありあけだんらんかぞく	昆野美津子	月1回(第3木)	300円高校生以下無料
野蒜みんなの食堂	奥田登美子	月1回(第3火)	100円～300円 年齢による
大鷹会	黒須壽幸	年3回	200円子供無料
ハッピースマイル	及川里美	月1回(月末日)	300円子供高齢者無料
ひだまり食堂	奥田知子	月1回(第4日)	300円中学生以下無料
牛網えがおの食堂	遠藤京子	不定期	200円小学生100円 未就学児無料

(ウ) 世代や属性を超えた「居場所づくり」について

居場所活動の拠点は活動の基盤となるもので本来であれば住民主体の取組として推進していくことを想定していたが、実際にはくらし安心サポートセンターへの食品提供希望者として新たなつながりを得た市民との意見交換から生まれ令和5年7月から「池の内ベース」として事業化したものである。

(1) 池の内ベースでの活動等

地域住民のご厚意で敷地内プレハブ事務所を定期利用し活動拠点として実施してきた池の内ベースは年 23 回、延べ人数 98 人が利用した。また、活動を支えるボランティアは延べ 88 人。ボランティアとの交流は利用者の社会的な関わりを広げている。

(2) 池の内ベース参加者の概要

ここでいう居場所は世代や属性を超えて住民が様々な人との交流や安心して過ごすことのできる場として捉えてはいるものの、実際には場のキャパシティや対応スタッフの調整等の問題から、実際の参加者は就労準備支援事業の相談者、ひきこもり状態にある方、また、制度やサービスに繋がらない(つながりにくい)方等であり、高校を中退した未成年者の参加もあった。コミュニケーションが苦手な方や今後各種サービスへつながることを目指しているが、その一歩手前の日常生活自立を目指した場にとりまえており、生活リズムを整えたり挨拶などの基本的な生活習慣を見直す場にもなっている。活動内容は随時参加者で決め、無理のない活動内容や緩やかなつながりの場となるよう心掛けて運営してきた。

自立相談支援事業では、経済的困窮といった相談内容が大半を占めているが、支援経過の中では多くの相談者が家族や親族、地域など社会的なつながりがなく、孤独を感じている方も多く見受けられる。池の内ベースの活動を通し、自治会などの地縁をベースとしたつながりだけでなく、多様なコミュニティを必要としていることがニーズとして顕在化した。

(3) 活動から得られた考察

自立相談のみならず地域づくりの視点により生活困窮者の早期把握や見守り、相互に支え合える関係づくりが必要であると改めて感じた。市民、関係機関、社会全体への啓発により地域ネットワークを構築し、包括的な支援策を検討していくとともに、働く場や参加する場を広げていくなど、既存の社会資源を活用し、必要な場合には地域住民と共に開発・創造していくことにも努めていかなければならない。また、生活困窮者や望まない孤独・孤立を感じている人が社会とのつながりを何らかの形で実感しなければ主体的な参加に向かうことは難しいこともわかった。池の内ベースでの活動は、自身の存在を受容され、肯定される場であり、一方では誰かの役に立つという体験もできた。「支える、支えられる」という一方的な関係ではなく、「相互に支え合う」小さなコミュニティを構築する場面にもなった。

次年度も CSW らと共に地域の中の潜在的ニーズを持つ人への早期発見や対応に努めて個別の相談支援につながるようにするとともに、そこから見える課題については地域住民らとの話し合いの場を活用し、課題の共有化普遍化を図り、共感者をみつけ支え合いの地域づくりを一体的にとりまえて地域共生社会の実現に向けて活動に当たりたい。

●池の内ベースでの活動

〈居場所のめざすもの〉

- ・自分が受容され安心して過ごすことができ、他者とのかかわりの中から自分を確認できる社会的居場所となるよう活動を通して支援する。
- ・地域住民、民生児童委員、福祉関係機関等と連携し、課題の早期対応を行うことで課題の複合化・複雑化の予防をめざし、個別支援と地域支援を一体的にとりまえた地域づくりの場となるよう取り組む。



2024. 5. 14 畑の除草作業



2024. 10. 21 芋煮会買い出し



2024. 10. 22 芋煮会



2024. 11. 22 焼き鳥会



2024. 12. 10 大掃除



2024. 12. 24 クリスマス会



2025. 1. 28 豆まき会



2025. 3. 25 ジェンガ等ボードゲーム

●椿茶一次加工(障害者就労継続支援B型事業所/ひがまつステーションとの連携)



ひがまつステーションで取り組んでいる椿茶の一次加工について、仕事を切り出していただき、就労準備支援事業の相談者やひきこもり傾向にある方の社会参加と就労体験の場として取り組んでいる。

主に週3回 10:00～12:00 の2時間。開催日は参加者が決めている。



枝から葉をもぎ取る



葉を磨き、虫食いや汚れをハサミで切り取る



切り取った葉をひがまつステーションへ納品

- ・買取額 1g1.5 円
- ・売上額を各自従事した時間で割り、個人の収入とした。

●東松島市地域福祉交流プラザ「ふらっと」



地域福祉交流プラザへの事務所移転を機会とし、世代や地区、障害の有無などに関わらず、どなたでもふらっと立ち寄れる出会いと交流の場「ふらっと」を令和6年7月に開設した。また、その活動を支えるボランティアの育成と協働を通し支え合いの地域づくりを推進した。

毎月第1・3火曜日 10:00～15:00

計17回の実施で参加者のべ80名、ボランティア40名、市内の地域包括支援センター職員等を含めべ 156名が参加した。

●クールシェア

近年の気候変動に伴う暑熱環境の悪化等により、熱中症のリスクが高まっていること、物価高騰等による家計への影響を鑑み「涼を共有する場」として、令和6年7月からクールシェアを実施した。また、学校の夏季休業中には保護者の共働きなどにより長時間一人

で過ごす子供たちの「孤立の解消」の場として地域福祉交流プラザの交流室を開放し、今後若年層に向けても地域福祉の拠点となりうることを期待して実施した。



7/22～8/21 までの 22 日間開催
市内小中学生のべ 60 名、ボランティア 8 名の参加

⑥自転車シェア支援の実施

不要となった自転車の提供を受け、経済的に困窮し、自家用車や自家用自転車の保有が難しい生活困窮者に自転車の貸出を行うことにより、就労等の社会参加のための移動手段を提供し、自立を支援するために実施した。利用者 6 件のうち、4 件が就労定着。他 2 件は高齢者と障がい者。全ての利用者が社会活動への移動手段として利用していただいております。社会参加が確認できた 1 年であった。年度内に自転車を返却したケースは 1 件。令和 6 年度中新規ニーズがなかったこともあり事業終了とすることにし、現利用者に対して自転車を継続して利用していただくこととした。

⑦生活困窮者に対する食糧支援の実施

ア フードドライブ

- ・老人福祉センター及び地域福祉交流プラザに収集ボックスを常設。個人 136 件（延べ）、団体 35 件（延べ）から計 3786.93 kg の食品を寄付いただいた。
- ・定期的に寄付をしてくださる市民の方も増え、フードドライブ事業の浸透が見えてきた年である。
- ・市役所福祉事務所前にて実施したフードドライブ事業では、フードパントリー事業に活用させていただくことを目的として合計 327.28 kg の食品を市民の皆様から寄付をいただいた。
- ・SDGs 産学官連携環境イベントにブース出展。フードドライブをやっていると知った市民が寄付してくださった。次年度は周知を事前に行いたい。企業としては、JA いしのまき女性部矢本地区、JA いしのまき女性部鳴瀬地区、ダイナム、日本製紙石巻テクノ株式会社がフードドライブとして食品を寄付していただき、それぞれの企業での継続した活動に支えられた。

実施日	実施場所
常設 (平日 9 時～16 時)	地域福祉交流プラザ 老人福祉センター
7 月 3 日	市役所
11 月 3 日	SDGs 産学官連携環境イベント会場
12 月 4 日	市役所



JA いしのまき女性部鳴瀬地区



JA いしのまき女性部矢本地区



ダイナム



日本製紙石巻テクノ株式会社



市役所でのフードドライブ活動



東松島市産業祭



フードドライブで集まった食品

(フードドライブの実績)

	令和 5 年度	令和 6 年度
年間食品寄付件数	134 件 (個人 103 件、団体 31 件)	171 件 (個人 136 件、団体 35 件)

イ フードパントリー

- ・相談時の状況に応じて随時フードバンクから食品等の提供を行った。また、母子家庭については、フードバンクいしのまきで実施している母子応援セットを活用できるよう支援した。
- ・継続的な支援に繋がっていない方に対し、食糧支援をきっかけとして相談窓口の存在を知ってもらうため、予約制フードパントリーを実施した。

実施時期	提供件数	実施場所
7月12日（金）	31件	地域福祉交流プラザ
12月13日（金）	31件	
合計	62件	



フードパントリーの様子

（フードパントリーの実績）

	令和5年度	令和6年度
年間食品提供件数	320件	525件

⑧「参加支援」推進のための連携・協働する場の整備

- ・本人、世帯の状態に合わせ、地域資源を活かしながら、就労支援、居住支援などを提供することで社会とのつながりを回復する支援のひとつとして、就労支援事業利用者およびそれ以外の相談者、民生委員と共に活動を行うことができた。市役所やイベントで行ったフードライブ活動では利用者が受付を行い、周知活動や市民からの質問に答えるなど回数を重ね、積極的に活動することが出来た。今後も様々な事業との連携を通して、参加支援を図りたい。
- ・課題としては居住支援関連の活動の着手に至らなかったことである。多機関協働事業と一体的に次年度も実施していきたい。

⑨金銭教育プログラムの実施

「働くこととお金について」「モノの価値とお金について」を考える機会とし、SBI新生銀行と認定特定非営利活動法人「育て上げネット」が協働で実施。

日 時	高校名	参加人数
令和7年1月24日	東松島高等学校	42名
令和7年3月18日	日本ウェルネス宮城高等学校	80名



東松島高等学校



日本ウェルネス宮城高等学校

相談員のスキル向上

日 程	内 容	関係機関
10 月 24 日	情報交換	東北財務局
令和 7 年 1 月 17 日	石巻西高等学校 マネーコネクション見学	東北財務局 石巻西高等学校
令和 7 年 2 月 27 日	個別相談支援	東北財務局
令和 7 年 3 月 27 日	情報交換	障がい者のくらしとお金の 相談室

⑩生活用品等支援事業(緊急を要する援護者への物品給付)の実施

- ・火災により緊急を要する状況と判断した 4 世帯に対しフードバンクの食品、トイレットペーパーや生理用品、その他生活物資の給付など実施した。
- ・家具家電の提供においては、市内企業の支援をいただいた。

⑪その他

ア 視察研修

- ・地域と連携した社会参加や就労の取り組みを学びことを目的とし先進されている事業所の視察を実施

日 時	内 容	視察先 関係機関
令和 7 年 3 月 4 日 13 時～15 時	生活困窮者自立支援事業の 取り組み状況の情報交換、 林福連携の現場見学	釜石市社会福祉協議会、 一般社団法人ゴジョる
令和 7 年 3 月 5 日 13 時～15 時	生活困窮者自立支援事業の 取り組み状況の情報交換、 CAFF 風の見学	宮古市社会福祉協議会くら しネットみやこ



釜石市社協



釜石市社協_ゴジョる



宮古市社協



宮古市社協_カフェ風

イ 制度理解の促進と関係機関との連携促進のための取り組み等

時期	内容	関係機関
5月9日	当センターの事業説明	民生委員・児童委員
7月10日	当センターの事業説明	商工観光課
7月10日	当センターの事業説明	高橋徳治商店
7月19日	当センターの事業説明	マルヒ食品
12月20日	社会福祉講座 (当センターの事業説明、事例紹介)	東松島高等学校
令和7年 1月31日	当センターの事業説明 農福連携へ向けて相談	宮城県東部地方振興事務所 農業振興部農業振興班
3月12日	当センターの事業説明	アオバヤグループ(株) ポスティング事業



東松島高等学校社会福祉基礎講座

ウ その他研修(主なもの)

時期	研修内容等	受講者
9月3日 12月24日・25日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 相談支援員初任者研修	森、浅野（久）
10月3日・4日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 家計改善支援事業支援員初任者研修	森、浅野（久）
11月7日・14日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 就労支援員・就労準備支援事業支援員初任者研修	加来
11月7日・28日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 就労支援員・就労準備支援事業支援員初任者研修 （生活保護担当）	亀山
11月9日・10日	第11回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	加来、櫻田、 森、浅野（久）、 亀山
12月19日・20日	宮城県生活困窮者自立支援制度従事者養成研修 都道府県研修	加来、森、 浅野（久）
令和7年 1月22日	テーマ別研修（孤立・孤独の理解とアウトリーチ 相談支援研修）	櫻田、森、 浅野（久）
2月7日	テーマ別研修（若年層が抱える課題とその支援）	櫻田、森

(2)多機関協働事業（東松島市からの受託）

①多機関協働事業

本事業は、平成31年4月から令和3年3月の2年間、本事業の前身である国のモデル事業「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を東松島市から受託し開始。令和3・4年度は市補助事業として継続し、令和5年度からは、国が地域共生社会の実現に向けた体制整備のために創設した「重層的支援体制整備事業」の中核的な事業である「多機関協働事業」を市から受託。令和8年度からの重層的支援体制整備事業本格実施へ向けての移行準備事業として取り組んでいる。

本事業では、相談支援包括化推進員1名を配置し、地域包括支援センター、くらし安心サポートセンター、障害者相談支援事業所、民生委員、地域住民等、多様な支援機関・関係者と連携して、複合的な課題を抱える世帯の支援のコーディネートを行っている。

くらし安心サポートセンターをはじめとして、各支援機関には多様な相談が寄せられており、経済問題、病気・障害、就労困難、ひきこもり、家族関係の問題等による社会的孤立など、複雑な相談が多く、相談員が対応に苦慮している状況が見られる。関係機関の役割を整理して支援の方向性について話し合い、それぞれの機関が困っている当事者を中心に据えて、本人主体の支援のあり方を協議する場が必要であり、本事業はそのコーディネート機能を担っている。

また、個別ケースから見えた地域課題に対応し、多世代交流の場「ふらっと」、不登校やひきこもり等により孤立しがちな方が集まれる場「池の内ベース」、子どもの居場所「クールシェア」等、多様な居場所づくりを地域の協力や社協内の部門間連携で推進している。

社会参加が困難な方が社会とのつながりをつくるための「参加支援」の場づくりが今後の課題となっている。

ア 多機関協働事業相談支援等の概要

(ア) 相談支援件数状況

	年間
新規相談件数	39
うち多機関協働相談件数	8
継続支援件数	205
うち多機関協働支援件数	85

(イ) 対応内訳状況

内訳		年間
初回相談	電話	16
	来所	15
	訪問	2
継続支援	電話	86
	来所	34
	訪問	45
	会議	8
	その他	32

(ウ) 新規相談者状況

相談者内訳	件数
行政の保健担当部署	2
行政の障害担当部署	1
地域包括支援センター	2
居宅介護支援事業所・介護事業所等	7
福祉事務所	1
行政の税担当部署	1
自立相談支援機関 (くらし安心サポートセンター)	3
社会福祉協議会 (日常生活自立支援事業)	1
民生委員・児童委員	1
社会福祉協議会 (資金、日常生活自立支援以外)	8
その他行政の担当部署	1
家族・親族等	4
合計	32

(エ) 主な相談領域 (新規分)

領域	件数
障害者	8
高齢者	21
生活困窮	9
その他	18
合計	56

(オ) 初回相談内容 (複数選択)

相談内容	新規
病気や健康、障害のこと	14
住まいについて	4
収入・生活費のこと	5
家賃やローンの支払いのこと	1
税金や公共料金等の支払いについて	3
債務について	1
地域との関係について	3
家族との関係について	4
介護のこと	2
食べる物が無い	4
その他	22
合計	63

(カ) 継続支援での多機関連絡調整内訳

内訳	件数
医療機関	1
行政の保健担当部署	6
行政の障害担当部署	3
基幹相談センター	3
地域包括支援センター	33
居宅介護支援事業所・介護事業所等	33
行政の子ども家庭担当部署	1
福祉事務所（生活保護担当部署）	1
自立相談支援機関 （くらし安心サポートセンター）	24
社会福祉協議会（日常生活自立支援事業）	1
法テラス・弁護士・司法書士	1
行政の住宅施策担当部局	2
不動産・保証関係会社	2
民生委員・児童委員	6
自治会・福祉委員・近隣住民	4
ライフライン事業者（電気・水道・ガス）	1
社会福祉協議会（日常生活自立支援以外）	18
その他行政の担当部署	9
家族・親族等	7
その他	6
本人	41
合計	203

イ 地域における相談支援機関等との連携体制の構築

(ア) 個別ケース会議の開催・参加状況

状 況	回 数
個別ケース会議	13
うち重層的支援会議	9

(イ) 相談支援機関等との連携会議等の開催・参加状況

・相談支援機関等との連携会議等の状況

会議名・概要等	回 数
日常生活自立支援事業（まもりーぶ）利用判定会議	7
多職種ネットワークおいおいの会（研修会）	2
多職種ネットワークおいおいの会（コアメンバー会議）	4
東松島市民生委員児童委員協議会定例会	3
生活困窮者自立支援事業における支援調整会議	9
公営住宅サポート担当者会議	2
令和6年度石巻圏域子ども・若者支援地域協議会	2

石巻地域不登校・ひきこもり支援者のつどい運営会議	3
合計	32

・相談支援機関等との情報交換会及び多機関事業の説明

実施内容	参加者
ここてらす石巻 ・ここてらす石巻の活動について ・くらし安心の地域づくり事業及び多機関事業について ・今後の連携について	相談員、くらし安心 CSW、社協包括化推進員
石巻地域若者サポートステーション ・サポステの活動について ・くらし安心の地域づくり事業及び多機関事業について ・今後の連携について	相談員兼就労支援員、くらし安心 CSW、社協包括化推進員
石巻 NOTE ・NOTE の活動について ・くらし安心の地域づくり事業及び多機関事業について ・今後の連携について	相談員、くらし安心 CSW、社協包括化推進員
NPO 法人 TEDIC ・TEDIC の活動について ・くらし安心の地域づくり事業及び多機関事業について ・今後の連携について	相談員、くらし安心 CSW、社協包括化推進員
介護保険外サービス ココ・ア ・ココ・アの活動について ・多機関事業について ・今後の連携について	代表者、社協 CSW 兼 VC、社協包括化推進員
東松島高校 ・マネーコネクション（金銭管理支援プログラム）の相談 ・くらし安心や社協の事業説明と相談ケースにおける支援の連携について ・BonCafe の見学	東松島高校教頭、教員、くらし安心、社協相談支援包括化推進員
東北財務局 ・くらし安心や社協の業務について ・東北財務局の業務について ・今後の連携について（個別相談や相談会、職員勉強会、貸付等の相談等）	東北財務局専門調査官、調査官、くらし安心、社協相談支援包括化推進員
東北フードバンク連携センター ・連携センターの活動について ・フードバンクについて ・今後の連携について	センター員、くらし安心相談員、社協包括化推進員
ひがまつステーション ・B 型在宅就労について ・今後の連携について	ひがまつステーション管理者、くらし安心 CSW、社協包括化推進員

個人ボランティア（主任児童委員 2 名） ・ホームスタート事業について ・社協が支援できることについて ・今後の連携について	個人ボランティア（主任児童委員）、社協副事務局長、社協 CSW 兼 SC、社協包括化推進員
自然探検くらぶ「にっか」 ・にっかの活動について ・社協について ・今後の連携について	にっか副代表、社協包括化推進員、社協 CSW 兼 VC
NPO 法人 障がい者の暮らしとお金の相談室 ・法人の活動について ・くらし安心や多機関事業について ・障害相談事業所や市障害福祉について ・今後の連携について	法人理事長、相談員、市障害福祉係、カノン相談員、くらし安心所長、社協包括化推進員

エ 困難ケースに関する定期的な状況のフォロー

（ア）東部包括虐待ケース進捗確認会議

概要等	回数	参加者
進捗状況の確認と評価や計画等の確認	21	東部包括所長、看護師、社会福祉士、相談支援包括化推進員

（イ）くらし安心サポートセンター会議

概要等	回数	参加者
ケースの支援状況やプランの確認、支援方針等についての検討	31	くらし安心サポートセンター全相談員、相談支援包括化推進員

オ 地域における相談支援包括化ネットワークの構築を図るために必要となる事業

（ア）地域支え合い会議等への参加状況

地域支え合い会議に参加することで個別の困りごとの他に地域での困りごとでも把握することができた。個別支援と地域支援の一体的な支援へつなげるため、支援機関と地域で活動するコーディネーターが連携して対応を図ることが必要であり、そのための連携協働の場づくりを今後、一緒に検討することとしたい。

会議名・概要等	参加者
野蒜ヶ丘 1 丁目地域支え合い会議	自治会長、保健推進員、西部包括支援センター、認知症総合支援コーディネーター、社協 CSW 兼 SC、社協包括化推進員
小分木・大島地域支え合い会議事前打ち合わせ	社協 CSW 兼 SC、くらし安心サポートセンター CSW、社協包括化推進員
高松地区地域支え合い会議	自治会長、民生委員、共生園園長、西部包括支援センター、社協 CSW 兼 SC、社協包括化推進員
貝田・貝殻塚 1 地域支え合い会議	自治会長、役員、福祉推進員、社協 CSW 兼 SC、社協包括化推進員

里浜地区敬老のつどい	地域の高齢者、自治会長、民生委員、社協 CSW、くらし安心、市福祉課、社協包括化推進員
------------	---

(イ) 研修会等

・**新規** 令和6年度 地域共生社会推進研修会

高齢・障害・子ども・困窮など各分野の相談支援機関では、個人や世帯が抱える孤立や孤独、ひきこもり、8050 問題、ヤングケアラー、ごみ屋敷などの課題が、複雑化・複合化していて、それぞれの分野だけで支えるのは限界がある。制度・分野ごとの縦割りや「支える側」、「支えられる側」という従来の関係から、人と人、人と社会が世代や分野を超えてつながり、生きがいや役割を持ち、支え合いながら暮らしていくことのできる包括的なコミュニティを地域と共に創っていく地域共生社会の実現を目指すことを目的に開催した。

地域共生社会をテーマにそれぞれの分野で実践活動されている方を講師に招き、年間を通した研修会を企画。延べ 200 名が参加し、一堂に会して学ぶ機会をつくった。今後は、福祉以外の他分野も参加した研修会を企画調整していくこととしたい。

日 程	内 容	参加者
第 1 回 6 月 18 日	「地域共生社会の実現に向けた行政と関係機関等の役割について」 講師：東北福祉大学総合マネジメント学部 准教授 森 明人 氏 	行政職員、社協職員、地域包括、くらし安心、社会福祉法人連絡会、介護福祉関係者等 27 名
第 2 回 6 月 28 日	「断らない相談支援と居住支援」 講師：座間市福祉部参事兼地域福祉課長 林 星一 氏 	行政職員、社協職員、地域包括、くらし安心、社会福祉法人連絡会、介護福祉関係者等 30 名

		
第3回 7月25日	「個別会議や地域での会議運営におけるファシリテーションとは？」 講師：一般社団法人 Wellbe Design 理事長 篠原 辰二 氏 	行政職員、社協職員、地域包括、くらし安心、社会福祉法人連絡会、介護福祉関係者等 28名
第4回 7月26日	「地域を知ろう！～地域を捉え、連携するための視点～」 講師：一般社団法人 Wellbe Design 理事長 篠原 辰二 氏 	社協職員、行政職員、地域包括、くらし安心、社会福祉法人連絡会、介護福祉関係者等 24名
第5回 9月24日	「意思決定支援～その人の権利と権利擁護～」 講師：一般社団法人宮城県社会福祉士会 副会長 小湊純一氏 	社協職員、行政職員、地域包括、くらし安心、社会福祉法人連絡会、介護福祉関係者等 24名
第6回 10月10日	「複雑化・複合化したケースの事例検討会」 講師：社会福祉法人 半田市社会福祉協議会 事務局次長 前山 憲一 氏	行政職員、社協職員、地域包括、くらし安心、社会福祉法人連絡会、介護福祉関係者等

	 	22 名参加
第 7 回 令和 7 年 3 月 10 日	「重層的支援体制整備事業とは？～包括的な支援体制の構築における市や社協の役割、分野を超えた連携協働について～」 講師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏 	社協職員、行政職員、 地域包括、くらし安心、社会福祉法人連絡会、介護福祉関係者等 45 名

・重層的支援体制整備事業における視察研修

重層的支援体制整備事業の実施を目指し、市と社協と先進地視察研修を行った。事業の在り方や具体的な取組みについて研修することができた。

開催日	視察先及び内容	視察参加者
令和 7 年 3 月 25 日	湯沢市・湯沢市社会福祉協議会 「重層的支援体制整備事業における視察研修」 	(湯沢市) 保健福祉部福祉課長、保健福祉部福祉課地域福祉班長 (湯沢市社協) 事務局長、地域福祉課長、総合相談室主査 (東松島市) 保健福祉部長、保健福祉部福祉課長補佐、保健福祉部福祉課包括ケア推進係長、福祉課主査、保健福祉部福祉課主

		事 (東松島市社協) 副事務局長、相談支援係長、地域福祉課 CSW 兼 SC
令和 7 年 3 月 26 日	能代市・能代市社会福祉協議会 「重層的支援体制整備事業における視察研修」 	(能代市) 市民福祉部福祉課 課長補佐 (能代市社協) 地域福祉課長、総務福祉課長、地域福祉課長補佐、地域福祉係主任、総務福祉係副主査、地域福祉係主事 (東松島市) 保健福祉部長、保健福祉部福祉課長補佐、保健福祉部福祉課包括ケア推進係長、福祉課主査、保健福祉部福祉課主事 (東松島市社協) 副事務局長、相談支援係長、地域福祉課 CSW 兼 SC

・視察研修受け入れ

開催日	内 容	参加者
7 月 31 日	「岩沼市から視察研修受け入れ」 ・多機関協働事業に関する意見交換	(岩沼市) 健康福祉部社会福祉課長補佐、社会福祉課社会係長、社会福祉課社会係主査 (東松島市) 保健福祉部福祉課長補佐、保健福祉部福祉総務係長 (東松島市社協) 副事務局長、相談支援包括化推進員 CSW、くらし安心

		CSW
8月6日	「結の里運営協議会（南三陸町）視察研修受け入れ」 ・東松島市地域福祉交流プラザの施設概要について ・地域共生社会の実現に向けた現在の取り組み状況について（重層的支援体制整備事業、居場所支援事業等の取り組み） ・意見交換 	結の里運営協議会委員、南三陸町社会福祉協議会 11名 東松島市福祉課 課長補佐、福祉総務係長 東松島市社会福祉協議会 会長、副局長、CSW 兼 SC、くらし安心 CSW、相談支援包括化推進員

・研修会への参加

開催日	内 容
7月23日	4社協（相馬市社協・妙高市社協・日光市社協・東松島市社協）令和6年度つながりカフェ （災害ボランティアセンター運営・災害支援について）
7月24日	令和6年度第1回石巻圏域生活支援コーディネーター情報交換会（社協職員辛口研修会～社協の本質とは～）
9月19日	4社協（日光市・妙高市・相馬市・東松島市）地域福祉連絡会 研修会：日光市における子ども支援 NPO の実践事例」 講師 キリフリ自然学校 主宰 金井 聡氏 交流会：「仲間づくりワークショップ」
10月25日	小さな社協のこだわりフォーラム ～平時は非常時！地域が、人がつながるためにできること～ ① 「あゆみ」 テーマ：「担い手になった被災者たち」 ② 「こだわり」 テーマ：「非日常目線が平時に生きる！当事者性を持った関わり」
12月24日	令和6年度 宮城県地域共生社会推進会議 概要説明「孤独・孤立対策推進法について」 宮城県保健福祉部社会福祉課 課長 相原幹司氏 基調講演 「社会的孤独・孤立の実態と地域共生社会の実現に向けてできること」 神奈川県座間市福祉部参事兼地域福祉課長 林星一氏 事例報告① 「地域共生食堂～自然体のコミュニティづくり～」 だんらんかぞく 代表 昆野美津子氏

	事例報告② 「地域で子どもと大人が共に学び共に行う地域づくり」 川崎町社会福祉協議会地域福祉係長兼福祉活動専門員北郷正之氏
令和7年 3月2日	障害のある方の将来「親なきあと」の不安解消おはなし会 講師：障がい者の暮らしとお金の相談室 ファイナンシャルプランナー 齋藤 真一氏

②包括的な支援体制づくりのための連携・協働する場の整備

ア 多機関連携協働会議

複雑化・多様化した課題を制度の狭間に落とさず、多機関が連携して支援するために、分野を超えた連携を図り、目指す方向性や情報を共有し、役割分担等を調整することで関係者の「顔の見える」ネットワークと協働のプラットフォームの構築を実施するもの。

開催日	内 容 等	参加者
10月31日	第1回 高齢者虐待事例勉強会 講師：宮城県社会福祉士会 副会長 小湊 純一氏	東部・中部・西部地域包括支援センター、くらし安心サポートセンター、市包括ケア推進係、相談支援包括化推進員
11月29日	第2回 高齢者虐待事例勉強会 講師：宮城県社会福祉士会 副会長 小湊 純一氏	東部・中部・西部地域包括支援センター、くらし安心サポートセンター、市包括ケア推進係、相談支援包括化推進員
令和7年 2月20日	第3回 高齢者虐待事例勉強会 講師：宮城県社会福祉士会 副会長 小湊 純一氏	東部・中部・西部地域包括支援センター、くらし安心サポートセンター、市包括ケア推進係、福祉なんでも相談員、相談支援包括化推進員

イ 令和6年度 地域共生社会推進セミナー

地域共生社会を目指し、包括的な支援体制づくりへつなげるセミナーを実施した。
行政職員、社協職員、福祉関係者及び地域住民等、延べ120名が参加。

日 程	内 容	参加者
令和7年 2月14日	基調講演 「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築と多様な主体の連携協働の推進について」 講師 全国社会福祉協議会 副会長 古都 賢一氏 実践報告 ① 住民主体の見守り活動について 五味倉地区自治会長 菅原 淳 氏 ② 社会福祉法人連携による福祉なんでも相談ネットワークについて	行政職員、社協職員、地域住民、福祉関係者等 約120名

	東松島市社会福祉協議会 木村 佳美	
		

ウ その他

(ア) 出前講座

開催日	実施内容	参加者
4月23日	ことぶき会新人職員研修会 「地域福祉推進計画と東松島市社会福祉協議会の事業内容について」 講師：東松島市社会福祉協議会 副局長 千葉貴弘 CSW 兼 SC 眞籠孝史 相談支援包括化推進員 木村佳美	ことぶき会職員 約 10 名
令和7年 1月15日	やもとケアマネネットワーク研修会 「困難事例検討研修会」 講師：東松島市社会福祉協議会 相談支援包括化推進員 木村佳美	会員 約 40 名
1月24日	令和6年度 東松島地区更生保護女性会 「再犯防止と福祉の連携について ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域づくりに向けて～」 講師：東松島市社会福祉協議会 事務局長 阿部誠 相談支援係長 木村佳美	会員 約 20 名

③福祉なんでも相談窓口事業

ア 東松島市社会福祉法人連絡会

(ア) 東松島市社会福祉法人連絡会幹事会及び総会の開催

開催日	実施内容	参加者
8月9日	総会 1 議案審議 (1) 議案第1号 令和5年度事業報告について (2) 議案第2号 令和6年度事業計画について 2 その他 (1) 生活困窮者自立支援事業における就	やすらぎ会 常務理事・施設長 愛育会 理事長・事務局長 慶和会 施設長 東松島福祉会 施設長・事務局次長 ことぶき会 理事長・施

	労準備支援事業の取組みについて (2) 東松島市地域福祉交流プラザについて 	設長 東松島社協 会長 市保健福祉部長・市福祉課長 事務局 社協（局長・副局長・経営管理係長・相談支援包括化推進員）
--	--	---

(イ) 福祉なんでも相談窓口

市内 9 ヶ所（社協・不老園・はまなすの里・共生園・ぎんの星・華の園・カノン・赤井の里・花いちもんめ）の法人施設で「福祉なんでも相談」の窓口を開設し、分野を問わない相談対応に取り組んでいる。

令和 6 年度においては、「福祉なんでも相談」の窓口対応の他、地域で開催されるイベントを共催し、地域住民へ「福祉なんでも相談」の周知啓発活動も実施した。また、イベントの際には個別相談にも対応できるように個別相談ブースも設け、アウトリーチとして住民の困りごと相談を把握する場づくりも実施した。

(ウ) 地域イベント①「ゆったりサロン 音無美紀子の歌声喫茶 in ランチ交流会」

日 程	内 容	参加者
11 月 20 日	ゆったりサロン 音無美紀子の歌声喫茶 in ランチ交流会（野蒜市民センター） ・音無美紀子の歌声コンサート ・ランチ交流会 ※ランチ交流会に福祉なんでも相談員も参加し、住民との交流を図った。 また、「福祉なんでも相談会」として個別相談への対応も実施。 	地域住民等 87 名 福祉なんでも相談員 3 名（東松島福祉会、やすらぎ会）

		
11月21日	ゆったりサロン 音無美紀子の歌声喫茶 in ランチ交流会（大塩市民センター） ・音無美紀子の歌声コンサート ・ランチ交流会 ※ランチ交流会に福祉なんでも相談員も参加し、住民との交流を図った。 また、「福祉なんでも相談会」として個別相談への対応も実施。  	地域住民等 91 名 福祉なんでも相談員 2 名（東松島福祉会、 慶和会）

（エ）地域イベント②「東松島市地域支え合いフォーラム 2024」

日 程	内 容	参加者
12月8日	第1部 基調講演 「いろいろな人達が協力する支え合いの地域づくりについて」 講師 東北文化学園大学 野崎瑞樹 教授 第2部 ポスターセッション ※地域で支え合い活動を展開している団体として、東松島市社会福祉法人連絡会の活動について発表した。	地域住民、ボランティア団体等約 100 名 福祉なんでも相談員 2 名（東松島福祉会、 ことぶき会）

		
--	---	--

(オ) 福祉なんでも相談のための研修会

日 程	内 容	参加者
6月18日～ 令和7年3月 10日	令和6年度 地域共生社会推進研修会(再掲)	社協職員、行政職員、 地域包括、くらし安心、 介護福祉関係者、福祉 なんでも相談員等

(カ) 宮城県小規模法人のネットワーク化による協働推進事業における県域会議への出席

日 程	内 容	参加者
令和7年 2月6日	実践報告 平成30年度から令和5年度までの取組状況 ・「社会福祉法人連携による取組について」 東松島市社会福祉協議会 ・気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会 ・北仙台地区ふくし事業所連絡会「ふわっと」 ・ふくしわくわくネットワークの取組について 涌谷町社会福祉協議会 ・社会福祉法人ぽっけコミュニティネットワー ク 質疑応答と意見交換	宮城県保健福祉部 社会福祉課、宮城県 社会福祉法人経営 者協議会、宮城県社 会福祉協議会、指定 地域の市町村、社 協、社会福祉法人等

④部門間横断の相談支援体制づくり

ア 新規 CSW 等連携協働会議

複数分野にわたる複合的な問題を抱える対象者・世帯に対し、社協として分野横断的かつ包括的に支援する体制を推進するため、社協内部の連携・協働する場を構築する。

また、コロナ禍を通じて顕在化した地域生活課題を共有し、それぞれの事業を通して連携協働して、課題解決に対応するための事業間連携を推進する。

この会議を活用して社協内部部門間連携を強化していき、今後の重層的支援体制整備事業への移行プロセスを推進していきたい。

日 付	内 容	参加者
6月26日	・CSW 等連携協働会議について ・社協内事業の共有	社協地域福祉課長 (地域づくり係) ・CSW 兼生活支援コーディネ

		ーター ・CSW (相談支援係) ・くらし安心 CSW ・相談支援包括化推進員
7月18日	・社協事業「ゆったりサロン」の企画について協議	社協地域福祉課長 (地域づくり係) ・CSW 兼生活支援コーディネーター ・CSW (相談支援係) ・くらし安心 CSW ・相談支援包括化推進員
8月22日	・地域包括支援センターと生活支援コーディネーターとの連携について意見交換	社協地域福祉課長 (地域づくり係) ・CSW 兼生活支援コーディネーター ・CSW (相談支援係) ・くらし安心 相談員 ・くらし安心 CSW ・相談支援包括化推進員 ・東部包括支援センター

イ 居場所づくり支援事業

(ア) **新規** クールシェア

近年、気候変動による暑熱環境の悪化に伴い、熱中症のリスクが高まっている。熱中症は短時間で症状が進行し、重症化すると命に関わる危険がある。誰もがかかる可能性があるため、対策が求められる。この状況を踏まえ、物価高騰による家計への影響も考慮し、「涼を共有する場」として、また、共働き家庭の子どもが長時間一人で過ごすことによる孤立を防ぐ場として、地域福祉交流プラザの交流室を開放した。さらに、クールシェアを通じて、孤立や不登校、ひきこもりなど、さまざまな課題を抱える児童の状況把握も目的とした。

夏休み期間中に初めて実施したところ、小学生や中学生など延べ60名が参加。勉強の場として活用したり、友達との会話やゲームを楽しんだり、交流の場として機能した。また、来館者への周知を進めたことで、社協の取り組みを参考にし、地域の地区センターで子どもの居場所づくりに取り組む事例も生まれた。今後も子どもの居場所づくりを継続し、活動を支援していく。

日 程	内 容	対 象	参加人数
7月22日から 8月21日まで	・市内児童生徒を対象に涼を共有する場、自主学習に取り組んだり、ゆるやかな交流を育む場を提供する	市内の小 学 生・中学生等	延べ60名

	・水分補給用の麦茶などを提供し熱中症予防に取り組む ・心身ともに安全に過ごせるよう、職員による見守りや声かけを行う 		
--	--	--	--

(イ) **新規** 東松島市地域福祉交流プラザ「ふらっと」

地域とのつながりがなく、知り合いもおらず、家庭や地域での役割も持たないなど、社会との接点や交流の機会が乏しい人がある。この課題に対応するため、世代や地区、障害の有無を問わず、誰もが気軽に立ち寄れる出会いと交流の場「ふらっと」を地域福祉交流プラザ内に開設し、ボランティアの育成と協働を軸に運営を進めることで、「地域共生社会」の実現を目指すことを目的とした。

孤独や孤立を抱える人や地域で交流の機会がない人が気軽に参加できる場として、延べ80名が参加。運営にあたってはボランティアの協力を得て、話し合いを重ねながら進め、ボランティアの育成にも努めた。今後も継続して開催できるよう支援していきたい。

日 程	内 容	参加者
7月16日～、 毎月第1・3火曜日 10時～15時	・茶話会 ・折り紙 ・吊るしびなづくり 等 	参加者 延べ80名 ボランティア等 延べ75名

(ウ) 池の内ベース

家族や社会とのつながりがなく、ひきこもりや長期末就労など、不安を抱えている方が安心して過ごせる「居場所」。

ゆるやかな活動の中でつながりを持ち、将来への希望や目標を見つけたり、社会参加に向けた一歩を見つけ踏み出せるよう、関係機関、地域等と連携しながら「ゆるやかなつながりの場」を提供する。

日 程	内 容	参加者
7月9日～、 毎月第2・4火曜日 10時～13時	・ホッ！トーク ・ポテチづくり ・茶話会 ・芋煮会 ・クリスマス会 ・豆まき会 ・椿茶内職作業 等    	参加者延べ 73名 ボランティア等 延べ 81名

(エ) 令和6年度特例貸付の借受け人等へのフォローアップ支援事業

・稼働世帯等のための「夜間相談会」の開催

コロナ禍で顕在化した生活困窮者が抱える生活の困りごとへの支援を推進するため、稼働世代を対象に夜間相談会を開催し、寄り添い型の償還支援や生活相談を行い、地域で安心して暮らすことができるよう自立に向けて支援する。

また、夜間相談会を通じて困りごとを抱えた方を把握し、継続した相談支援につなぎ、生活再建に向けた支援を行う機会とするため、くらし安心サポートセンターと連携して開催した。

【開催日時】第1回 12月20日（金）、第2回 R7年2月28日（金）、18時～20時

【対象者】特例貸付借受人等（430名へ返信ハガキを同封した通知を郵送）

返信があった方 22名（内訳：個別相談希望あり 7名、食糧支援希望 11名）

【参加者】 合計 4 名（体調不良や都合がつかない等でのキャンセルあり）

※当日は、おにぎりや豚汁等も用意し、食事をとってもらいながら相談対応した。

ウ 被災者支援事業から包括的な支援体制(重層的支援体制整備事業)への移行プロセスの推進

東日本大震災の第 2 期復興・創生期間終了と令和 8 年度からの重層的支援体制整備事業の本格実施を見据え、組織横断の推進体制により「被災者サポートセンター事業終結に向けた被災者支援事業から包括的な支援体制への移行プロセス」を策定し、相談支援チームと地域づくりチームに分かれて、災害公営住宅を対象とした世帯アセスメントや地域アセスメントに着手した。

(ア) 相談支援チームの取組状況

- ・災害公営住宅の世帯アセスメントに着手。
- ・震災から 14 年を経過し、新たな課題を抱えている世帯の把握につながっている。

(見えてきた課題)

- ・高齢の親と無職の子が同居している世帯で、時間の経過とともに親が亡くなり、現在では子が一人で生活しているケースがあり、生活面の心配がある。
- ・交流のあった方々が亡くなり、交流が減っている、自宅から外出する機会が減った、家族がいても関係性が悪いなど、地域や家族からの孤立の問題が見えてきた
- ・家族の死亡で二人暮らしから一人暮らしになったなど世帯構成が変化し、病気や生活面の心配などから不安が強くなっている。 など
- ・今後、外部の支援機関と支援が必要な状況を共有し、必要な支援へつないでいくことと、日常の見守りについて社協と地域等と連携し、今後の対応について検討していくこととしている。

(イ) 地域アセスメントの取組状況

- ・地域アセスメントの対象地域を柳の目西・小松南・二反走・野蒜ヶ丘地区に設定し、地域担当 CSW が地域アセスメントシートの作成に着手した。
- ・今後も引き続き地域アセスメント及び地域資源等の調査・可視化を実施していくこととしている。

日 付	概要等	参加者
11 月 28 日	キックオフミーティング 第 1 回社協職員研修会 「被災者支援事業から包括的な支援体制への移行プロセスについて～重層的支援体制整備事業の移行として～」	社協職員（経営管理課、地域福祉課）
12 月 26 日	第 1 回地域づくりチーム打ち合わせ ●地域アセスメントエリアの設定について ●地域づくり事業者・関連団体の調査について ●地域資源の可視化について ●参加支援関連団体の調査方法について	副局長、 地域づくり係 CSW、 相談支援係 CSW

12月27日	第1回相談支援チーム打合せ	サポートセンター LSA、くらし安心サポートセンター、東部包括支援センター、相談支援包括化推進員
令和7年 1月16日	第2回社協職員研修会 ●重層的支援体制整備事業について	社協職員（経営管理課、地域福祉課）
1月21日	第2回相談支援チーム打合せ ●包括的相談支援事業・関係機関の明確化について ●支援会議・重層的支援会議の仕組みの理解について	サポートセンター LSA、くらし安心サポートセンター、東部包括支援センター、相談支援包括化推進員
3月17日	第2回地域づくりチーム打ち合わせ ●地域づくり事業 地域アセスメントの進捗状況について、地域づくり事業者・関連団体について ●参加支援事業について 参加支援事業の理解と参加支援関連団体の調査方法について	副局長、 地域づくり係 CSW、 相談支援係 CSW

⑤孤独・孤立対策に関連する広報・啓発活動

・社協だより「ふれあいねっと」で孤独・孤立対策強化月間の周知を図った。

⑥行政との「パートナーシップ」の醸成

ア 東松島市設置の各種会議への参画

（ア）東松島市多職種連携 ICT システム運用部会への出席

日 程	内 容
10月3日	第2回東松島市多職種連携 ICT システム運用部会 1 協議事項 (1) 運用フローについて (2) 利用規約について (3) 同意取得方針について (4) テスト運用方針等について
11月13日	第3回東松島市多職種連携 ICT システム運用部会 1 協議事項 (1) ネットワーク名称選定について (2) テスト運用②の活用シーン、参加事業所について (3) 個別支援の運用方針について ①患者・利用者登録のフロー 同意方針取得方針 ③患者・利用者ヘッダーの項目

令和 7 年 2 月 16 日	第 4 回東松島市多職種連携 ICT システム運用部会 1 報告 ひがまつ BLUE ネット利用状況について 2 協議事項 (1) ひがまつ BLUE ネット運用上の意見・改善点について (2) ひがまつ BLUE ネット利用規約について (3) 評価項目について (4) ひがまつ BLUE ネットリーフレットについて 3 その他 今後の予定について
--------------------	---

(イ) 東松島市空き家等対策協議会への出席

日 程	内 容
10 月 1 日	第 1 回 東松島市空き家等対策協議会 1 報告 (1) 空き家等対策の現状及び令和 6 年度上半期実績について 2 協議 (1) 令和 6 年度下半期事業計画について 3 意見交換
12 月 20 日	東松島市空き家等対策部会 1 東松島市空き家対策等の現状共有や意見交換
令和 7 年 3 月 13 日	第 2 回 東松島市空き家等対策協議会 1 報告 (1) 空き家等対策の現状及び令和 6 年度事業報告について 2 協議 (1) 令和 7 年度事業計画について

(ウ) 東松島市自死対策地域連絡協議会への出席

日 程	内 容
7 月 4 日	第 1 回 東松島市自死対策地域連絡協議会 1 協議事項 (1)全国および東松島市の自死の現状 (2)令和 5 年度自死対策事業実績報告及び令和 6 年度自死対策事業の取組 2 意見交換
令和 7 年 1 月 30 日	第 2 回 東松島市自死対策地域連絡協議会 1 協議事項 (1)東松島市自死の現状 (2)令和 6 年度 東松島市自死対策事業実績報告 (3)自死対策計画の進捗状況の報告及び令和 7 年度自死対策の取組 2 意見交換

(3)生活福祉資金貸付事業（宮城県社会福祉協議会からの受託）

①生活福祉資金貸付事業の実施

- ・低所得者、障害者または高齢者に対する生活福祉資金の貸付と相談支援並びに県社協からの依頼により償還に向けた支援を行った。
- ・申請に至ったものは、生活保護世帯への日常生活経費でエアコン設置費用である。

取扱状況	相談受付数	償還へ向けた支援	本年度県社協への申請数
	29	36	1

生活福祉資金貸付 相談受付内訳							
総合支援資金	福祉資金-福祉費				教育支援資金	不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金（要保護）
	生業費	障害者自動車購入費	転居費	日常生活経費			
19	1	1	3	1	2	1	1

②生活復興支援資金貸付事業の実施

ア 職員配置状況

- ・生活福祉資金貸付相談員 常勤 1 人(生活福祉資金貸付事業と一体的に実施)

イ 特例緊急小口資金償還状況(東日本大震災関連)

- ・貸付総数：1,697 ・貸付総額：262,380,000 円

令和 6 年度の状況

年間償還額	償還者数	完済者	免除	相談件数
6,261,010 円	104 人	3 人	8 人	14 件

令和 6 年度末 完済者 1,260 人 免除 54 人

③コロナ特例貸付借受人へのフォローアップ支援

ア 貸付実施後の免除・猶予の件数（令和 6 年度分）

区 分	免除決定理由			納付 猶予
	非課税等	破産・債務整理	生活保護	
緊急小口資金	5	4	0	5
総合支援資金（初回）	3	2	0	2
総合支援資金（再貸付）	7	0	0	0

イ 相談支援件数 20 件

【支援内容】

- ・猶予申請の為の意見調査書作成支援
- ・家計改善支援（家計の見える化、破産手続きなど弁護士へのつなぎ、支払いの優先順位の検討など）
- ・生活支援（関係機関への情報提供及びフードバンクの提供等）

ウ 夜間相談会

相談日時	当日参加者数	支援内容	
12月20日 午後6時～8時	1名	軽食提供 個別相談	通知文発送 430 件 (内、居所不明 33 件) 返答 23 件
令和7年 2月28日 午後6時～8時	3名	軽食提供 個別相談、特例貸付の 免除（猶予）申請書類 作成支援	・相談会参加 8 件 ・近況報告 12 件 ・食料提供希望者 11 件

・食料提供希望者への支援 7 件

(4)生活安定資金貸付事業

①生活安定資金貸付事業の実施

・低所得世帯に対する必要な生活資金の貸付を行い、自立更生と生活の安定に寄与することを目的に実施。家計相談や就労支援等の支援も行い、生活の立て直しおよび生活の安定を図った。

・生活安定資金の債権管理

・長期滞納者・連帯保証人に対する督促状の送付

令和7年2月 34 件

・督促状送付及び死亡・所在認の調査結果を精査。一部、返済再開の債務者あり。

・生活福祉資金・生活安定資金による貸付では、離職後の生活費、入退院の支払いのため生活費が不足するなど急を要する状況への支援として実施し、25 名がプランとなっている。破産申し立てや生活保護受給者となるケース、計画的な償還に至らず、返済が終了するまでの期間再プランとなって伴走支援を要するケースなどがある。

②一時援護資金貸付事業の実施

・生活保護申請中の世帯に対し、小口の資金の貸付と必要な相談支援を行い、保護決定までのつなぎ資金の貸し付けを行った。

(貸付・償還状況)

	令和5年度			令和6年度		
	生活安定 資金	一時援護 資金	合計	生活安定 資金	一時援護 資金	合計
貸付金額	465,000 (13 件)	635,000 (23 件)	1,100,000 (36 件)	1,292,000 (31 件)	480,000 (16 件)	1,772,000 (47 件)
償還金額	744,000	485,000	1,229,000	748,000	570,000	1,318,000
貸付残高	2,746,000	150,000	2,896,000	3,290,000	60,000	3,350,000

(5) 日常生活自立支援事業（まもり一歩）（宮城県社会福祉協議会からの受託）

① 日常生活自立支援事業（まもり一歩）の実施

ア 相談受付状況

（人）

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
新規受付数(社協扱い)	3	0	1	0	4
利用者総数	12	5	3	0	20

イ 契約に基づく利用者への具体的な援助や支援

- ・主な支援内容：福祉サービスに関する相談と助言・郵便物等の確認・日常的な金銭の管理・諸費用の支払い・年金や手当の受取・書類等の預かり
- ・利用者からの預託物品：通帳 20 通 印鑑 6 本
- ・支援員数：4 人(委嘱)
- ・まもり一歩利用判定会議出席：8 回

3. 在宅介護事業拠点区分

(1) 訪問介護事業

①訪問介護事業(介護保険サービス)の実施

②訪問介護事業(障害福祉サービス)の実施

③訪問介護事業(産前産後ヘルパー事業)の実施

訪問介護事業全体の月平均利用者数は、前年度の 77.5 人から 85.0 人へと 7.5 人増加した。内訳を見ると、介護保険サービス利用者が前年度平均 51.8 人から 57.0 人へ、障害福祉サービス利用者が 11.8 人から 13.5 人へ、産前産後ヘルパー事業利用者が 0.9 人から 1.7 人へとそれぞれ増加している。

令和 6 年度中に登録ヘルパー 2 名を新規採用したことから、ヘルパーの常勤換算数は前年度 6.3 人から 7.0 人へと増加した。月平均サービス提供時間は前年度の 763 時間から 759 時間へと 4 時間減少した。

			延べ利用者数		月平均利用者数		
			人数	構成比	前年度 (A)	今年度 (B)	差異 (B-A)
介護保険	介護 給付	要介護 5	14	2.0	2.1	1.2	△ 0.9
		要介護 4	66	9.6	4.8	5.5	0.7
		要介護 3	8	1.2	0.3	0.7	0.3
		要介護 2	89	13.0	6.8	7.4	0.6
		要介護 1	128	18.7	10.0	10.7	0.7
	小計		305	44.6	24.1	25.4	1.3
	予防 給付	要支援 2	203	29.7	11.8	16.9	5.1
		要支援 1	168	24.6	14.8	14.0	△ 0.8
		事業対象	8	1.2	1.0	0.7	△ 0.3
	小計		379	55.4	27.7	31.6	3.9
計		684	100.0	51.8	57.0	5.3	
障害福祉	身体障害		39	24.1	3.3	3.3	△ 0.1
	精神障害		83	51.2	5.8	6.9	1.1
	地域生活支援		40	24.7	2.6	3.3	0.8
	計		162	100.0	11.8	13.5	1.8
産前産後ヘルパー			20	2.0	0.9	1.7	0.8
ほっとサービス			154	9.6	13.1	12.8	△ 0.3
合計			1,020	1.2	77.5	85.0	7.5
サービス提供時間			9105:25		763	759	△ 4.0
ヘルパー常勤換算数					6.3	7.0	0.8
ヘルパー 1人当たり	利用者数				12.4	12.1	△ 0.3
	提供時間				122	108	△ 14.0

(2) 居宅介護支援事業

① 居宅介護支援事業の実施

居宅介護支援事業においては、令和6年8月末に介護支援専門員1名の退職に伴い、介護支援専門員2名体制となったことから、利用者数の調整を行い、一部利用者について他事業所への移管を行った。これにより、月平均利用者数は、前年度の146.7人から102.8人へと43.8人大幅に減少した。また、特定事業所加算の算定要件を満たさなくなったため、9月から特定事業所加算の取得を一旦停止した。

令和7年1月に介護支援専門員1名を新規採用し、3月からは特定事業所加算の取得を再開している。

		延べ利用者数		月平均利用者数		
		人数	構成比	前年度 (A)	今年度 (B)	差異 (B-A)
介護給付	要介護5	124	10.0%	15.2	10.3	△ 4.8
	要介護4	185	15.0%	19.5	15.4	△ 4.1
	要介護3	131	10.6%	8.8	10.9	2.1
	要介護2	283	22.9%	29.3	23.6	△ 5.7
	要介護1	342	27.7%	32.3	28.5	△ 3.8
	小計	1,065	86.3%	105.0	88.8	△ 16.3
予防給付	要支援2	98	7.9%	23.4	8.2	△ 15.3
	要支援1	71	5.8%	18.1	5.9	△ 12.2
	事業対象	0	0.0%	0.2	0.0	△ 0.2
	小計	169	13.7%	41.7	14.1	△ 27.6
合計		1,234	100.0%	146.7	102.8	△ 43.8
ケアマネ常勤換算数				3.8	2.7	△ 1.2
ケアマネ1人当たり利用者数				32.8	35.0	2.2

※1人当たり利用者数の算定：予防給付の利用者数は3分の1でカウントしている。

4. 被災者支援事業拠点区分

(1) 被災者サポートセンター運営事業（東松島市からの受託）

① 寄り添い型被災者生活支援の実施

- ・災害公営住宅を対象とした戸別訪問を継続的に実施することで、生活課題を早期に発見し、関係機関につなぎ、連携して対応した。
- ・サポートセンターによる個別訪問が令和7年度末に終了する事に伴い、社協の重層的支援体制整備事業相談支援グループとLSAで世帯アセスメント台帳を使用し気になる世帯について情報共有を行った。2/7 あおい1丁目（12世帯）、2/26 あおい2丁目、集合（10世帯）、3/24 あおい集合、3丁目（24世帯）について終了した。

ア 令和6年度災害公営住宅訪問世帯数(306)…令和7年3月31日現在

赤井…柳の目西(11)

矢本東…あおい1丁目(41)、2丁目(47)、3丁目(35)、町浦(9)

矢本西…小松南(59)、矢本西(20)

野蒜…野蒜ヶ丘1丁目(1)、2丁目(38)、3丁目(30)

イ 災害公営住宅訪問数

時期	矢本東地区 (赤井・矢本東)			矢本西地区 (矢本西)			鳴瀬地区 (野蒜)			訪問	面会	不在
	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数	合計	合計	合計
4月	200	140	60	122	85	37	179	124	55	501	349	152
5月	209	151	58	115	83	32	164	120	44	488	354	134
6月	198	140	58	120	86	34	177	128	49	495	354	141
7月	211	159	52	98	82	16	173	120	53	482	361	121
8月	191	144	47	108	73	35	168	121	47	467	338	129
9月	208	149	59	116	79	37	165	119	46	489	347	142
10月	203	140	63	115	81	34	173	124	49	491	345	146
11月	203	147	56	116	78	38	163	110	53	482	335	147
12月	209	143	66	111	70	41	164	122	42	484	335	149
1月	269	201	68	143	105	38	160	127	33	572	433	139
2月	189	143	46	125	92	33	158	113	45	472	348	124
3月	200	143	57	106	76	30	150	104	46	456	323	133
合計	2,490	1,800	690	1,395	990	405	1,994	1,432	562	5,879	4,222	1,657

ウ 要望・相談数

時期	サポートセンター				地域 包括	くらし 安心	弁護士 相談	合計
	健康 生活支援	住環境	その他	小計				
4月	1	0	0	1	2	0	0	3
5月	2	0	0	2	2	0	0	4
6月	3	0	1	4	5	0	0	9
7月	1	0	1	2	4	0	0	6
8月	1	0	1	2	0	0	0	2
9月	1	0	0	1	3	0	0	4
10月	5	0	0	5	3	0	0	8
11月	0	0	2	2	3	0	0	5
12月	0	0	1	1	5	0	0	6
1月	0	0	1	1	1	0	0	2
2月	0	0	0	0	1	0	0	1
3月	0	0	1	1	1	0	0	2
合計	14	0	8	22	30	0	0	52

エ 生活支援相談員が関係機関につないだ数

つなぎ先	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康推進課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉課	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
建築住宅課	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
包括支援センター	1	0	3	1	0	0	5	1	1	1	0	1	13
くらし安心SC	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ケアマネジャー	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
障がい者支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅管理センター	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ひがまっ安心サポート	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	1	2	4	2	2	1	5	2	1	1	0	1	22

オ 関係機関との連絡調整会議

会議等名	開催回数	検討ケース数	従事者数
公営住宅サポート担当者会議	9	36	55
あおい地区見守り部会会議	5	157	81
LSA会議	12	75	61
その他連絡調整会議	2	2	15
合計	28	270	212

- ・年間を通してLSA会議を開催し市福祉課、建築住宅課と情報共有することができた。
- ・定期的に自主開催しているあおい地区見守り部会の会議に生活支援相談員が出席し、地区内の活動状況や生活課題等の情報共有に努めた。

②心のケア促進事業（再掲）

令和7年度で国の被災者支援総合交付金が終了することに伴い、サポートセンター運営業務が終了するが、市や社協、民生委員などの福祉関係者が既存制度で引き続き支援していくことを伝えるために交流イベントを開催した。

- ・令和6年度「心の復興コンサート」ランチ交流会

実施日：令和7年2月22日（土）

会 場：矢本西市民センター

参加者：来場者 95 人（災害公営住宅 295 世帯を対象）

コンサート演奏者：「みやぎびっきの会」

5. 地域包括支援センター事業拠点区分

- ・高齢者の総合相談窓口として、介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援事業、虐待対応等の権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、認知症総合支援事業、一般介護予防事業、指定介護予防支援事業等に取り組んだ。
- ・総合相談にて介護保険分野の相談者からの聞き取りの中で、経済的な困窮、8050 問題などを抱えていることを把握した段階で、社協相談支援包括化推進員と情報共有。くらし安心サポートセンター、生活支援コーディネーター等の社協関係部署と協働して対応にあたったケースが増加してきた。
- ・3 包括の所長・職種ごとの交流機会を継続。各包括業務の参考意見の地域の課題や対応方法などについて情報交換し、関係構築を図った。
- ・障害相談支援事業所との勉強会、やもとケアマネネットの企画・運営に参画、他機関との連携を意識し取り組んだ。
- ・令和 6 年度から事務員（在宅医療・介護連携事業分）配置となった。

(1) 地域包括支援センター事業（東松島市からの受託）

〈職員配置数・体制〉

職種	勤務体制・配置数
看護師(保健師に準ずる者)	常勤 1 人
社会福祉士	常勤 3 人(在宅医療・介護連携推進事業の 1 人含む)
主任介護支援専門員	常勤 1 人
事務員	常勤 1 人

①包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアマネジメント業務(新しい介護予防・日常生活支援総合事業)

	給付管理数	新規(直営)	継続(直営)	新規(委託)	継続(委託)
事業対象者	87	4	57	2	24
訪問型サービスC	0	0	0	0	0
要支援 1	599	12	262	12	313
要支援 2	196	6	47	4	139
合計	882	22	366	18	476

イ 総合相談支援業務

〈相談数〉

		相談延べ数	平日		夜間・休日	
			新規	継続	新規	継続
相談方法	訪問	933	29	900	0	4
	来所(面接)	249	83	166	0	2
	電話	3, 323	322	2, 884	4	113
	その他(メール等)	282	5	267	1	9
合計		4, 787	439	4, 217	5	126

〈総合相談継続関与ケース総数〉

総合相談ケース数	総数	新規	継続	終結
	2, 056	446	1, 322	288

〈相談経路〉

内訳	相談延べ数	新規	継続
本人	1, 306	45	1, 261
家族	795	111	684
親戚	229	28	201
介護支援専門員	525	57	468
介護サービス事業所	446	16	430
障害者相談支援事業所	66	9	57
生活支援コーディネーター	33	7	26
くらし安心サポートセンター	91	12	79
被災者サポートセンター	6	1	5
相談支援包括化推進員(福祉総合相談担当)	12	0	12
市役所	538	56	482
医療機関	292	26	266
民生委員	176	37	139
自治会関係者	35	8	27
近隣者	38	13	25
その他	199	18	181
合計	4, 787	444	4, 343

〈相談内訳（重複あり）〉

内訳	相談延べ数	新規	継続
介護に関すること(介護方法等)	415	62	353
介護保険に関すること	807	110	697
介護予防・生活支援に関すること	1, 023	67	956
保健・健康相談	238	25	213
医療に関すること	220	13	207
認知症に関すること(若年性以外)	114	14	100
若年性認知症に関すること(65歳以下)	0	0	0
生活に関すること	1, 462	108	1, 354
施設入所に関すること	243	15	228
虐待に関すること	259	20	239
権利擁護に関すること	80	10	70
介護者の離職防止に関すること	0	0	0
その他	119	10	109
合計	4, 980	454	4, 526

ウ 権利擁護業務

(ア) 権利擁護関係相談

〈相談概要〉

内訳	相談延べ数	新規	継続
高齢者虐待	487	9	478
セルフネグレクト	0	0	0
判断能力を欠く状況にある人への支援	283	2	281
成年後見制度利用促進	4	0	4
消費者被害	0	0	0
困難事例	72	0	72
その他	3	3	0
合計	849	14	835

(イ) ケース会議、研修会等の開催、参加

虐待個別ケース会議開催……5 回 / 他機関主催研修会参加回数…33 回

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(ア) 日常的相談支援

相談経路	相談受付延べ数
ケアマネからの相談数	525
サービス事業者からの相談数	446

(イ) 研修会等の開催 実施回数…3 / 参加人数…107

〔主な実施事項〕

時期	内容等
7 月 10 日	障害と包括との勉強会(障害支援事業所との共催) (内 容) 居宅介護支援事業所と障害相談支援事業所との交流会 (場 所) 東松島市役所 202 会議室 31 人参加
11 月 22 日	障害と包括との勉強会(障害支援事業所との共催) (内 容) 事例検討会「障害を抱えて地域で生活する方への地域連携」 (場 所) 東松島市役所 202 会議室 32 人参加
令和 7 年 2 月 28 日	障害と包括との勉強会(障害支援事業所との共催) (内 容) 「妄想、幻聴の症状から引き起こされる近所等のトラブルへの対応、対処方法について」 (場 所) 矢本コミュニティセンター 44 人参加

オ 認知症総合支援事業

(ア) 認知症初期集中支援推進事業に関する業務

実態把握訪問数…新規 14 / 延べ数 106

認知症初期集中支援チームの訪問数…新規 0 / 延べ数 0

(イ) 認知症介護家族の情報交換会 3 回参加

- ・ 認知症介護家族の孤立防止や介護負担の軽減が目的。

- ・令和5年度から吉田認知症コーディネーターが主催

〔開催場所〕 矢本西市民センターほか

時期	参加者(人)
12月18日	10
令和7年1月15日	4
令和7年3月19日	5

(ウ) その他(研修会・会議参加等)

- ・認知症サポーター養成関連講座は12回開催。
- ・認知症地域支援推進員として出前講座等は3回開催。
- ・認知症関連研修には7回参加。
- ・関係機関との打ち合わせ23回(うち、チームオレンジ関連は12回)。

カ 地域ケア会議の推進

- ・個別地域ケア会議 2回
- ・地域課題検討を目的とする地域ケア会議 6回(第3層の再掲)

②多機関協働による総合的な相談対応の推進

ア 関係機関との情報共有、意見交換の実施

- ・社協相談支援包括化推進員との情報共有を兼ねた包括打ち合わせ(毎始業時、毎週)
- ・協働で対応しているケースについて、くらし安心サポートセンターとの情報共有(随時)
- ・第3層地域支え合い会議にて社協CSWと地域課題の抽出(1~2か月に1回程度)
- ・市との定例会(毎月)
- ・公営住宅サポート会議(3か月に1回)
- ・支援検討会議
- ・各地域密着型運営推進会議

イ 民生委員・地域住民との情報共有の実施

- ・民児協定例会への参加や社協生活支援コーディネーター(CSW)と地域支え合い会議への参加を通じて、地域関係者等との情報共有を図った。

民児協定例会への参加 3回

地域支え合い会議への参加 8回

(2)介護予防支援事業

①介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアマネジメント業務(新しい介護予防・日常生活支援総合事業)(再掲)

	給付管理数	新規(直営)	継続(直営)	新規(委託)	継続(委託)
事業対象者	87	4	57	2	24
訪問型サービスC	0	0	0	0	0
要支援1	599	12	262	12	313
要支援2	196	6	47	4	139
合計	882	22	366	18	476

②指定介護予防支援

	給付管理数	新規(直営)	継続(直営)	新規(委託)	継続(委託)
要支援 1	660	7	282	13	358
要支援 2	711	7	286	18	400
合計	1,371	14	568	31	758

(3)在宅医療・介護連携推進事業（東松島市からの受託）

①在宅医療・介護連携推進事業

ア 総括

東松島市多職種連携 ICT システム（ひがまつ BLUE ネット）の運用状況については、令和 7 年 3 月 31 日時点で 143 事業所、483 名のスタッフ登録となっており、登録事業所数は令和 6 年度目標値である 75 事業所を大幅に上回っている。東松島市内の加入率は、全体で約 7 割（介護事業所：9 割・障害事業所：3 割・病院・クリニック：3 割・歯科・眼科：1 割・薬局：8 割）。令和 7 年 2 月～3 月に実施した「ひがまつ BLUE ネット利用に関するアンケート」では、ほとんどの項目で目標値を上回る評価であり、特に画像・動画を活用した項目の評価が高く、BLUE ネットを活用することで情報共有が正確かつ容易に行うことができるようになっている。今後は加入の少ない医療機関への普及啓発や、月間平均 PV が 200PV 未満のライト層の引き上げのため、ヒアリングや個別対応等で活用を促進していく。

現状分析については、「医療・介護連携基本情報等地域医療情報集及び地域連携室情報集」更新のため、東松島市内と一部石巻市の医療機関へ照会を行い、更新した情報は医療機関及びやもとケアマネネット会員へ提供した。

関係機関との連携では、チームオレンジミーティングや認知症サポーター養成講座、地域支え合い会議などへ出席し、認知症コーディネーターや包括支援センター、生活支援コーディネーター等と連携し、地域の課題や実情の把握に努めた。

イ 現状分析・課題抽出・施策立案

医療機関の基本情報を把握し、介護側との情報共有によって必要な方へ円滑にサービス提供することを目的として、東松島市内の「医療・介護連携基本情報等地域医療情報集及び地域連携室情報集」の更新作業を行い、関係者へ情報提供を行った。

（ア）登録状況

【地域医療情報】

	種別	件数
1	内科系	19 件
2	外科系	4 件
3	眼科系	1 件
4	歯科系	14 件
5	市外	12 件
	合計	50 件

(イ) 基本情報の活用

- ・登録事業者へ更新情報を提供
- ・「桃生郡医師会」、「やもとケアマネネットワーク会員」に対し、更新情報を提供
- ・希望する医療機関あてに「やもとケアマネネットワーク会員名簿」を提供

ウ 対応策の実施

(ア) 医療・介護関係者からの相談対応

医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、情報提供や必要な支援を行った。

(イ) 地域住民や医療・介護関係者への普及啓発

地区のサロンや社協だよりにて、住民へ向け事業の普及啓発を行った。

(ウ) 研修会の開催

医療・介護関係者との協働・連携を深めるため、研修会開催を支援した。

- ・東松島市つながる・つなげる・多職種ネットワークおいおいの会

	日時	内容	参加者
1	4月9日	「褥瘡について」 「皮膚トラブルと褥瘡のケア」 石巻赤十字病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 阿部晶子氏	51名
2	5月21日	「褥瘡について」 「褥瘡・皮膚トラブル～事例検討」 ひまわり訪問看護ステーション ぷりけあ訪問看護ステーション 石垣クリニック内科・循環器科	53名
3	6月18日	「慢性便秘症」 「慢性便秘症の薬剤・使い方」 こぐま薬局 薬剤師 土佐貴弘氏	47名
4	7月16日	「うんこさんが出ないのはなぜ？」 ～うんこさんの量を一緒に学ぼう～ ぷりけあ訪問看護ステーション 大塚晶子氏	35名
5	8月20日	「ひがまつ BLUE ネットの活用事例」 東松島市役所 綿引梨絵氏 株式会社ワイズマン 横田野乃子氏 東松島市社会福祉協議会居宅 渡辺和佳子氏	56名
6	9月10日	「誤嚥性肺炎・義歯と口腔ケア」 「日赤歯科について・病棟での口腔管理の実際」 石巻赤十字病院 歯科部長 大井孝氏 「義歯の清掃方法・義歯利用者の口腔ケア」 かどわき歯科クリニック 院長 門脇研司氏	46名

7	10月8日	「ヘルパーさんの困りごと！」 介護サポートしずく 佐々木慎氏 ヘルパーステーションやもと赤井の里村上美香氏、木村美幸氏 社会福祉協議会訪問介護事業所 平野ゆり子氏	44名
8	11月12日	「ケアマネさんの困りごと！」 社会福祉協議会居宅介護支援事業所 渡辺和佳子氏 指定居宅介護支援事業所花いちもんめ 森美保氏	58名
9	12月10日	「支援者の困りごと！」 セントケア訪問看護ステーション石巻あけぼの 山田裕太氏 東まつしま地域生活支援センターカノン 相澤安伸氏	48名
10	令和7年 2月18日	「東松島市の介護予防の取り組み～健康なときにできること」 東松島市役所福祉課 粉川智恵美氏、綿引梨絵氏 「地域住民による地域活動と地域づくりにおける連携」 東松島市社会福祉協議会 眞籠孝史氏	61名



- ・東松島市つながる・つなげる・多職種ネットワークおいおいの会コアメンバー会議
おいおいの会の研修内容等を検討。計7回。

- ・東松島つながる・つなげる・多職種ネットワークおいおいの会 SNS 管理
SNS を活用し研修案内や研修報告を発信。

	日にち	内容
1	4月16日、4月19日	4月研修報告・5月研修案内
2	5月22日	5月研修報告
3	6月4日、6月24日、6月28日	6月研修案内・6月研修報告・7月研修案内
4	7月22日、7月31日	7月研修報告・8月研修案内
5	8月22日	8月研修報告・9月研修案内
6	9月11日、9月20日	9月研修報告・10月研修案内
7	10月11日、10月21日	10月研修報告・11月研修案内
8	11月15日、11月27日	11月研修報告、12月研修案内
9	12月13日	12月研修報告
10	令和7年1月27日	2月研修案内
11	2月23日	2月研修報告

エ 東松島市地域包括ケア ICT システム管理等

(ア) 東松島市多職種連携 ICT システム運用部会

ひがまつ BLUE ネットを活用した多職種間の連携推進を図るため、運用及び規約・ルールの見直し、活用方法の検討を行う。

	日時	内容
第 1 回	9 月 12 日	1. 会長及び副部会長の選任について 2. ひがまつ BLUE ネット活用状況報告 3. ひがまつ BLUE ネット 2024 アンケート結果報告等 4. 今年度の予定について
第 2 回	令和 7 年 2 月 12 日	1. ひがまつ BLUE ネット活用状況報告 2. 活用方法について (1) 活用事例集 (2) お悩み相談会議室 3. 運用について 4. 今後の予定について

(イ) ICT システム運用検討会

株式会社ワイズマンと MeLL+community 運用に向けた検討会を開催。運用の課題や今後の取り組み等について検討。

4 月から 3 月 計 10 回実施

(ウ) テスト運用実績

【ひがまつ BLUE ネット登録者数】(令和 7 年 3 月現在)

	種別	事業所数	スタッフ数
市内	介護事業所	56	148
	障害事業所	6	23
	医療機関	6	39
	薬局	14	24
	行政	7	36
	その他	3	15
市外	介護事業所	36	156
	障害事業所	2	7
	医療機関	5	22
	薬局	1	2
	行政	1	3
	その他	2	2
	仮運用	4	6
	合計	143	483

(エ) 運用評価指標

目標	目標達成度指標	令和 6 年度目標値	令和 6 年度実績値
ネットワーク の参加促進・ 認知度向上	参加事業所数	75 事業所	139 事業所
	患者・利用者登録数	66 名	638 名
	患者・利用者登録数 (高齢者)	40 名	618 名

ツールの利用 促進	年間 PV 数	355, 909PV	635, 793PV
	使用事業所(ヘビー層・ミドル層)の割合	55%	46%
	1 事業所あたりの平均月間 PV 数	395PV	490PV
	会議室コメント月間登録数	71 件	69 件
	患者・利用者コメント月間登録数	103 件	728 件
	メッセージ月間登録数	363 件	1051 件

(オ) 運用ガイドライン等の作成

東松島市多職種連携 ICT システム運用部会にて、ひがまつ BLUE ネット利用規約、入会申請書等各種様式の内容の検討を行い、ひがまつ BLUE ネット運用にあたり統一すべき事項を整理し作成した。

(カ) ひがまつ BLUE ネット運用方針・操作説明会

No.	日にち	対象	内容	参加者
1	4 月 11 日 (木) ①	新規参加事業所	運用方針・概要説明・操作説明	14 名
2	4 月 11 日 (木) ②	新規参加事業所	運用方針・概要説明・操作説明	9 名
3	4 月 12 日 (金) ①	新規参加事業所	運用方針・概要説明・操作説明	7 名
4	4 月 12 日 (金) ②	新規参加事業所	運用方針・概要説明・操作説明	21 名
5	4 月 12 日 (金) ③	新規参加事業所	運用方針・概要説明・操作説明	10 名
6	8 月 20 日 (火)	おいおいの会	活用事例紹介	56 名
7	9 月 13 日 (金)	やもとケアマネネットワーク	活用事例紹介	30 名

(キ) 関係者への普及啓発

No.	日にち	対象
1	10 月 11 日 (金)	石巻地区老人福祉施設協議会研修会
2	11 月 7 日 (木)	石巻地区介護福祉フェスティバル実行委員会
3	11 月 17 日 (日)	石巻地区介護福祉フェスティバル
4		各事業所へ個別周知活動

(ク) 入退会や ID 管理、操作指導、問い合わせ対応

NO.	内容	件数
1	新規事業所向け概要説明	56 件
2	新規事業所向け操作説明	53 件
3	問い合わせ対応・操作フォロー	66 件
4	ヒアリング訪問	45 件

(ケ) アンケート調査の実施

ひがまつ BLUE ネット利用者を対象に、令和 7 年 2 月 21 日～3 月 12 日に使用状況のアンケート調査を実施。(対象者 460 名・回答者 176 名：回答率 38.3%) 多職種間のつながり、業務の効率化、患者・利用者へのサービスの質の向上の項目すべてにおいて、昨年に比べ高い評価となっている。

オ 関係機関との連携

(ア) 在宅医療・介護連携推進体制の構築

日常的に地域包括支援センターや生活支援コーディネーター、認知症総合支援コーディネーター、認知症地域支援コーディネーター等と、情報共有を図り連携している。

(イ) 会議及び研修への参加

【会議】

	日にち	内容
1	5月21日	包括支援センター・コーディネーターワークショップ
2	令和7年 1月24日	令和6年度地域包括ケア地域課題等調整会議（石巻・登米・気仙沼医療圏）
3	2月18日	地域包括支援センター定例会議

【研修】

	日にち	内容
1	6月7日	令和6年度宮城県内社会福祉協議会地域福祉基礎研修
2	6月14日	自死アセスメント研修
3	6月18日	令和6年度 第1回地域共生社会推進研修会 「地域共生社会の実現に向けた行政と関係機関等の役割について」 東北福祉大学 准教授 森明人氏
4	6月24日	令和6年度 福祉関係者・市町村担当者のための成年後見制度活用講座 1. ばあとなあ宮城実践報告 ばあとなあ宮城 東寺大輔氏 2. 成年後見活動における判断能力の捉え方 脳と心の石原クリニック 石原哲郎氏 3. 仙台家庭裁判所における申立の実際と審判までの流れ 仙台家庭裁判所後見センター 佐藤陽子氏
5	6月28日	令和6年度 第2回地域共生社会推進研修会 「断わらない相談支援と居住支援」 座間市福祉部 林星一氏
6	7月10日	令和6年度東松島市総合支援協議会相談支援部会
7	7月19日	地域の権利擁護支援のあり方を考える研修会 1. 地域の権利擁護支援の形をつくるために私たちは何をすべきか 権利擁護支援プロジェクトともす 川端伸子氏 2. 意思決定支援の思想に基づいた活動を地域に息づかせるには 日本意思決定支援ネットワーク 水島俊彦氏 3. 意思決定フォローと描く未来 愛知県豊田市福祉部 安藤亨氏 4. 市民後見人養成講座テキストの活用 地域共生政策自治体連携機構 北村肇氏
8	7月26日	令和6年度 第4回地域共生社会推進研修会 「地域を知ろう！～地域を捉え、連携するための視点～」 一般社団法人 Wellbe Design 篠原辰二氏

9	7月27日	MeLL+Meeting2024
10	8月1日	令和6年度 第1回東松島市自死対策研修会 「自死を考えている人への支援について」 東北医科薬科大学病院 福地成氏
11	8月20日	令和6年度 第1回宮城県地域共生社会推進会議 「地域共生社会の実現に向けて」 宮城県保健福祉部社会福祉課 相原幹司氏 「地域共生社会の実現に向けた取り組みについて」 事例報告
12	9月24日	令和6年度 第5回地域共生社会推進研修会 「意思決定支援～その人の権利と権利擁護～」 一般社団法人 宮城県社会福祉士会 小湊純一氏
13	10月10日	第6回地域共生社会推進研修会 「複雑化・複合化したケースの事例検討会」
14	10月11日	令和6年度石巻地区老人福祉施設協議会研修会 「介護現場への ICT 導入によって本当に介護の生産性向上が実現できるか！？～介護 DX 専門家による要点徹底解説～」 株式会社ビーブリッド 代表取締役 竹下康平氏
15	10月31日	令和6年度石巻市在宅医療・介護連携推進事業 第1回石巻市在宅医療・在宅介護に関する市民講座 「もしもの時に備えた人生会議～医療職から聞く備えることの必要性」 石巻健育会病院 看護部 庄司正枝氏
16	10月31日	令和6年度第2回多機関連携協働会議 「高齢者虐待対応について事例検討」 一般社団法人 宮城県社会福祉士会 副会長 小湊純一氏
17	11月22日	令和6年度東松島市総合支援協議会支援部会 (東松島市包括・居宅・相談事業所との合同勉強会) 事例検討会
18	11月27日	令和6年度在宅医療対応力向上研修会 1.「地域包括ケアにおける医師の役割～医師と連携するコツ～」 仙台市介護認定審査会会長 桜ヶ丘クリニック院長 福島健泰先生 2.「医療と介護を繋ぐケアプラン～医療と介護 それぞれのサービスを最大限に生かすために～」 医療法人金上仁友会居宅介護支援事業所ゆうゆう 介護支援専門員 大槻美智子先生
19	11月29日	令和6年度第3回多機関協働会議 「高齢者虐待対応について事例検討」 一般社団法人 宮城県社会福祉士会 副会長 小湊純一氏
20	12月2日	社会福祉協議会基本要項オンラインフォーラム
21	12月19日	令和6年度高齢者虐待対応勉強会 「高齢者虐待対応について事例検討」 一般社団法人 宮城県社会福祉士会 副会長 小湊純一氏

22	令和7年 1月29日	令和6年度石巻市在宅医療・介護連携推進事業 地域の医療職・介護職の相互研修会 「在宅医療・緩和ケアにおけるACPについて」 石巻市立病院 副院長 福山尚治氏 祐ホームクリニック石巻 医師 落合紀宏氏
23	2月7日	重層的支援体制整備事業勉強会
24	2月20日	令和6年度第4回多機関協働会議 「高齢者虐待対応について事例検討」 一般社団法人 宮城県社会福祉士会 副会長 小湊純一氏
25	2月20日	令和6年度石巻圏域在宅医療・介護推進研修会 1. 石巻圏域の在宅医療・介護関係機関におけるACP取組状況調査結果 宮城県東部保健福祉事務所 高齢者支援班 2. 「ACPなんとなく知っているを卒業して実践につなげよう」 公益社団法人 地域医療振興協会 君津市国保小櫃診療所 所長 望月崇紘医師 3. 「石巻健育会病院の意思決定支援の取り組み」 医療法人社団健育会 石巻健育会病院 庄司正枝看護部長
26	2月28日	令和6年度東松島市総合支援協議会支援部会 (東松島市包括・居宅・相談事業所との合同勉強会) 事例検討会
27	3月10日	令和6年度地域共生社会推進研修会 「重層的支援体制整備事業とは？」 ～包括的な支援体制の構築における市や社協の役割、分野を超えた連携協働について～ ご近所福祉クリエーション主宰 ご近所福祉クリエーター 酒井保氏
28	3月26日	社会福祉協議会職員研修会（虐待防止） 「利用者の人格と尊厳を守る」 株式会社オンワードマネジメント 代表取締役 内田大介氏

(ウ) 在宅医療・介護連携協議会の運営補助等

	日にち	内容
1	6月6日	令和6年度 在宅医療・介護連携協議会 在宅医療・介護連携推進事業報告
2	6月28日	令和6年度 東松島市地域包括ケア推進会議 在宅医療・介護連携推進事業報告

(4) その他

①中部・西部地域包括支援センターとの連携

ア 3包括間の定期的な情報交換会

・所長打合せ(10回)

地域包括支援センター業務について定期的に意見交換することで、他包括の取組みを参

考にしたり、困難ケースを相談する機会になっている。

- ・地域包括支援センター職種別意見交換会の実施

各地域包括支援センターとの緊密な連携を図る観点から、職種ごとの意見交換会を実施した。

(職種ごとの開催回数)

社会福祉士 6 回 (権利擁護啓発のために実施する研修会等の事前協議や多職種連携について 3 包括の社会福祉士の意見交換をした)

主任介護支援専門員 3 回 (ケアマネジャー向け研修会の事前打合せや、居宅介護支援事業所からの相談事例を共有した)

- ・ 3 包括間で対応に困った時の相談や、解決した対応事例の共有を図った。

- ・ ひがまつ BLUE ネット会議室を各職種ごとに作成・活用し、効率的に情報交換できるようになった。

②その他

ア 介護予防普及啓発事業

- ・ 地域のお茶会やサロン等に出向いて講話を行い、介護予防の普及啓発、介護保険制度の理解に努めた (いきいき楽習塾、こころと体に得するお話し)。

イ 地域介護予防活動支援業務

- ・ 一般介護予防「ふまねっと運動教室」訪問し、基本チェックリストを用いた自己診断を実施。実情を把握し、希望があれば個別相談対応を行った。



令和 6 年度 事業報告書

令和 7 年 5 月発行



社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

〒981-0503 東松島市矢本字大溜 8 1 番地

Tel 0225-83-2851 / Fax 0225-83-4561

E-mail higasimatusima@dolphin.ocn.ne.jp

URL <http://www.hmfukushi.jp>